B5WY-0341-04

FUJITSU PERSONAL COMPUTER PRINTER

XL-6200 ページプリンタ

取扱説明書

FUJITSU

製品を安全に使用していただくために

●本書の取り扱いについて

本書には、お買い上げいただいた製品を安全に正しく使用するための重要なことがらが記載されています。製品を使用する前に本書をよくお読みください。
特に、本書に記載されている「安全上のご注意」は必ずお読みいただき、内容をよく理解したうえで製品を使用してください。
本書は、お読みになった後も製品の使用中いつでも参照できるように、大切に保管してください。富士通は、お客様の生命、身体や財産に被害を及ぼすことなく安全に使っていただくために細心の注意を払っています。当製品を使用する際は、本書の説明に従ってください。

●ＶＣＣＩ適合基準について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

●電源の瞬時低下について

この装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお薦めします。

（社団法人電子情報技術産業協会のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示）

●電源高調波について

この装置は、高調波抑制対策ガイドラインに適合しております。

●国際エネルギースタープログラムについて

当社は、国際エネルギースタープログラムの参加事業者として本製品が国際エネルギースタープログラムの対象製品に関する基準を満たしていると判断します。

●本製品のハイセイフティ用途での使用について

本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業用などの一般的用途を想定したものであり、ハイセイフティ用途での使用を想定して設計・製造されたものではありません。
お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。
ハイセイフティ用途とは、以下の例のような、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途をいいます。

・ 原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など

●リサイクル部品の使用について

地球環境への配慮から本製品には一部リサイクル部品を使用しています。

●レーザ規格について

この装置は、危険なレーザ光を出さない「クラスⅠ」のレーザシステムです。本書に従って操作してください。本書に書かれた 以外の操作は行わないでください。思わぬ故障や事故を起こす原因になります。

はじめに

このたびは、弊社のページプリンタXL-6200をお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。
本プリンタは最大36ページ／分の高速印刷が可能なページプリンタです。
本書では、プリンタの設置や取り扱いに関することがらと、プリンタドライバなどのソフトウェアに関することがらについて説明しています。
本書にしたがって正しく取り扱い、本プリンタを有効にご利用ください。

2003年7月

本文中の略語について

各製品を以下のように略記しています。

- Microsoft® Windows Server™ 2003, Standard Edition、Microsoft® Windows Server™ 2003, Enterprise Edition、Microsoft® Windows Server™ 2003, Datacenter Edition、Microsoft® Windows Server™ 2003, Web Edition → Windows Server 2003
- Microsoft® Windows® XP Professional、Microsoft® Windows® XP Home Edition → Windows XP
- Microsoft® Windows® 2000 Professional、Microsoft® Windows® 2000 Server → Windows 2000
- Microsoft® Windows NT® Workstation Version 4.0、Microsoft® Windows NT® Server Version 4.0 → Windows NT4.0
- Microsoft® Windows® Millennium Edition → Windows Me
- Microsoft® Windows® 98 → Windows 98
- Microsoft® Windows® 95 → Windows 95
- Microsoft® Internet Explorer → Internet Explorer
- Netscape® Communicator → Netscape
- Adobe® Acrobat® Reader → Acrobat Reader

●警告表示マークについて

本書では、製品を安全にかつ正しくお使いいただき、あなたや他の人々に加えられる恐れのある危害や損害を未然に防止するために、次のような表示をしています。

警告	⚠ 注意
この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示してます。	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみが想定される内容を示しています。

絵記号の例とその意味	
	△で示した記号は、警告、注意を促す事項であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な警告内容を表す絵（左図の場合は感電注意）が描かれています。
	⃠で示した記号は、してはいけない行為（禁止行為）であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な指示内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
	●で示した記号は、必ず従っていただく内容であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

安全上のご注意

◆プリンタ設置および移動時のご注意

プリンタの上に「花びん、植木鉢、コップ」などの水の入った容器、金属物を置かないでください。

感電・火災の原因となります。

湿気・ほこり・油煙の多い場所、通気性の悪い場所、火気のある場所に置かないでください。

感電・火災の原因となります。

電源プラグは、交流100V、15A専用コンセント以外には差し込まないでください。たこ足配線をしないでください。

感電・火災の原因となります。本機定格電源は100V、11Aとなっています。

添付の電源コード以外は使用しないでください。

感電・火災の原因となります。

プリンタや他の機器の電源コードの上にプリンタをのせないでください。

電源コードが傷つき、感電・火災・故障の原因となります。

ストーブやヒーターなどの発熱器具に近い場所、アルコール、シンナー、ガソリンなど揮発性可燃物やカーテンなどの燃えやすいものの近くにはプリンタを設置しないでください。

火災の原因となります。

延長コードは、定格（125V、15A）未満のものは使用しないでください。特に容量不足の延長コードは絶対に使用しないでください。

異常な発熱や火災の原因となります。

次のようなところには、絶対にアース線を接続しないでください。

・ガス管（引火や爆発の危険があります。）

・電話専用アース線および避雷針（落雷時に大量の電流が流れる場合があり危険です。）

・水道管や蛇口（配管の途中がプラスチックになっている場合はアースの役目を果たしません。）

梱包に使用しているビニール袋はお子様が口に入れたり、かぶって遊んだりしないよう、ご注意ください。

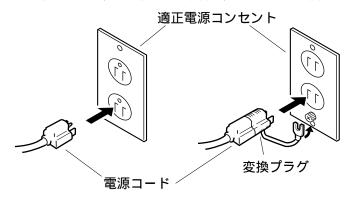
窒息の原因となります。

風呂場、シャワー室などの水場に置かないでください。

感電・火災の原因となります。

電源プラグから出ている緑色のアース線を、必ずいずれかに取り付けてください。アース接続できない場合は、ハードウェア修理相談センター（253ページ参照）にご連絡ください。

- **電源コンセントのアース線**
- **銅片などを650㎜ 以上地中に埋めたもの**
- **接地工事（第３種）を行っている接地端子**

アース接続しないで使用すると、万一漏電した場合に、感電・火災の原因となります。

パラレルケーブルおよびオプション製品の取り付け取り外しを行うときは、必ずプリンタ本体および接続されている機器の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いた後に行ってください。

感電の原因となります。

オプション機器を接続する場合には、当社推奨品以外の機器は接続しないでください。

感電・火災・故障の原因となります。

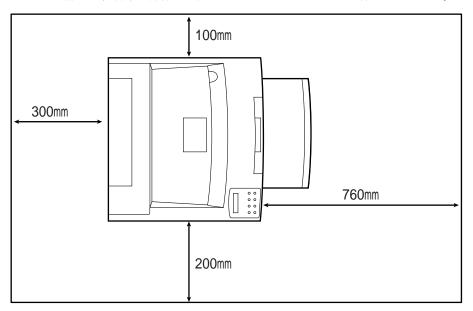
近くで雷が起きたときは、電源コードをコンセントから抜いて、雷がおさまるのを待ってください。

入れたままにしておきますと、雷によっては機器を破壊し、火災の原因となります。

直射日光の当たる場所や炎天下の車内など、高温になる場所に長時間放置しないでください。

高温によりカバーなどが過熱、変形、溶解する原因となったり、プリンタ内部が高温となり、火災の原因となることがあります。

プリンタの背面と側面には通風口があります。プリンタは壁から100㎜以上離して設置してください。

通風口をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。プリンタの操作および消耗品類の交換、日常の点検など、プリンタを正しく使用し、プリンタの性能を維持するために、下図の設置スペースを確保してください。
プリンタの上部には、日常の操作に必要な500㎜以上のスペースを確保してください。

プリンタの上に重いものを置かないでください。また、衝撃を与えないでください。

バランスが崩れて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。

振動の激しい場所や傾いた場所など、不安定な場所に置かないでください。

落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

オプション類の装着、取り外しを行う際は、指定された場所以外のネジは外さないでください。

指定された場所以外のネジを外すと、けがや故障の原因となることがあります。

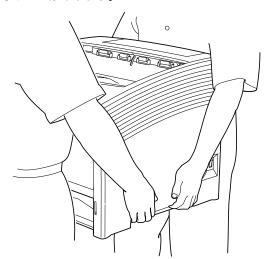
プリンタは重さ約40kg（フルオプション、消耗品を含む）に耐えられる丈夫で水平な場所に設置してください。

プリンタの転倒などによりけがの原因となることがあります。

プリンタを移動する場合は、プリンタを傾けないでください。

プリンタの転倒などによりけがの原因となることがあります。

プリンタは、オプションや消耗品、用紙が入っていない状態で約25kgあります。プリンタを動かす場合は必ず２人以上で持ち運んでください。プリンタを持ち上げるときは、プリンタ正面（オペレータパネル側）および背面に向かい、左右両側のくぼみを両手でしっかりと持ってください。くぼみ以外を持って持ち上げることは絶対にしないでください。

落下によりけがの原因となることがあります。

プリンタを移動する場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。また、接続ケーブルなどもはずしてください。

作業は足元に十分注意して行ってください。

電源コードが傷つき、感電・火災の原因となったり、本プリンタが倒れたりしてけがの原因となることがあります。

◆プリンタ使用時のご注意

プリンタに水をかけたり、濡らしたりしないでください。

感電・火災の原因となります。

開口部（通風口など）から内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。

感電・火災の原因となります。

電源コードを傷つけたり、加工しないでください。

重いものを載せたり、引っぱったり、無理に曲げたり、ねじったり、過熱したりすると、電源コードを傷め、感電・火災の原因となります。

電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込み口がゆるいときは使用しないでください。

そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。修理はハードウェア修理相談センター（253ページ参照）にご連絡ください。

異常音がするなどの故障状態で使用しないでください。

そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。
故障の修理は、ハードウェア修理相談センター（253ページ参照）にご連絡ください。

カバーを外した状態で電源プラグを差したり、電源を入れたりしないでください。

感電・火災の原因となります。

プリンタの近くで強燃性スプレーを使用しないでください。

火災の原因となります。

濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。

感電の原因となります。

ネジで固定されているパネルやカバーなどは、本書で指示してある箇所以外絶対に開けないでください。内部の点検、修理はハードウェア修理相談センター（253ページ参照）にご連絡ください。

内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となったり、レーザ光漏れにより失明するおそれがあります。

プリンタを改造したり、部品を変更して使用しないでください。

感電・火災の原因となります。

⚠ 警告

電源プラグの金属部、およびその周辺にほこりが付着している場合は、乾いた布でよく拭いてください。

そのまま使用すると、火災の原因となります。

取り外したカバー、キャップ、ネジ等は、小さなお子さまが誤って飲むことがないように、小さなお子さまの手の届かないところに置いてください。

万一、飲み込んだ場合は、直ちに医師と相談してください。

万一、プリンタから発熱や煙、異臭や異音などが発生した場合は、ただちにプリンタ本体の電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
煙が消えるのを確認して、ハードウェア修理相談センター（253ページ参照）に修理をご依頼ください。お客さま自身による修理は危険ですから絶対におやめください。

異常状態のまま使用すると、感電・火災の原因となります。

万一、異物（金属片、水、液体など）が内部に入った場合は、ただちにプリンタ本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、ハードウェア修理相談センター（253ページ参照）にご連絡ください。

そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。

プリンタを落としたり、カバーなどを破損した場合は、プリンタ本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、ハードウェア修理相談センター（253ページ参照）にご連絡ください。

そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。

電源プラグをコンセントから抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。

電源コードを引っぱると電源コードの芯線が露出したり、断線したりして、感電・火災の原因となることがあります。

使用中のプリンタは布などでおおったり、包んだりしないでください。

熱がこもり、火災の原因となることがあります。

プリンタの電源を入れたままでコンセントからプラグを抜き差ししないでください。

プラグが変形し、火災の原因となることがあります。

プリンタの内部には磁気を帯びたマグネット類を近づけないでください。

プリンタが動作状態になる場合があり、けがの原因となることがあります。

電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込んでください。

火災・故障の原因となることがあります。

つまった用紙を取り除くときは、プリンタ内部に紙片が残らないようすべて取り除いてください。

紙片が残ったままになっていると火災の原因となることがあります。なお、定着器やローラ部に用紙が巻き付いているときは無理に取らないで、直ちに電源を切り、ハードウェア修理相談センター（253ページ参照）にご連絡ください。

つまった用紙を取り除いたり故障処置を行うときは、鋭利部に触れないよう注意してください。

けがの原因となることがあります。

つまった用紙を取り除いたり故障処置を行うときは、ネクタイやネックレスなどがプリンタ内部に巻き込まれないように注意してください。

けがの原因となることがあります。

「高温注意」を促すラベルが貼ってある箇所（定着器やその周辺）には、絶対触れないでください。

やけどの原因となることがあります。

１カ月に一度はプリンタの電源を切り、次のような点検をしてください。

・電源プラグが電源コンセントにしっかり差し込まれていますか。

・電源プラグに異常な発熱およびサビ、曲がりなどがありませんか。

・電源プラグやコンセントに細かいホコリがついていませんか。

・電源コードに亀裂や擦り傷などはありませんか。

・アース線は取り付けられていますか。

なお、異常がある場合はハードウェア修理相談センター（253ページ参照）にご連絡ください。

長期間、プリンタを使用しないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

感電・火災の原因となることがあります。

プリンタの清掃および保守、故障の処置を行う場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

電源スイッチを切らずにプリンタの清掃や保守を行うと、やけどや感電の原因となることがあります。

用紙排出部のローラが作動しているとき作動部には触れないでください。

指を挟み、けがをする原因となることがあります。

◆プロセスカートリッジの取り扱い上のご注意

プロセスカートリッジを火中に投入しないでください。

火中に投入すると、トナー粉がはねて、やけどの原因となります。
使用済みのプロセスカートリッジを処分するときは、当社の回収サービスをご利用ください。（「使用済みプロセスカートリッジの回収サービス」（253ページ）参照）

トナーは目や口に入らないように注意してください。

プロセスカートリッジの交換時などにトナーが手に付いた場合は、速やかに洗い落としてください。万一、飲み込んだ場合は、直ちに医師と相談してください。

プロセスカートリッジを保管する場合は、小さなお子さまがトナーを誤って飲むことがないように、小さなお子さまの手の届かないところに置いてください。

万一、飲み込んだ場合は、直ちに医師と相談してください。

マニュアルの種類

本プリンタでは、次のマニュアルを用意しています。目的に応じて参照してください。

取扱説明書（本書）

「PrintiaLASER XL-6200 取扱説明書」では、プリンタの設置から、運用、そしてトラブルが発生したときの解決方法を、「セットアップ編」「運用編」「トラブル編」の 3 つの編に分けて説明しています。

オンラインマニュアル（PDF）

「オンラインマニュアル」では、プリンタドライバの各機能と、ネットワーク管理ソフトについて説明しています。
オンラインマニュアルの見かた、記載内容については、付録（249ページ）を参照してください。

ヘルプ

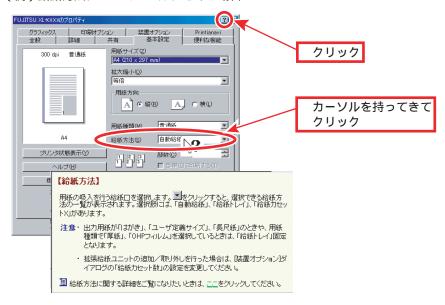
「ヘルプ」では、プリンタドライバのプロパティ、および添付ソフトウェアの各画面の機能について調べることができます。ヘルプを参照するには、次の２つの方法があります。

- 〔 ? 〕をクリックする
- 各画面にある〔ヘルプ〕ボタンをクリックする

それぞれの方法を、次ページに示します。

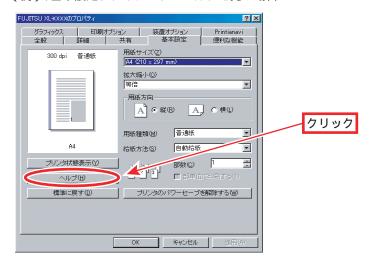
•〔 ? 〕をクリックする

ダイアログボックスの右上にある ? をクリックするとカーソルの形が に変わります。その状態のまま、説明が必要な項目をクリックするとダイアログ上にポップアップウィンドウが表示されます。

（例）給紙方法についてのヘルプをみる場合

• 各画面にある〔ヘルプ〕ボタンをクリックする

〔ヘルプ〕ボタンは以下のダイアログにあります。

- 〔基本設定〕ダイアログ
- 〔便利な機能〕ダイアログ
- 〔グラフィックス〕ダイアログ
- 〔印刷オプション〕ダイアログ
- 〔装置オプション〕ダイアログ
- 〔Printianavi〕ダイアログ

（例）〔基本設定〕ダイアログのヘルプを見る場合

利用方法については、ヘルプの〔目次〕の「ヘルプの使い方」を参照してください。

本書の構成

本書は、プリンタを設置し、印刷できるようにするまでを説明する「セットアップ編」、プリンタをご使用中に必要となる内容を説明する「運用編」、および故障や紙づまりなどのときの処置のしかたを説明する「トラブル編」から成ります。
各編には、次の内容が記載されています。

【セットアップ編】

目　次		内　容
第１章	お使いになる前に	プリンタを使用する前に知っておいていただきたいことがらについて説明します。
第２章	プリンタの設置手順の概要	プリンタを設置する際の留意事項や、設置形態の概要、印刷できるようにするまでのおおまかな流れについて説明します。
第３章	プリンタ本体の設置	プリンタを設置し、プリンタ単体での動作確認までを説明します。
第４章	オプションの装着	オプションの取り付けかた、取り外しかたを説明します。
第５章	ネットワークを利用せずにプリンタを接続する	パソコンとプリンタを直接ケーブルで接続し、プリンタ単体で印刷できるようにするまでの手順を説明します。
第６章	ネットワークを利用してプリンタを接続する	プリンタをネットワークに接続し、ネットワークを経由してプリンタドライバをインストールするまでの手順を説明します。
第７章	プリンタ共有の設定	サーバを経由して複数のパソコンからプリンタを使えるようにする方法について説明します。

【運用編】

目　次		内　容
第８章	日常の操作	プリンタから印刷を行う際に必要となる基本的な操作を説明します。
第９章	用紙について	プリンタで使用できる用紙に関する説明と、用紙のセットのしかたについて説明します。
第10章	日常のメンテナンス	日常行っていただくプリンタのお手入れ方法や移動方法について説明します。

【トラブル編】

目　次		内　容
第11章	困ったときは	故障が発生したと思われるときや紙づまりのときの処置のしかたについて説明します。

【付　録】

目　次		内　容
付　録		プリンタの仕様やコマンドの一覧など、補助的に必要となることがらについて説明します。

本書の表記

本書では、説明する内容により、以下の用語を使用しています。

本プリンタを正しく使っていただくための依頼事項を説明しています。操作する前に必ずお読みください。

本プリンタを使う際に参考にしていただきたい内容を説明しています。必要に応じてお読みください。

本書内で参照していただきたい参照先を示します。

本プリンタ添付のCD-ROMに収められているオンラインマニュアル内の参照先を示します。

目　次

セットアップ編

運用編

トラブル編

セットアップ編

第1章

お使いになる前に

この章では、プリンタを使用する前に知っておいていただきたいことについて説明します。

本機の特長

本機の特長を示します。

●高速で高品位な印刷

36枚/分（コピーモード時）の高速での印刷が可能です。また、600dpiの高解像度で印刷できます。
さらに、拡張メモリ（64MB）を取り付けることにより、解像度1200dpiの高品位な印刷を可能にします。

●新OSに対応

対応Windows OS(Windows 95/98/Me/NT4.0/2000/XP)に、Windows Server 2003を追加しました。

●３つのポートに対応

USB、パラレル、LANの３つのポートを標準装備しています。さらに、HTTPプロトコルを使用したIPP（Internet Printing Protocol）印刷も可能です。

●高性能なプリンタドライバとネットワークソフトウェア

プリンタドライバの設定により、N-up印刷や拡大縮小印刷など、さまざまな印刷が可能です。また、ネットワークソフトウェアにより、LANやインターネット環境への対応や複数のプリンタの管理を実現します。

●さまざまな用紙サイズに対応

定形では、最大A3サイズの用紙への印刷が可能です。また、ハガキ、不定形、長尺紙といったさまざまな種類の用紙への印刷も可能です。

● 優れた拡張性

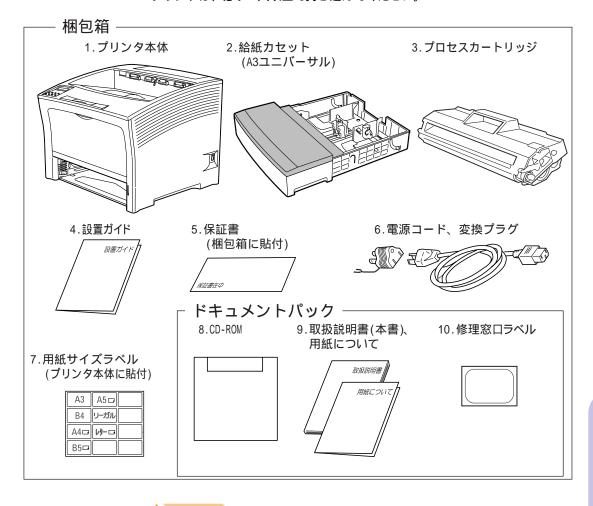
次のオプションを用意しており、使用環境に合わせて機能を拡張することができます。

- 両面ユニットを取り付けることにより、用紙の両面に印刷することができます。
- 拡張給紙ユニットを２段まで取り付けることができ、最大1700枚の用紙をセットすることができます。

●各種ユーティリティを添付

プリンタの状態を監視する「Printianaviネットワークマネージャ」、小冊子の印刷ができる「HyperPrintお試し版」、ワープロ感覚で帳票を作成できる「RepoAgentお試し版」、パソコンでバーコード印刷ができる「かんたんバーコードLite」を添付しています。

製品の確認（梱包されている製品）

本プリンタは、添付品とともに梱包材で保護し、梱包してあります。梱包箱から取り出して、製品が揃っていることを確認してください。万一、不良品や不足品がありましたら、ご購入元にご連絡ください。
※ プリンタは、必ず２人以上で持ち運んでください。

お願い

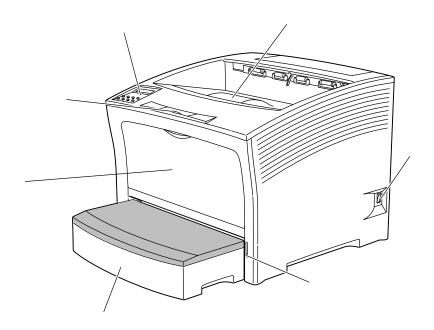
本プリンタには、パソコンとの接続ケーブル(パラレルケーブル、USB ケーブル)は添付されていません。
パソコンに添付されているケーブルか別売ケーブルをお使いください。(「プリンタケーブル」(36 ページ)参照)

ガイド

移転など、プリンタを運搬する可能性がある場合は、梱包箱を保管しておくと便利です。

各部の名称と機能

本プリンタの主要各部の名称と機能について説明します。

前 面

①オペレータパネル

操作に必要なスイッチと、メッセージが表示される液晶ディスプレイがあります。

②排紙部

印刷された用紙がおもて面を下にして排出されます。

③電源スイッチ

電源を入 / 切します。

④用紙残量メータ

給紙カセット内の用紙残量の目安が表示されます。

⑤給紙カセット(A3 ユニバーサル)

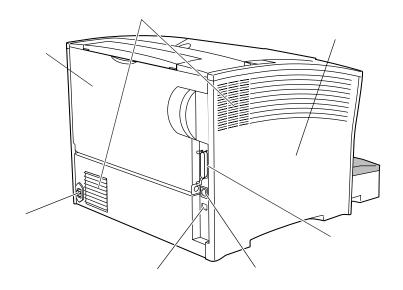
A5 ～ A3 サイズまでの用紙をセットします。

⑥給紙トレイ

開いて用紙をセットします。A４以下の用紙を横にセットした場合は、閉じたままで使用できます。

⑦排紙トレイ、排紙止め

B４やA３などの長い用紙に印刷するときに使用します。

背 面

①通風口

プリンタ内部の過熱を防ぐため、熱を逃します。

②サイドカバー

両面ユニット（オプション）やプリンタ RAM モジュール（オプション）を取り付けるときに外します。

③パラレルケーブルコネクタ

プリンタとパソコンをパラレルインタフェースで接続するためのコネクタです。

④ LAN ケーブルコネクタ

プリンタを LAN 経由で接続するためのコネクタです。

⑤ USB ケーブルコネクタ

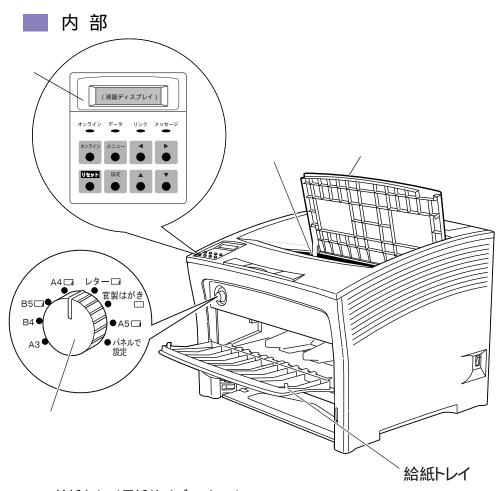
プリンタを USB インタフェースで接続するためのコネクタです。

⑥電源コードコネクタ

電源コードを差し込むコネクタです。

⑦背面カバー

両面ユニットを取り付けるときや、つまった用紙を取り除くときに開きます。

内 部

①給紙トレイ用紙サイズスイッチ

給紙トレイにセットした用紙のサイズを設定するスイッチです。
『パネルで設定』の位置にすると、プリンタドライバまたはオペレータパネルで設定したサイズが有効となります。

②オペレータパネル

操作に必要なスイッチ、 ディスプレイ、ランプがあります。

③プロセスカートリッジ

感光ドラム、現像器ユニット、およびトナーから構成される機構です。

④上部カバー

プロセスカートリッジを交換するときや、つまった用紙を取り除くときに開きます。

1

オペレータパネル

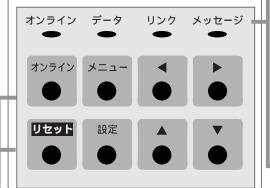
オペレータパネルには、操作に必要なスイッチ、表示ランプ、および液晶ディスプレイがあります。ここでは、オペレータパネルの機能を説明します。

●液晶ディスプレイ
プリンタの状態を知らせるメッセージや設定項目などを表示します。
(１行16文字の２段に表示されます。)

●オンラインランプ（緑色）
プリンタがオンライン状態かオフライン状態かを知らせます。
　点灯：オンライン状態
　消灯：オフライン状態

●データランプ（緑色）
プリンタ内に印刷するデータがあるかどうかを知らせます。
　点灯：データが残っている
　点滅：データをパソコンから受信中
　消灯：データがない

●リンクランプ（緑色）
ネットワークと接続されている状態かどうかを知らせます。
　点灯：ネットワークと接続されている
　消灯：ネットワークと接続されていない

●メッセージランプ（オレンジ色）
印刷できない状態にあることを知らせます。
　点灯：エラーが発生し、印刷できない状態
　消灯：印刷できる状態

●オンラインスイッチ
オンライン状態とオフライン状態を切り替えます。

●メニュースイッチ
プリンタを、各種設定の操作を行うメニューモードにします。メニューモードを終了するときにも使用します。

●リセットスイッチ
プリンタ内に残っている未印刷データを消去します。

●設定スイッチ
メニューモードのときに、選択した値を有効にします。また、プリンタ内に残っている未印刷データを印刷します。

●▲▼◀▶スイッチ
メニューモードのときに、設定項目の選択や、設定値の選択で使用します。

メニューモードの内容については、「付録 メニューモードの項目一覧」(234 ページ）参照

セットアップ編

添付ソフトウェア（CD-ROM）のご紹介

添付CD-ROM「Printia LASERプリンタユーティリティ」には、プリンタをより快適に使用するのに便利な各種のソフトウェアが収録されています。
これらのソフトウェアは、Printianaviインストーラからインストールできます。
Printianaviインストーラは、パソコンのCD-ROMドライブに添付CD-ROM「Printia LASERプリンタユーティリティ」をセットすると自動的に起動します。

ガイド　Printianaviインストーラが自動的に起動しない場合は､エクスプローラでＣＤ-ＲＯＭの内容を表示し、一番上の階層にあるSetup.exeをダブルクリックしてください。

メニューの各項目からは、次の操作が行えます。

項　目	操作内容
はじめにお読みください	CD-ROM のソフトウェアについて留意事項を表示します。
プリンタの IP アドレス設定	Printianavi IPアドレス設定ユーティリティ 2 を起動します。
ネットワークでプリンタを使う	Printianavi ネットワークポートモニタ、Printianavi ネットワークマネージャ、Printianavi IPアドレス設定ユーティリティ 2 をインストールします。 参照 「付録　Printianavi の機能概要」（244 ページ）参照 参照 『オンラインマニュアル』「第 5 章　ネットワークソフトウェアのインストールとネットワークポートの追加」参照
HyperPrint お試し版	HyperPrintお試し版をインストールします。 参照 「付録　HyperPrint の概要」（246 ページ）参照
RepoAgent お試し版	RepoAgent お試し版をインストールします。 参照 「付録　RepoAgent の概要」（247 ページ）参照
かんたんバーコード Lite	かんたんバーコード Lite をインストールします。 参照 「付録　かんたんバーコード Lite の概要」（248 ページ）参照
Adobe® Acrobat® Reader	オンラインマニュアルなどのPDF形式のファイルを表示するための Acrobat Reader をインストールします。 参照 「付録　オンラインマニュアルの見かた」（249 ページ）参照
オンラインマニュアル	オンラインマニュアル（PDF 形式）を表示します。 参照 「付録　オンラインマニュアルの見かた」（249 ページ）参照
プリンタドライバ	Printia XLドライバをインストールします。 参照 『オンラインマニュアル』「第 6 章　プリンタドライバのインストール」参照

第2章

プリンタの設置手順の概要

この章では、プリンタを設置し、プリンタが正しく動作するまでの概要を説明します。

設置上のお願い

安全に快適にプリンタをご利用いただくために、安全上のご注意とともに、以下の点に注意して設置してください。

● いつも良い状態でご使用いただける環境範囲は次のとおりです。
　　温度：10 ～ 32℃　　　湿度：15 ～ 85%RH
　温度 32℃以上のときは湿度 70%RH 以下、湿度が 85%RH 前後のときは温度 28℃以下でご使用ください。ただし、結露しないこと。
　冷えきった部屋を暖房器具などで急激に暖めると、機械の内部に水滴が付着し部分的に印刷できない場合があります。室温になじませてから使用してください。

● サーバ接続などによりプリンタの24時間運用や無人運用をする場合は、不慮の事故に対する安全性を高める必要から、適切な防災対策(耐震対策、煙感知機、温度センサーなど）が施された場所に設置してください。
　また、防災管理者（警備員、管理人など）が建物内に待機していることも必要です。

● プリンタを前後左右に５°以上傾けないでください。
　トナーがこぼれるなど故障の原因となります。

● プリンタは凹凸のない、平らな場所に設置してください。
　斜行等により印字ズレが大きくなったり、故障の原因となったりします。

● ラジオの雑音、テレビやディスプレイ（CRT）のチラツキやゆがみなど電波や磁気による障害が発生し、原因が本プリンタであると考えられる場合は、本プリンタの電源を切って障害がなくなるかどうか確認してください。電源を切ると電波や磁気による障害がなくなるようであれば、次の方法を組み合わせて障害を防止してください。

・プリンタとラジオ、テレビ、ディスプレイ(CRT)の距離を離してみる。
・プリンタとラジオ、テレビ、ディスプレイ(CRT)の位置や向きを変えてみる。
・プリンタとラジオ、テレビ、ディスプレイ(CRT)の電源を別系統のものに変えてみる。
・受信アンテナやアンテナ線の配置を変えてみる。(アンテナが屋外にある場合は電気店にご相談ください。)
・ラジオやテレビのアンテナ線を同軸ケーブルに変えてみる。

● 化学薬品や油分を、使用または保管している環境では使用しないでください。故障の原因となります。

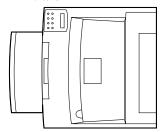
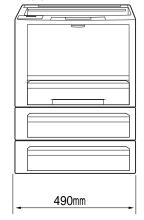
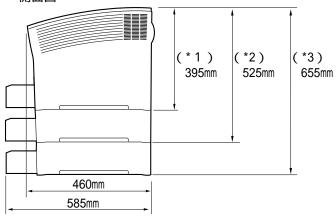
● プリンタや他の機器の電源コードの上にプリンタをのせないでください。
　電源コードが傷つき、感電・火災・故障の原因になります。

お願い

－超音波加湿器をご使用のお客様へ－
超音波加湿器をご使用の際に、水道水や井戸水をご使用になりますと、水中の不純物が大気中に放出され、プリンタの内部に付着して画像不良の原因となります。ご使用の際には、純水など不純物を含まない水のご使用をお勧めします。

プリンタの寸法

装置の寸法を示します。設置のときに参考にしてください。

＜上面図＞

＜正面図＞

＜側面図＞

*1: 標準構成時
*2: 拡張給紙ユニットを１段搭載時
*3: 拡張給紙ユニットを２段搭載時

⚠注意

火　災	プリンタの背面と側面には通風口があります。プリンタは壁から十分離して設置してください。(「安全上のご注意」(ｉｉページ)参照)
け　が	設置する台は、プリンタの足全体が十分に載る大きさのものを準備してください。

プリンタの設置からインストールまで

プリンタの設置から印刷するために必要な設定までの流れを説明します。
プリンタの接続・運用形態によって手順が異なります。次の図を参照し、必要な設定を行ってください。

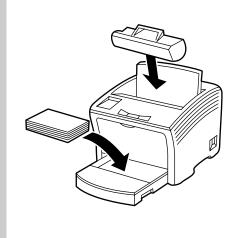
ガイド

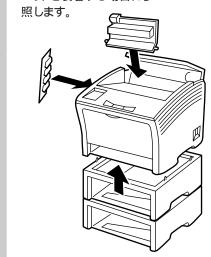
接続・運用形態は、お使いの環境に合わせて以下を目安に選択してください。

・パラレルケーブル /USB ケーブルで接続
　１台のパソコンからのみ印刷する場合や、プリンタ用に IP アドレスを使いたくない場合に選択します。
　より速く印刷したい場合は、USBケーブルによる接続をおすすめします。
・LAN ケーブルで接続
　プリンタの設置場所を自由に動かしたい場合や、インターネットを利用して印刷する場合に選択します。
　LAN ケーブルを利用するとデータの転送速度が高速になります。

サーバ経由で印刷すると、クライアント側の設定／管理が比較的容易になります。また、大規模なネットワークに適しています。

「第3章 プリンタ本体の設置」（19ページ）

プリンタ本体を印刷できる状態まで設置します。
最初にこの設置を行ってください。

「第4章 オプションの装着」（33ページ）

プリンタRAMモジュールや両面ユニット、拡張給紙ユニットを装着する場合に参照します。

「第5章 ネットワークを利用せずにプリンタを接続する」（51ページ）

プリンタおよびパソコンに必要な接続や設定をします。

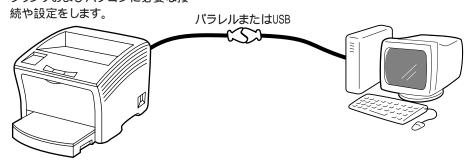
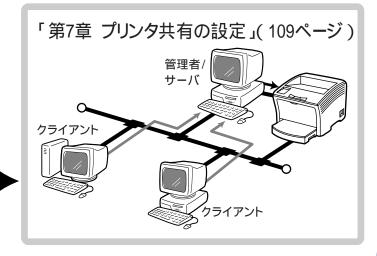
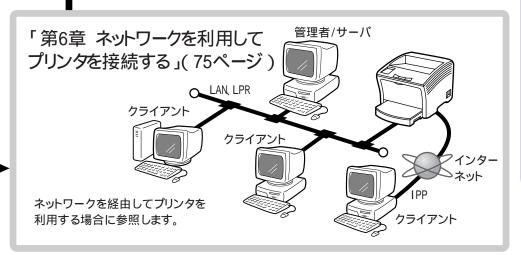
プリンタを複数台のパソコンで使用

「第7章 プリンタ共有の設定」（109ページ）

「第6章 ネットワークを利用してプリンタを接続する」（75ページ）

ネットワークを経由してプリンタを利用する場合に参照します。

2

セットアップ編

第3章

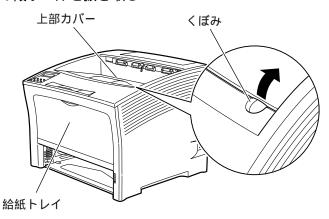
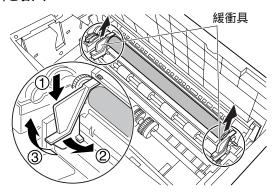
プリンタ本体の設置

この章では、プリンタ本体の設置方法と、プリンタが単体で正しく動作することを確認するまでの手順を説明します。

①梱包品の確認

製品がすべて揃っていることを確認してください。
梱包されている製品は、「製品の確認（梱包されている製品）」(5ページ)に記載してあります。

②緩衝具の取り外し

1 **くぼみに指を入れて上部カバーを開け、上部カバーおよび給紙トレイ内部の段ボールを抜き取る**

2 **緩衝具（オレンジ色、２か所）をつまんだ状態で押し、内側にずらして引き抜く**

③プロセスカートリッジの取り付け

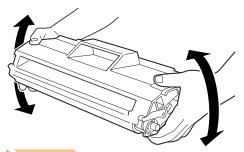
⚠注意

故　障	プロセスカートリッジは、本プリンタ専用品を取り付けてください。専用品以外のプロセスカートリッジを取り付けると、プロセスカートリッジおよびプリンタ本体の故障の原因となる恐れがあります。

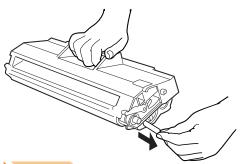
プロセスカートリッジの取り付けは、プリンタの上部カバーを開き、次の手順で行います。

参照　プロセスカートリッジの交換、および使用上の注意事項については、「プロセスカートリッジの交換と使用上のご注意」(165 ページ) 参照

1 プロセスカートリッジを７～８回振り、トナーを均一にする

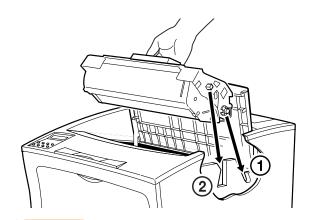
トナーの状態が均一でないと、印字品質が低下することがあります。

お願い

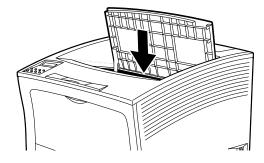
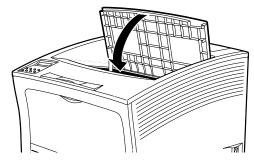
感光体(ドラム)の表面には､絶対に手を触れないでください｡

2 プロセスカートリッジを平らな場所に置き、片手で押さえながらトナーシールをゆっくり引き抜く

お願い

トナーシールを抜くときには、水平にまっすぐ引き抜いてください。斜めに引くと、途中でトナーシールが切れてしまうことがあります。
トナーシールは、引き抜くと全長約 65㎝ です。
トナーシールを引き抜いた後は、プロセスカートリッジを振ったり、衝撃を与えたりしないでください。

3 **プロセスカートリッジの取っ手を持ち、プロセスカートリッジの両側にある突起をプリンタ内部の溝に合わせて挿入する**

お願い

- **プリンタ内部の部品には手を触れないでください。**
- **プロセスカートリッジ挿入時は、カートリッジがプリンタ内部に当たらないように静かに入れてください。**

4 **プロセスカートリッジを奥まで押し込み、確実にセットされたことを確認する**

5 **上部カバーを元に戻し、中央を押して確実にロックする**

お願い

上部カバーが確実にロックされたことを確認してください。完全にロックされていないと、印刷不良が発生することがあります。

④電源を入れる

電源コードを接続し、プリンタの電源が入るかどうか確認します。

電源コードの接続

次の手順で、電源コードを接続します。

本プリンタの電圧定格値は、AC100V です。
上記の定格は、プリンタの後部にある製造銘板に表示してあります。使用するコンセントの電圧が、プリンタの定格電圧と一致するか確認してください。

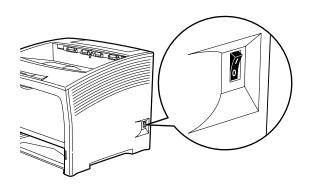
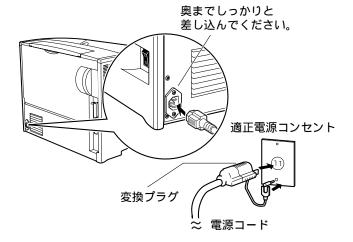
⚠警告

感 電　電源コードを接続するときは、必ず電源スイッチをオフ（「○」側）にしてください。電源を切らずに接続すると、感電の原因となります。

火 災　電源コードのアース線は必ず専用のアース端子に接続してください。

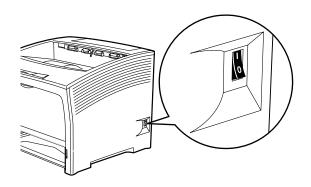
感 電　危険ですので次の箇所にアース線を接続しないでください。
- ガス管（火災や爆発の危険があります）
- 電話専用アース線・避雷針（落雷時に大量の電流が流れる場合があり危険です）
- 水道管や蛇口（配管の途中がプラスチックになっている場合はアースの役目を果たしません）

感 電　プリンタや他の機器の上にプリンタを載せないでください。
電源コードが傷つき､感電･火災･故障の原因となります。

1 スイッチがオフ（「○」側）であることを確認する

2 電源コードをプリンタ背面にある電源コードコネクタに差し込む

お願い

本プリンタには平行３ピンの電源コードが添付されています。できるだけ３ピンのコンセントをご使用ください。
もし、３ピンの電源コンセントがない場合には、添付の変換プラグを使って図に示すように電源コードとアース線を接続してください。

電源スイッチをオンにする

電源スイッチを「｜」側に倒して電源を入れます。

プリンタの動作とオペレータパネルの表示の確認

電源を入れると、オペレータパネルの「オンライン」「データ」「リンク」「メッセージ」の各ランプが点灯し、液晶ディスプレイの表示が次のように切り替わります。

表示	説明
ショキシンダ゛ンチュウ	初期診断中を示します。
↓	
メモリ　ヨウリョウ ＸＬ－６２００　　　××ＭＢ	メモリの総容量を示します。
↓	
ファーム ロード゛チュウ ××××××××××××	ファームロード中を示します。 下段にMACアドレスを表示します。
↓	初期化動作およびファームロード動作に約60秒程度かかりますので、そのままお待ちください。
オンライン カセットカクニン1	

参照　オペレータパネルが上記の表示にならないときは、「オペレータパネルのエラーメッセージ」（200 ページ）参照

3

セットアップ編

⑤給紙カセットに用紙をセットする

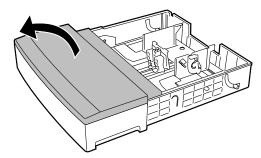
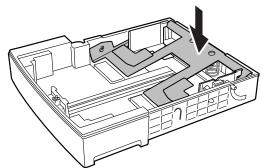
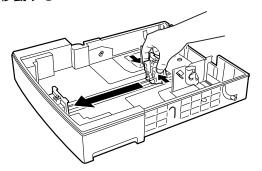
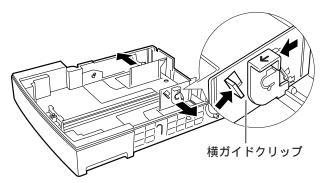
ここでは、用紙を給紙カセットにセットする手順について説明します。

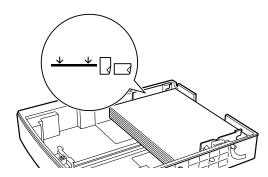
お願い

官製はがき、厚紙（重量90g/㎡～135g/㎡）、OHPフィルム、ラベル紙、不定形用紙、長尺紙は、給紙カセットからは印刷できません。給紙トレイから印刷してください。

ガイド

・拡張給紙ユニット（オプション）が装着されている場合は、給紙カセットを、本体、拡張給紙ユニットのどちらにもセットできます。
・給紙トレイから印刷中でも、印刷を停止せずに給紙カセットに用紙をセットできます。
・異なるサイズの用紙を、同時に１つの給紙カセットにセットすることはできません。

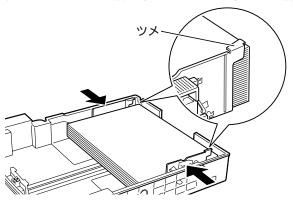
1 給紙カセットのフタを開ける

2 給紙カセットの中の金属板を手で下げてロックする

3 縦ガイドクリップを指でつまみ、軽く持ち上げながら、矢印の方向に移動する

4 横ガイドクリップを指でつまみながら、矢印の方向に移動する

5 用紙の四隅を揃え、印刷面を上にして、カセットの中央に入れる

お願い

- **折り目やシワの入った用紙は使用しないでください。**
- **横ガイドのラベルの線がセットできる用紙枚数の上限です。用紙は線が見える範囲の枚数にしてください。**
- **用紙が左右のツメの上に載らないようにしてください。**
- **用紙サイズによって、以下の方向に設定してください。**
  A4、B5、A5、レターサイズ　　横長
  A3、B4、リーガルサイズ　　縦長

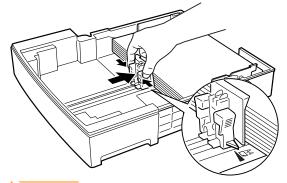
ガイド

給紙カセットに収容できる枚数は、約500枚（64g/㎡の場合）です。

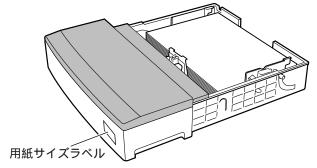
6 横ガイドクリップを用紙の幅に合わせ、用紙の端を揃える

横ガイドクリップを指で押しながらずらし、用紙の幅に合わせます。

お願い

用紙が左右のツメの下にあることを確認してください。

7 用紙の端をそろえ、縦ガイドクリップを用紙サイズ目盛りに合わせる

お願い

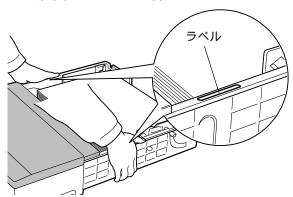
- **用紙の端は縦ガイドクリップのツメの下に入れてください。**
- **縦ガイドクリップのストッパーが目盛りの穴にぴったりはまっていることを確認してください。**

8 給紙カセットのフタを閉める

お願い

ほこりの付着を防ぐため、フタは必ず閉めてください。

ガイド

必要に応じ、プリンタに添付されている用紙サイズラベルを貼ります。

9 給紙カセットのラベルが貼ってある部分を両手で持ち、プリンタに押し込み、奥までしっかり押し込まれていることを確認する

お願い

- **セットされていない給紙カセットがあると、『カセットナシ』と表示されます。必ずすべての給紙カセットをセットしてください。**
- **給紙カセットは奥に突き当たるまで押し込んでください。突き当たるまで押し込んでいないと、カセットなしや、紙づまりの原因となります。**

3

セットアップ編

⑥設定の一覧を印刷する

次の操作で設定の一覧を印刷し、プリンタが正しく動作することを確認します。

操作パネル表示
オンライン
↓「メニュー」
メニュー ▶メニュー　インサツ　▼
↓「▼」
メニュー インサツ セッテイ ノ インサツ　▲
↓「設定」
印刷開始
↓
印刷終了
↓
メニュー インサツ セッテイ ノ インサツ　▲
↓「オンライン」または「メニュー」を押す
オンライン

1 オンライン状態であることを確認する

オペレータパネルの「オンライン」ランプが点灯し、液晶ディスプレイに「オンライン」または「セツデン」と表示されていることを確認します。

2 「メニュー」スイッチを押し、メニューモードにする

3 「▼」スイッチを１回押す

4 「設定」スイッチを押す

設定の一覧の印刷が開始されます。

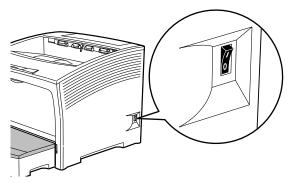
5 印刷状態を確認する

正常に印刷されないときは、「第 11 章　困ったときは」（183 ページ）を参照してください。

6 「オンライン」または「メニュー」スイッチを押して、オンライン状態に戻す

ガイド オンライン状態のまま1分経過すると、省電力モードになり「セツデン」と表示されますが、「メニュー」スイッチを押せばメニューモードに移行します。

⑦電源を切る

電源を切るときは、電源スイッチをオフ（「○」側）に倒します。

電源が切断されると、オペレータパネルのすべてのランプおよび液晶ディスプレイが消灯します。

お願い

印刷中は電源を切らないでください。もし電源を切ってしまったときは、「紙づまりになったとき」（184ページ）を参照して、プリンタ内に残っている用紙を取り除いてください。

以上でプリンタ本体の設置は完了です。目的に合わせて次の設定に進んでください。

「第４章　オプションの装着」................................ 33ページ
「第５章　ネットワークを利用せずにプリンタを接続する」....... 51ページ
「第６章　ネットワークを利用してプリンタを接続する」......... 75ページ

第 4 章

オプションの装着

本プリンタのオプションには、プリンタ RAM モジュール、両面ユニットと拡張給紙ユニットがあります。これらの取り付けかたについて説明します。

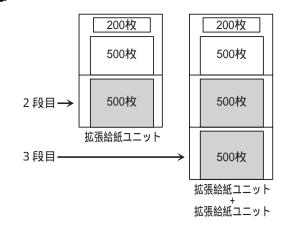
オプション品のご紹介

本プリンタは、次のオプションを用意しています。必要に応じてお買い求めください。

拡張給紙ユニット

品　名	型　名	内　容
拡張給紙ユニット	XL-EF50T1	2段目、３段目の給紙ユニットとして使用できます。(A3ユニバーサル、500枚給紙カセット添付)

〈形態〉

ガイド

・拡張給紙ユニット（オプション）が装着されている場合は、給紙カセットを、本体、拡張給紙ユニットのどちらにもセットできます。
・拡張給紙ユニット（オプション）が装着されている場合は、印刷を停止せずに、用紙が走行していない給紙カセットに用紙をセットできます。
・給紙トレイから印刷中でも、印刷を停止せずに給紙カセットに用紙をセットできます。
・異なるサイズの用紙を、同時に１つの給紙カセットにセットすることはできません。

両面ユニット

品　名	型　名	内　容
両面ユニット	XL-DUPT1	両面印刷用のユニットです。

オプションの両面ユニットをプリンタに取り付けると、A3、A4横、A5横、B4、B5横、リーガル、レター横サイズの用紙を両面印刷できるようになります。

プリンタ RAM モジュール

品　名	型　名	内　容
プリンタ RAM モジュール -64MB	XL-EM64M5	RAM を 64MB 搭載したメモリモジュールです。

〈用途〉

プリンタRAMモジュールの容量を増加することにより、印刷速度が速くなります。とくに、高解像度で印刷をする場合は、より効果があります。

・ 16 ページ分のビットマップメモリが増えます。（A4、600dpi のとき）
・ 部単位印刷ができます。
・ 1200dpi での印刷が可能になります。

搭載されているRAMの容量と解像度によって印刷できる用紙サイズが異なります。これらの関係を以下の表に示します。

〈片面〉

	16MB（オプションなし）			80MB（オプション：64MB）		
	300dpi	600dpi	1200dpi	300dpi	600dpi	1200dpi
A3	◎	◎	—	◎	◎	◎
B4	◎	◎	—	◎	◎	◎
Legal	◎	◎	—	◎	◎	◎
Letter	◎	◎	—	◎	◎	◎
A4	◎	◎	—	◎	◎	◎
B5	◎	◎	—	◎	◎	◎
A5	◎	◎	—	◎	◎	◎
はがき	◎	◎	—	◎	◎	◎
ユーザ定義サイズ	◎	◎	—	◎	◎	◎
長尺紙	◎	—	—	◎	—	—

◎：印刷保証　○：印刷可能　—：印刷不可

〈両面〉

	16MB（オプションなし）			80MB（オプション：64MB）		
	300dpi	600dpi	1200dpi	300dpi	600dpi	1200dpi
A3	◎	○	—	◎	◎	◎
B4	◎	○	—	◎	◎	◎
Legal	◎	○	—	◎	◎	◎
Letter	◎	◎	—	◎	◎	◎
A4	◎	◎	—	◎	◎	◎
B5	◎	◎	—	◎	◎	◎
A5	◎	◎	—	◎	◎	◎
はがき	—	—	—	—	—	—
ユーザ定義サイズ	—	—	—	—	—	—
長尺紙	—	—	—	—	—	—

◎：印刷保証 ○：印刷可能　—：印刷不可

※ 両面印刷時にドライバの設定で「プロテクトモードで印刷する」をチェックしている場合、リーガル、B4、A3の用紙を選択するとメモリ不足で印刷不可となります。

プロテクトモードについては、『オンラインマニュアル』「第１章　プリンタドライバの機能と利用方法」の「〔印刷オプション〕ダイアログ」参照

プリンタ LAN アダプタ

本プリンタ内蔵のプリンタ LAN ポートは 100BASE-TX/10BASE-T に対応し、プロトコルとして TCP/IP をサポートしています。
IPX/SPX プロトコルを利用する場合は、次のプリンタ LAN アダプタをご使用ください。

品　名	型　名	内　容
プリンタ LAN アダプタ	FM-LNA110	100BASE-TX/10BASE-T に対応した LAN アダプタです。 NetWare 3.1xJ、IntranetWare、NetWare 5 に対応しています。

プリンタケーブル

ご使用のパソコンに対応したケーブルをご使用ください。

お願い

- **本プリンタにはプリンタケーブルは添付されていません。パソコン本体に添付のケーブルか、別売ケーブルをお使いください。**
- **以下の長さのシールドケーブルをお使いください。**
  パラレルインタフェースケーブル　：1.5m 以下
  USB ケーブル　：5m 以下

別売ケーブルは以下のものが用意されています。

【パラレルインタフェースケーブル】

品名	型名	備考
プリンタケーブル	FMV-CBL712	FMV シリーズ各社 AT 互換機に接続できます。
プリンタケーブル	FMS-CBL711	PRIMERGY GRANPOWER 5000 シリーズに接続できます。

【USB ケーブル】

品名	型名	備考
プリンタ USB ケーブル	XL-CBLU1	USB に対応し、Windows 98/Me/2000/XP/Windows Server 2003 が動作するパソコンに接続できます。

オプション取り付け上のご注意

オプションを取り付けるときは、次のことがらを守ってください。

⚠警告	感　電　オプション機器を接続する場合には、当社推奨品以外の機器は接続しないでください。 当社推奨品以外を接続すると、感電・火災・故障の原因となります。

⚠注意	け　が　オプション類の取り付け、取り外しを行う際は、指定された場所以外のネジは外さないでください。 指定された場所以外のネジを外すと、ケガや故障の原因となることがあります。

プリンタRAMモジュールの取り付けかた

メモリを増設するためのプリンタ RAM モジュールの取り付け、取り外しについて説明します。

⚠警告	感　電　プリンタRAMモジュールの取り付けおよび取り外しは、電源スイッチが「○」側に倒れていることを確認し、電源コードをコンセントから抜いた後行ってください。 電源を切らずに作業すると、感電または故障の原因となります。

お願い

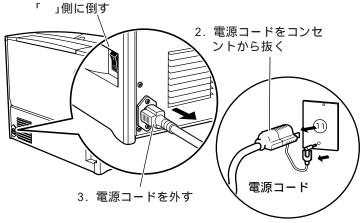
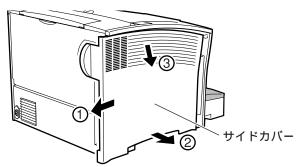
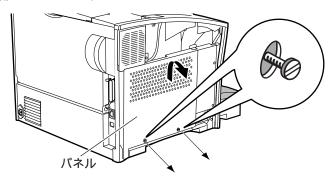
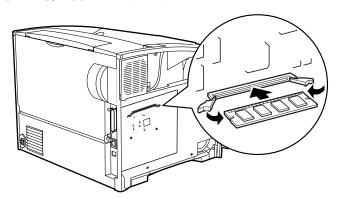
静電気によってプリンタ RAM モジュールが破壊されないように、次の点にご注意ください。

- **本プリンタに取り付ける直前まで、袋からモジュールを取り出さないでください。**
- **モジュールに触れる前に、金属製のもの（ロッカーなど）に触れて、人体の静電気を取り除いてください。**
- **モジュールを持つときは、必ずモジュールの端を持ってください。モジュールの電気回路部品および配線部分に手を触れないでください。**

プリンタ RAM モジュールを取り付ける

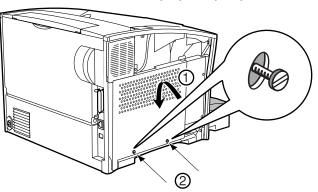
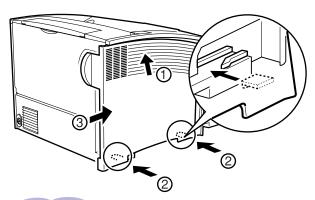
プリンタ RAM モジュールは、次の手順で取り付けます。

1 プリンタの電源を切り、ケーブルを外す

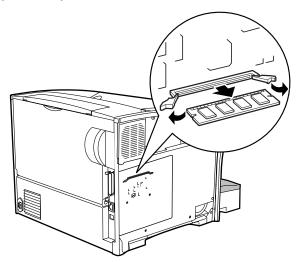
プリンタの電源スイッチを「○」側に倒します。電源コードを電源コンセントおよびプリンタの電源コードコネクタから抜きます。
パラレルケーブル、LAN ケーブル、および USB ケーブルを外します。

2 サイドカバーを背面にずらし(①)、下方のくぼみ部分を手前に引いて(②)下方向に外す(③)

3 **ネジ２か所をドライバを使って緩め、パネルを上に持ち上げながら上部のツメから外す**

4 **コネクタ両端のレバーを開き、プリンタ RAM モジュールを、向きに注意して溝に合わせてゆっくりと差し込む**

お願い

プリンタRAMモジュールの基板は壊れやすいので、取り扱いには十分注意してください。

5 **パネルをネジ(2本)で固定し、サイドカバーを取り付ける**

上部のツメにパネルをはめ込み（①）、ネジ（2本）をドライバを使って締めます（②）。

6 **サイドカバーの上部をプリンタの上部に差し込み(①)、プリンタ下部にあるレールの切れた箇所にサイドカバーの突起を合わせる(②)**
サイドカバーをプリンタ本体に沿って、前側にスライドさせる(③)

メモリを増設したときは、電源を投入し、オペレータパネルの液晶ディスプレイ上に表示される「メモリ　ヨウリョウ」でメモリの総容量を確認します。メモリを増設したときは、「80MB」と表示されます。

プリンタ RAM モジュールを取り外す

プリンタ RAM モジュールを取り外すときは、左右のレバーを指で開き、手前に引き抜きます。サイドカバーの外しかたや取り付けかたは、「プリンタ RAM モジュールを取り付ける」（38 ページ）を参照してください。

両面ユニットの取り付けかた

オプションの両面ユニットをプリンタに取り付けると、次のサイズの用紙を両面印刷できるようになります。

　A3、A4 横、A5 横、B4、B5 横、リーガル、レター横

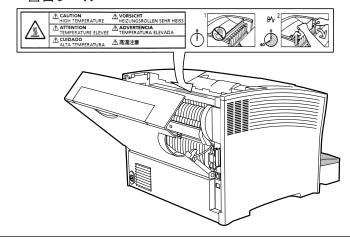
⚠警告

感　電　両面ユニットを取り付けおよび取り外すときは、電源スイッチが「○」側に倒れていることを確認し、電源コードをコンセントから抜いた後に行ってください。
電源を切らずに作業すると、感電または故障の原因となります。

⚠注意

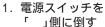
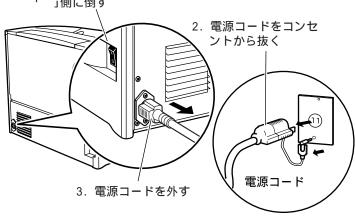
故　障　両面ユニットは、本プリンタ専用品を取り付けてください。また、本プリンタ専用の両面ユニットを、他のプリンタ（XL-6100/6010 など）に取り付けることはできません。
専用品以外の両面ユニットを取り付けると、両面ユニットおよびプリンタ本体の故障の原因となります。

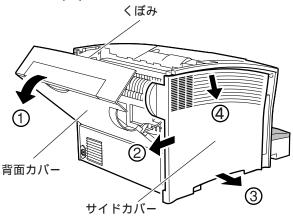
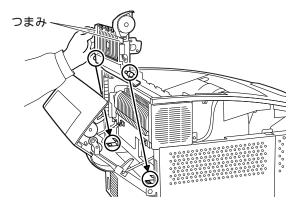
やけど「高温注意」を促すラベルが貼ってある箇所（定着器やその周辺）には、絶対に触れないでください。
やけどの原因となることがあります。

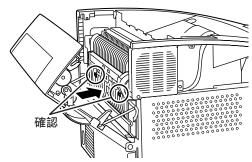
警告ラベル

両面ユニットを取り付ける

両面ユニットは、次の手順で取り付けます。

1 プリンタの電源を切り、ケーブルを外す

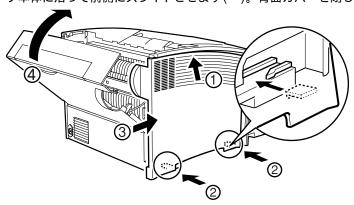
プリンタの電源スイッチを「○」側に倒します。電源コードを電源コンセントおよびプリンタの電源コードコネクタから抜きます。
パラレルケーブル、LAN ケーブル、および USB ケーブルを外します。

2 背面カバーを開き、サイドカバーを外す

背面カバーの上部中央にあるくぼみに指をかけて背面カバーを開きます（①）。
サイドカバーを背面にずらし(②)、下方のくぼみ部分を手前に引いて(③)下方向に抜きます(④)。

3 両面ユニットの左右のつまみ（オレンジ色）を持ち、下部にある２本のピンをプリンタのガイドにのせる

4 両面ユニットの左右のつまみを持ち、前方へ押しながらプリンタに固定する

しっかりと固定されていること（２か所）を確認します。

お願い

両面ユニットが確実に取り付けられていることを確認してください。正しく取り付けられていないと、動作不良や紙づまりなどの原因となります。

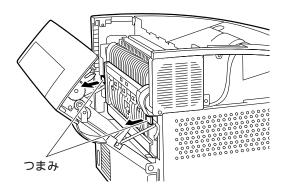
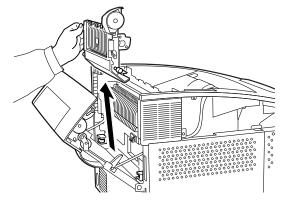
5 サイドカバーを取り付け、背面カバーを閉じる

サイドカバーの上部をプリンタの上部に差し込み(①)、プリンタ下部にあるレールの切れた箇所にサイドカバーの突起を合わせます(②)。サイドカバーをプリンタ本体に沿って前側にスライドさせます(③)。背面カバーを閉じます(④)。

両面ユニットを取り外す

両面ユニットは、次の手順で取り外します。

1 プリンタの電源を切り、各コード、ケーブルを外す
背面カバーを開き、サイドカバーを取り外す

両面ユニットを取り付けるときと同じ手順で、プリンタの電源を切り、電源コード、パラレルケーブル、USB ケーブル、および LAN ケーブルを外します。
次に背面カバーを開き、サイドカバーを取り外します。

2 両面ユニットの左右のつまみを持って手前に引き、プリンタから取り外す

3 両面ユニットを真上に引き上げる

4 サイドカバーを取り付け、背面カバーを閉じる

両面ユニットを取り付けるときと同じ手順で、サイドカバーを取り付け、背面カバーを閉じます。

拡張給紙ユニットの取り付けかた

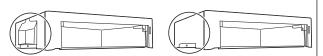
本プリンタに取り付けることができる拡張給紙ユニットには、拡張給紙ユニット（A3ユニバーサル・500 枚）があります。

拡張給紙ユニットの取り付け形態は、「オプション品のご紹介」（34 ページ）で確認してください。

⚠警告

感　電　拡張給紙ユニットを取り付けおよび取り外すときは、電源スイッチが「○」側に倒れていることを確認し、電源コードをコンセントから抜いた後に行ってください。電源を切らずに作業すると、感電または故障の原因となります。

⚠注意

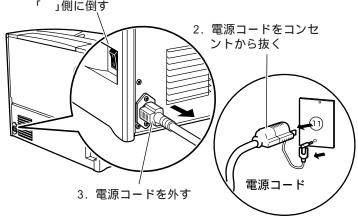
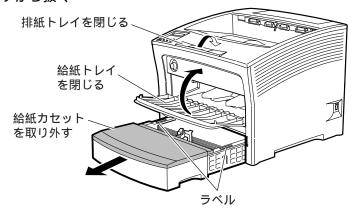
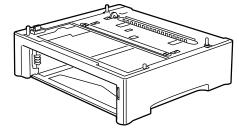
故　障　拡張給紙ユニットは、本プリンタ専用品を取り付けてください。また、本プリンタ専用の拡張給紙ユニットを、他のプリンタ（XL-6100/6010 など）に取り付けることはできません。専用品以外の拡張給紙ユニットを取り付けると、拡張給紙ユニットおよびプリンタ本体の故障の原因となります。

XL-6200 用(XL-EF50T1)　　XL-6100/6010 用(XL-EF50K1)

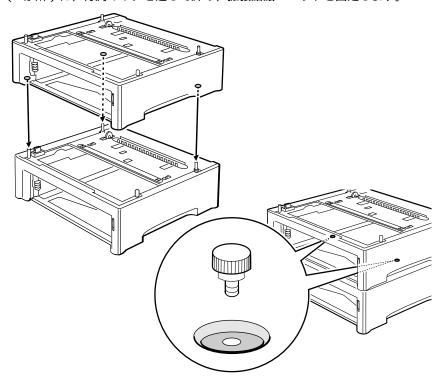
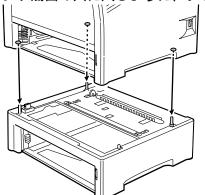
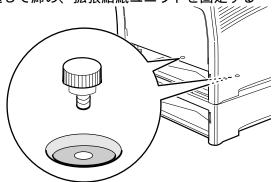
け　が
- 拡張給紙ユニットの金属部分に手を触れる場合は、十分に注意してください。手を傷つけるおそれがあります。
- プリンタと拡張給紙ユニットの間に指を挟まないように注意してください。けがの原因となることがあります。
- 本プリンタは、オプションや消耗品、用紙が入っていない状態で約 25kg あります。プリンタを動かす場合は、必ず 2 人以上で持ち運んでください。プリンタを持ち上げるときは、腰を痛めないように十分に膝を折り、プリンタ正面（オペレータパネル側）および背面に向かい、左右両側のくぼみを両手でしっかりと持ってください。くぼみ以外を持って持ち上げることは絶対にしないでください。落下によりケガの原因になることがあります。

拡張給紙ユニットを取り付ける

拡張給紙ユニットは、次の手順で取り付けます。

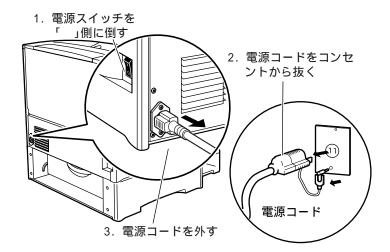
1 プリンタの電源を切り、ケーブルを外す

プリンタの電源スイッチを「○」側に倒します。電源コードを電源コンセントおよびプリンタの電源コードコネクタから抜きます。
パラレルケーブル、LAN ケーブル、および USB ケーブルを外します。

2 給紙トレイと排紙トレイを閉じ、給紙カセットを一度止まるまで手前に引き出し、ラベルの部分を両手で持ち、軽く持ち上げながらプリンタから抜く

3 拡張給紙ユニットを梱包箱から取り出し、設置場所に置く

4 **拡張給紙ユニットを2段取り付けるときは、あらかじめ2個の拡張給紙ユニットをネジで固定する**

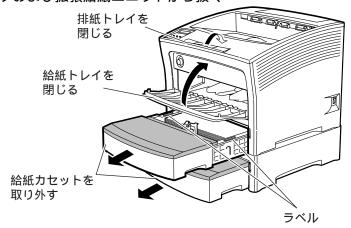
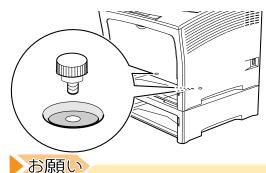
１段目の拡張給紙ユニットを２段目の拡張給紙ユニットに重ねます。このとき、２段目の拡張給紙ユニットの突起（3か所）が１段目の拡張給紙ユニットの底面の穴に納まるように位置を合わせます。１段目の拡張給紙ユニット内部のネジ穴（2か所）に、付属のネジを通して締め、拡張給紙ユニットを固定します。

5 **プリンタを水平に持ち上げ、拡張給紙ユニットの突起（3か所）が、プリンタ底面の穴に入るように、プリンタをゆっくりおろす**

6　プリンタ本体の給紙ユニット内部のネジ穴（2個）に付属のネジ(2本)を通して締め、拡張給紙ユニットを固定する

拡張給紙ユニットを取り外す

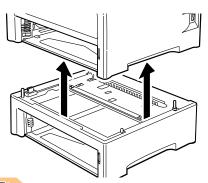
拡張給紙ユニットは、次の手順で取り外します。

1　プリンタの電源を切り、ケーブルを外す

プリンタの電源 スイッチを「○」側に倒します。電源コードを電源コンセントおよびプリンタの電源コードコネクタから抜きます。
パラレルケーブル、LAN ケーブル、および USB ケーブルを外します。

2 **給紙トレイと排紙トレイを閉じ、給紙カセットを一度止まるまで手前に引き出し、ラベルの部分を両手で持ち、軽く持ち上げながらプリンタおよび拡張給紙ユニットから抜く**

3 **2 か所の固定ネジを外す**

お願い

取り外した拡張給紙ユニットと付属の固定ネジを、破損または紛失することのないように保管してください。

4 **プリンタの左右両側のくぼみを 2 人でしっかり持ち、プリンタをまっすぐに持ち上げる**

お願い

まっすぐに持ち上げてください。無理に取り外すと、接続用ピンなどの接続部分を損傷することがあります。

4

セットアップ編

第5章

ネットワークを利用せずにプリンタを接続する

この章では、ネットワークを利用せずにプリンタを接続し、プリンタドライバをインストールするまでの手順を説明します。

パソコンとの接続方法

パソコンとプリンタの接続方法、およびプリンタドライバのインストール手順は、パソコンがサポートしているインタフェースによって異なります。

●パラレルインタフェースによる接続
（「パラレルインタフェースによる接続とインストール」(53ページ)参照）
パソコン .... 双方向パラレルインタフェースをサポートするPC/AT互換機
OS .... Windows 95/98/Me/NT4.0/2000/XP/Windows Server 2003日本語版
セットアップ方法 ... インストーラによるセットアップ(Windows 95/98/Me/NT4.0/2000)
プラグアンドプレイによるセットアップ(Windows XP/Windows Server 2003)

● USB[*1] による接続（「USBによる接続とインストール」(60ページ)参照）
パソコン .... USBインタフェースを内蔵するPC/AT互換機
OS .... Windows 98/Me/2000/XP/Windows Server 2003日本語版
セットアップ方法 ... プラグアンドプレイによるセットアップ
*1：キーボードやマウス、モデムなどの周辺機器とパソコンを結ぶデータ送路の規格の１つです。

お願い

本ドライバは他機種のプリンタで使用することはできません。また同様に、他機種用のドライバを本プリンタで使用することはできません。

ガイド

お使いのパソコンがUSBに対応している場合は、〔デバイスマネージャ〕ダイアログにUSBのホストコントローラと「USBルートハブ」が表示されます。

〔デバイスマネージャ〕ダイアログは、次の操作で表示します。

〈Windows 98/Me〉
〔マイコンピュータ〕-〔コントロールパネル〕-〔システム〕-〔デバイスマネージャ〕タブを開き、〔ユニバーサル シリアル バス コントローラ〕の下を確認

〈Windows 2000〉
〔マイコンピュータ〕-〔コントロールパネル〕-〔システム〕-〔ハードウェア〕-〔デバイスマネージャ〕タブを開き、〔USB (Universal Serial Bus) コントローラ〕の下を確認

〈Windows XP/Windows Server 2003〉
〔スタート〕-〔コントロールパネル〕-〔プリンタとその他のハードウェア〕を開き、「関連項目」の中から〔システム〕-〔ハードウェア〕-〔デバイスマネージャ〕タブを開き、〔USB (Universal Serial Bus)コントローラ〕の下を確認

パラレルインタフェースによる接続とインストール

パソコンとの接続

セントロニクス準拠のパラレルインタフェースにパソコンを接続する方法について説明します。

⚠警 告

感　電　パラレルケーブルを接続するときは、必ず本プリンタとパソコンの電源を切ってください。電源を切らずに接続すると、感電の原因となります。

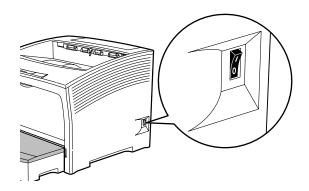
⚠注 意

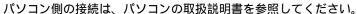
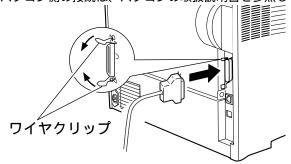
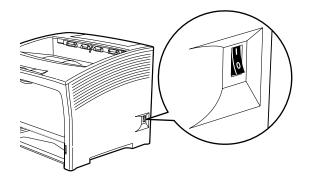
故　障　ケーブルの接続は本書をよく読み、接続に間違いがないようにしてください。
誤った接続状態で使用すると、プリンタおよびパソコンが故障する原因となることがあります。

お願い

- **パソコンとプリンタの接続に使用するパラレルケーブルは、1.5m 以下のシールドケーブルをお使いください。**
- **本プリンタには、パラレルケーブルは添付されていません。パソコンに添付のケーブルか別売ケーブルをお使いください。**
  参照　**「プリンタケーブル」（36 ページ）参照**
- **USB との同時接続はできません。**

1 電源スイッチを「○」側に倒し、プリンタの電源を切断する

パソコンの電源も切断してください。

2 パラレルケーブルをプリンタ背面にあるパラレルケーブルコネクタに差し込み、両側のワイヤクリップで固定する

パソコン側の接続は、パソコンの取扱説明書を参照してください。

3 電源スイッチを「｜」側に倒し、プリンタの電源を入れる

4 パソコンの電源を入れ、Windowsを起動する

Windowsがすでに起動している場合は、必ず再起動してください。

Windows 95/98/Me/NT4.0/2000をお使いの場合は、「新しいハードウェアの追加ウィザード」が表示されたら〔キャンセル〕をクリックし、55ページに進んでください。
Windows XP/Windows Server 2003をお使いの場合は、58ページに進んでください。

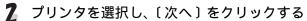
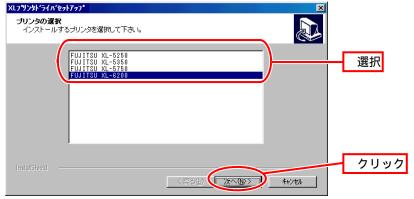
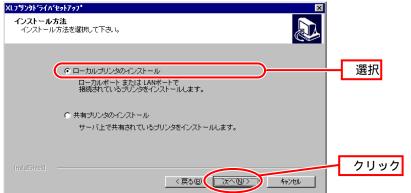
プリンタドライバのインストール (Windows 95/98/Me/NT4.0/2000)

ここでは、添付のCD-ROMに収められているインストーラを使用して、サーバまたは管理者のパソコンに必要なソフトウェアおよびプリンタドライバをインストールする手順について説明します。

ガイド Windows起動後、プラグアンドプレイにより「新しいハードウェアの追加ウィザード」が表示されることがあります。このときは〔キャンセル〕をクリックしてください。

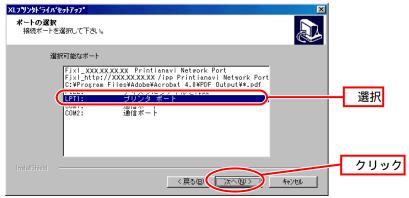
1 添付のCD-ROMをCD-ROMドライブにセットし、〔プリンタドライバ〕を選択する

ガイド
- 上の画面が自動的に表示されない場合は、エクスプローラでCD-ROMの直下のSetup.exe（CD-ROMドライブがD:のときは「D:\Setup.exe」）を実行してください。
- OSがWindows NT4.0/2000の場合は、管理者権限でログオンしてください。

2 プリンタを選択し、〔次へ〕をクリックする

3 「ローカルプリンタのインストール」を選択し、〔次へ〕をクリックする

ガイド　「共有プリンタのインストール」は、サーバ経由で印刷を行う場合に選択します。サーバ経由で印刷を行いたい場合、ここでは「ローカルプリンタのインストール」を選択してプリンタドライバをインストールした後、プリンタを共有する設定をしてください。

参照　「第７章　プリンタ共有の設定」(109 ページ)参照

参照　各コンポーネントの詳細については、『オンラインマニュアル』「第６章　プリンタドライバのインストール」参照

4 「LPT1：」を選択し、〔次へ〕をクリックする

5 プリンタ名の設定、および通常のプリンタを選択し、〔次へ〕をクリックする

6 設定内容に問題がなければ、〔次へ〕をクリックする

設定内容を変更する場合は、〔戻る〕をクリックします。

7 〔完了〕をクリックし、Windows を再起動する

以降は必要に応じて各章を参照してください。

参照　実際に印刷したいとき
「第８章　日常の操作」(127 ページ)参照

参照　インストールやテスト印刷がうまくいかなかったとき
「第 11 章　困ったときは」(183 ページ)参照

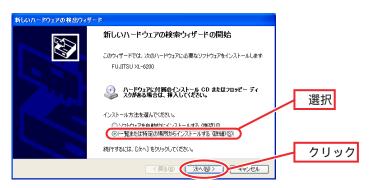
5

セットアップ編

プリンタドライバのインストール（Windows XP/Windows Server 2003）

Windows XP/Windows Server 2003 のときに、プラグアンドプレイでプリンタドライバをインストールする手順について説明します。

管理者権限でログオンしてください。

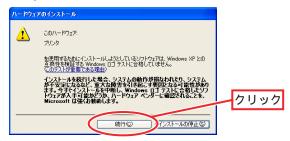
1 **「一覧または特定の場所からインストールする(詳細)」を選択し、〔次へ〕をクリックする**

2 **添付の CD-ROM をセットする**

CD-ROM をセットした後に「Printia LASER プリンタユーティリティ」の画面が自動的に起動した場合は、〔終了〕を選択して閉じてください。

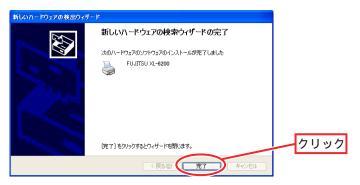
3 **「次の場所を含める」をチェックし、「D:\FJXLV71\WINXP」（CD-ROM ドライブが D:の場合）を入力し、〔次へ〕をクリックする**

ガイド

・環境によっては次の画面が表示される場合があります。
「c:\windows\inf\oem1.inf」を選択し、〔次へ〕をクリックしてください。

・次のダイアログが表示されたときは〔続行〕をクリックしてください。

4 必要なソフトウェアがインストールされたことを確認し、〔完了〕をクリックする

以上でインストールは完了です。

ガイド

通常使うプリンタに設定する場合には〔スタート〕から〔プリンタと FAX〕を選択し、〔FUJITSU XL-6200〕アイコンをダブルクリックし、〔プリンタ〕メニューから〔通常使うプリンタに設定〕を選択します。

以降は必要に応じて各章を参照してください。

参照　実際に印刷したいとき
「第 8 章　日常の操作」（127 ページ）参照

参照　インストールやテスト印刷がうまくいかなかったとき
「第 11 章　困ったときは」（183 ページ）参照

USBによる接続とインストール

パソコンとの接続

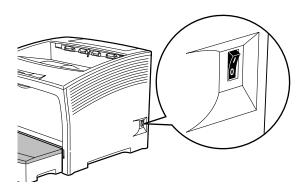
USBインタフェースにパソコンを接続する方法について説明します。

- **Windows 3.1/95からWindows 98/Meへアップグレードインストールした環境での動作は保証できません。**
- **Windows 95/NT4.0では動作しません。**
- **パソコンとプリンタの接続に使用するUSBケーブルは、5m以下のシールドケーブルをお使いください。**
- **印刷中にUSBケーブルを抜き差ししないでください。**
- **USBハブを使用する場合は、パソコンと直接接続されたUSBハブに接続してください。**
- **本プリンタと接続したUSBケーブルのもう一方は、パソコン本体のUSBコネクタ、またはセルフパワータイプのUSBハブ（電源コードやACアダプタにより電源が供給されるタイプのハブ）のコネクタに接続してください。上記以外のUSBコネクタに接続すると、正常に動作しない場合があります。**
- **パラレルとの同時接続はできません。**

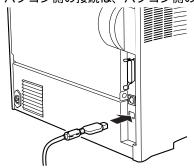
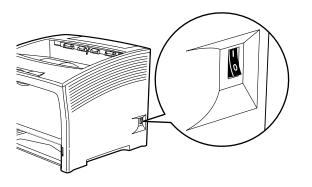
- USB1.1に準拠したUSBケーブルを用意してください。
- USBケーブルは本プリンタには添付されていません。お使いのパソコンに合わせて、別途購入してください。

参照　「プリンタケーブル」（36ページ）参照

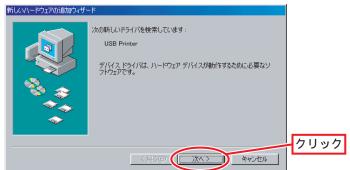
1 電源スイッチを「○」側に倒し、プリンタの電源を切断する

パソコンの電源も切断してください。

2 USB ケーブルをプリンタ背面にある USB ケーブルコネクタに差し込む

パソコン側の接続は、パソコン側の取扱説明書を参照してください。

3 電源スイッチを「｜」側に倒し、プリンタの電源を入れる

4 パソコンの電源を入れ、Windows を起動する

Windows 98 をお使いの場合は、62 ページに進んでください。
Windows Me をお使いの場合は、66 ページに進んでください。
Windows 2000 をお使いの場合は、69 ページに進んでください。
Windows XP/Windows Server 2003 をお使いの場合は、72 ページに進んでください。

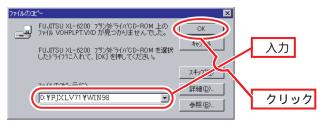
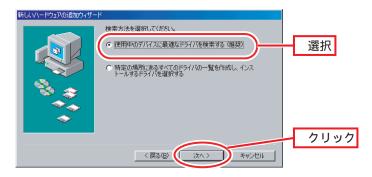
プリンタドライバのインストール（USBによるプラグアンドプレイ：Windows 98）

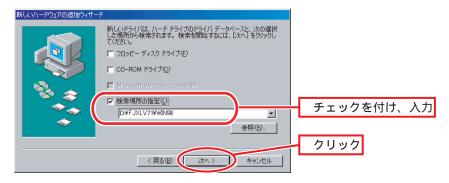
1 **〔新しいハードウェアの追加ウィザード〕が表示されたら、〔次へ〕をクリックする**

ガイド

〔ディスクの挿入〕が表示されたときは、次の操作をしてください。

1）添付のCD-ROMをセットし、〔OK〕をクリックします。

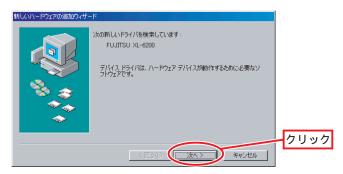
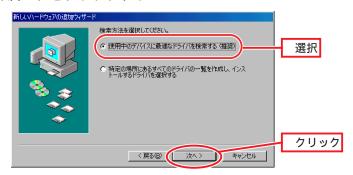
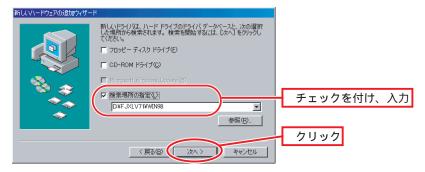
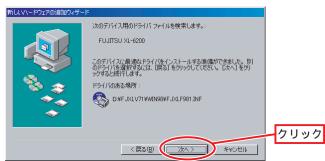
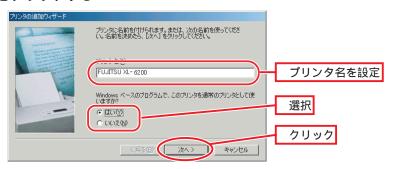
CD-ROMをセットした後に「Printia LASER プリンタユーティリティ」の画面が自動的に起動した場合は、〔終了〕を選択して閉じてください。

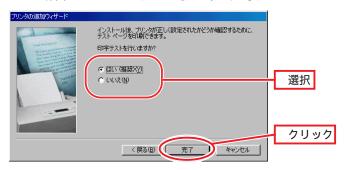
2）〔ファイルのコピー元〕に「D:\FJXLV71\WIN98」（CD-ROMドライブがD:の場合）と入力し、〔OK〕をクリックします。

2 **使用中のデバイスに最適なドライバを検索する（推奨）〕を選択し、〔次へ〕をクリックする**

3 **添付の CD-ROM をセットする**

4 **〔検索場所の指定〕にチェックを付け、「D：\FJXLV71\WIN98」（CD-ROM ドライブが D：の場合）と入力し、〔次へ〕をクリックする**

5 **「次のデバイス用のドライバファイルを検索します：USB Printing Support」と表示されていることを確認し、〔次へ〕をクリックする**

6 **必要なソフトウェアがインストールされたことを確認し、〔完了〕をクリックする**

USB ケーブルに接続しているプリンタが自動的に検出されます。

7 ドライバ名を確認し、〔次へ〕をクリックする

8 〔使用中のデバイスに最適なドライバを検索する（推奨）〕を選択し、〔次へ〕をクリックする

9 〔検索場所の指定〕にチェックを付け、「D：\FJXLV71\WIN98」（CD-ROMドライブがD：の場合）と入力し、〔次へ〕をクリックする

10 「このデバイスに最適なドライバをインストールする準備ができました」と表示されることを確認し、〔次へ〕をクリックする

11 プリンタ名および通常使うプリンタにするかどうかを設定し、〔次へ〕をクリックする

ガイド　プリンタドライバを初めてインストールする場合、このドライバが「通常使うプリンタ」となります。

12 プリンタの接続を確認するためにテスト印刷を行うときは「はい」、行わない場合は「いいえ」を選択し、〔完了〕をクリックする

13 必要なソフトウェアがインストールされたことを確認し、〔完了〕をクリックする

14 〔スタート〕メニューより「Windows の終了」を選択し、Windows を再起動する

以上でインストールは完了です。
以降は必要に応じて各章を参照してください。

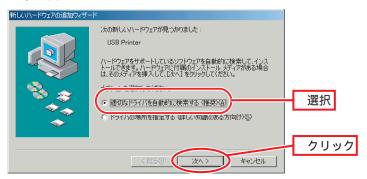
実際に印刷したいとき
「第８章　日常の操作」（127 ページ）参照

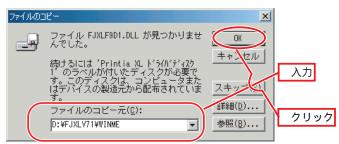
インストールやテスト印刷がうまくいかなかったとき
「第 11 章　困ったときは」（183 ページ）参照

5

セットアップ編

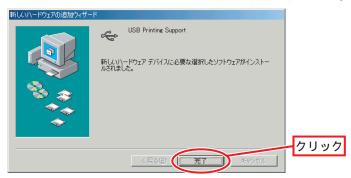
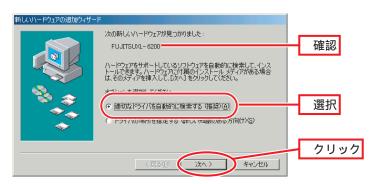
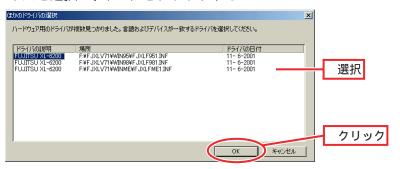
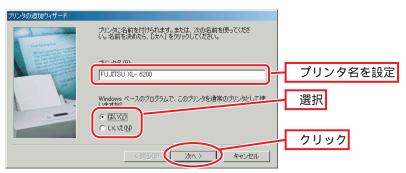
プリンタドライバのインストール（USBによるプラグアンドプレイ：Windows Me）

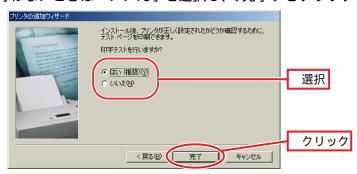
1　**〔新しいハードウェアの追加ウィザード〕が表示されたら、添付のCD-ROMをセットし、〔適切なドライバを自動的に検索する（推奨）〕を選択して、〔次へ〕をクリックする**

ガイド

・〔ファイルのコピー〕が表示されたときは、次の操作をします。添付のCD-ROMをセットし、〔ファイルのコピー元〕に「D：\FJXLV71\WINME」（CD-ROMドライブがD：の場合）と入力し、〔OK〕をクリックします。

・CD-ROMをセットした後に「Printia LASERプリンタユーティリティ」の画面が自動的に起動した場合は、〔終了〕を選択して閉じてください。

2　**〔ほかのドライバの選択〕が表示されたら、「場所」が〔D：\FJXLV71\WINME\USBPRNME.INF〕（CD-ROMドライブがD:の場合）のドライバを選択し、〔OK〕をクリックする**

3 必要なソフトウェアがインストールされたことを確認し、〔完了〕をクリックする

USB ケーブルに接続しているプリンタが自動的に検出されます。

4 装置名を確認し、〔適切なドライバを自動的に検索する（推奨）〕を選択して〔次へ〕をクリックする

5 〔ほかのドライバの選択〕が表示されたら、「場所」が〔D：\FJXLV71\WINME\FJXLFME1.INF〕（CD-ROM ドライブが D：の場合）のドライバを選択し、〔OK〕をクリックする

6 プリンタ名および通常使うプリンタにするかどうかを設定し、〔次へ〕をクリックする

ガイド　プリンタドライバを初めてインストールする場合、このドライバが「通常使うプリンタ」となります。

7 プリンタとの接続を確認するためにテスト印刷を行うときは、「はい」、行わないときは「いいえ」を選択し、〔完了〕をクリックする

8 必要なソフトウェアがインストールされたことを確認し、〔完了〕をクリックする

9 〔スタート〕メニューより「Windows の終了」を選択し、Windows を再起動する

以上でインストールは完了です。

以降は必要に応じて各章を参照してください。

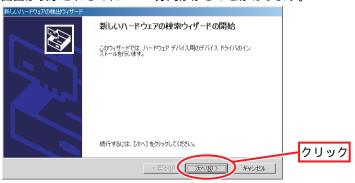
参照　実際に印刷したいとき
「第 8 章　日常の操作」（127 ページ）参照

参照　インストールやテスト印刷がうまくいかなかったとき
「第 11 章　困ったときは」（183 ページ）参照

プリンタドライバのインストール（USBによるプラグアンドプレイ：Windows 2000）

ガイド　Windows 2000のときは、管理者権限でログオンしてください。

1 〔新しいハードウェアの検出ウィザード〕が表示されたら、〔次へ〕をクリックする

画面が表示されるのに１～２分間かかることがあります。

2 「次のデバイスをインストールします」と表示されていることを確認し、〔デバイスに最適なドライバを検索する（推奨）〕を選択して〔次へ〕をクリックする

3 〔場所を指定〕を選択し、〔次へ〕をクリックする

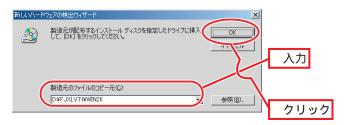
5

セットアップ編

4 添付の CD-ROM をセットする

CD-ROMをセットした後に「Printia LASERプリンタユーティリティ」の画面が自動的に起動した場合は、〔終了〕を選択して閉じてください。

5 〔製造元のファイルのコピー元〕に「D：\FJXLV71\WIN2K」（CD-ROMドライブがD：の場合）と入力し、〔OK〕をクリックする

6 「次のデバイスのドライバが検索されました」と表示されていることを確認し、〔次へ〕をクリックする

7 〔はい〕をクリックする

ファイルのコピーが開始されます。

8 **必要なソフトウェアがインストールされたことを確認し、〔完了〕をクリックする**

9 **〔スタート〕メニューより「シャットダウン」を選択し、Windows を再起動する**

以上でインストールは完了です。

ガイド 通常使うプリンタに設定する場合には〔スタート〕から〔設定〕〔プリンタ〕の順に選択し、〔FUJITSU XL-6200〕アイコンを右クリックし、〔通常使うプリンタに設定〕を選択します。

以降は必要に応じて各章を参照してください。

実際に印刷したいとき
「第 8 章　日常の操作」（127 ページ）参照

インストールやテスト印刷がうまくいかなかったとき
「第 11 章　困ったときは」（183 ページ）参照

プリンタドライバのインストール
(USBによるプラグアンドプレイ：Windows XP/Windows Server 2003)

ガイド　Windows XP/Windows Server 2003のときは、管理者権限でログオンしてください。

USBポートにプリンタを接続し、プリンタとパソコンの電源を入れると、次の画面が表示され、プラグアンドプレイによるUSBドライバのインストールが始まります。
※画面はWindows XPの場合です。

以降の手順に従ってプリンタドライバをインストールしてください。

1 **「一覧または特定の場所からインストールする(詳細)を選択し、〔次へ〕をクリックする**

2 添付の CD-ROM をセットする

CD-ROMをセットした後に「Printia LASERプリンタユーティリティ」の画面が自動的に起動した場合は、〔終了〕を選択して閉じてください。

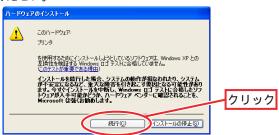
3 「次の場所を含める」をチェックし、「D:\FJXLV71\WINXP」（CD-ROMドライブがD:の場合）を入力し、〔次へ〕をクリックする

ガイド

・1で「ソフトウェアを自動的にインストールする（推奨）」を選択した場合、次の画面が表示されます。
「d:\fixlv71\winxp\fjxlfxp1.inf」を選択し、〔次へ〕をクリックしてください。

・次のダイアログが表示されたときは〔続行〕をクリックしてください。

5

セットアップ編

4 **必要なソフトウェアがインストールされたことを確認し、〔完了〕をクリックする**

5 **〔スタート〕メニューから〔シャットダウン〕を選択し、Windows を再起動する**

以上でインストールは完了です。

ガイド　通常使うプリンタに設定する場合には〔スタート〕から〔プリンタと FAX〕を選択し、〔FUJITSU XL-6200〕アイコンをダブルクリックし、〔プリンタ〕メニューから〔通常使うプリンタに設定〕を選択します。

以降は必要に応じて各章を参照してください。

実際に印刷したいとき
「第 8 章　日常の操作」（127 ページ）参照

インストールやテスト印刷がうまくいかなかったとき
「第 11 章　困ったときは」（183 ページ）参照

第６章

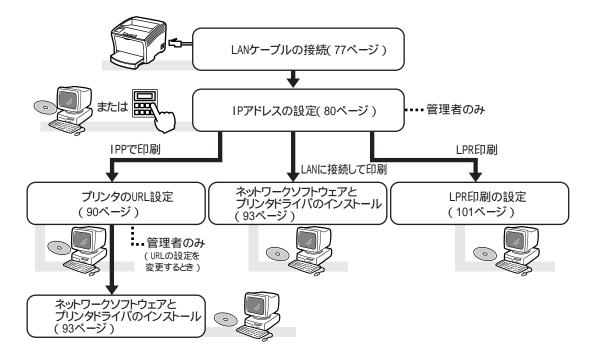
ネットワークを利用して プリンタを接続する

この章では、ネットワークを使用して、プリンタドライバをインストールするまでの手順を説明します。

LANによる接続とインストール

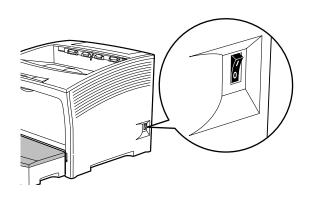
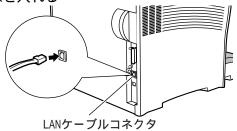
プリンタにLANケーブルを接続して印刷する場合には、以下の方法があります。

・ LANに接続して印刷
・ インターネットを利用したIPPによる印刷
・ LPR印刷

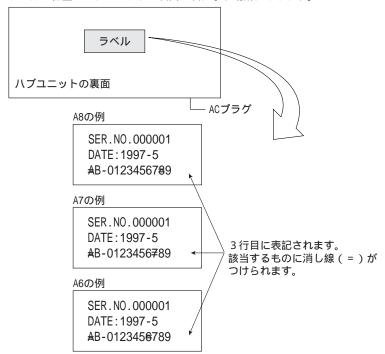
プリンタにLANケーブルを接続し、プリンタドライバをインストールするまでの手順は、以下のとおりです。

接続とインストールの手順

① LAN ケーブルの接続

プリンタをネットワーク経由で接続するときは、ハブユニット間をツイストペアケーブルで接続します。
100BASE-TX 対応のハブユニットに接続して 100Mbps でご使用になる場合には、必ずカテゴリー 5 のツイストペアケーブルをご使用ください。

1 **プリンタの電源の切断（電源スイッチが「○」側）を確認する**

2 **プリンタ背面にあるLANケーブルコネクタにLANケーブルを接続し、電源を入れる**

LANに接続するときの注意事項

● LANケーブルをハブユニットに接続した場合に、ハブユニット側のリンクランプが点灯せず、ネットワークのサーバなどに接続できないときがあります。このときは、プリンタとハブユニット双方のEthernetタイプを同じ規格に設定してください。
本プリンタのEthernetタイプは、「自動」「100Mbps Full」「100Mbps Half」「10Mbps」の中から選ぶことができます。プリンタのEthernetタイプは、メニューモードの「LAN設定」にある「Ethernetタイプ」で変更します。(メニューモードについては、『オンラインマニュアル』「第7章　オペレータパネルの操作」の「オペレータパネルからの設定(メニューモード)」参照)
ハブユニット側の設定については、ご使用のハブユニットの取扱説明書をお読みください。

● ハブユニットLH1100と接続する場合は、次の点にご注意ください。
・ケーブル長100mのツイストペアケーブルは使用しないでください。100mのツイストペアケーブルでは、ネットワークのサーバなどに接続できないことがあります。
・ハブユニットのラベルに「A8」以降の表記がある必要があります。「A7」や「A6」の表記がある場合は、ハードウェア修理相談センター（253ページ参照）にご相談ください。
ラベルの見かたを次の図に示します。

パソコンと LAN の両方に接続するときの注意事項

本プリンタは、LAN経由でサーバプリンタとして動作するとともに、もう1台のパソコンをパラレルポートまたはUSBポートに接続することができます。
パラレルポートまたはUSBポートと、LANポートの両方にプリンタを接続したときは、次の点にご注意ください。

- ポートは、自動で切り替えることができます。ただし、プリンタの状態によっては、ポートの自動切り替えが働かない場合や、切り替えに時間がかかる場合があります。
- 片方のポートを使用している場合、もう一方のポートは使用できません。２つのポートを同時に使用していて、パソコンの画面に「印刷エラー」などが表示された場合は、もう一方のパソコンからの印刷が完了してから印刷を再開してください。
- Printianaviを利用している場合、一方のパソコンから印刷中のときは、もう一方のパソコンに「プリンタが他で使用中のため待ち合わせています。」とメッセージを表示し、プリンタが使用中であることを通知します。
  一方のパソコンからの印刷が終了すると、もう一方のパソコンからの印刷を自動的に再開します。
- Printianavi および Printianavi ネットワークポートモニタを使用して複数台のパソコンからLAN経由で同時印刷した場合、一台のパソコンから印刷中のときは、残りのパソコンに「プリンタが他で使用中のため待ち合わせています。」とメッセージを表示し、プリンタが使用中であることを通知します。
- 片方のポートで未印刷データがある場合、もう一方のポートには切り替わりません。

パラレルポートまたはUSBポートから印刷している間は、プリンタから LAN ケーブルを抜き差ししないでください。

参照　ポートの切り替え時間は、『オンラインマニュアル』「第7章　オペレータパネルの操作」の「オペレータパネルからの設定(メニューモード)」の「ポート設定」の「タイムアウト時間」参照

② IP アドレスの設定

ここでは、本プリンタに IP アドレスを設定する方法について説明します。

設定方法の種類

本プリンタに IP アドレスを設定する方法には、次の 3 つがあります。 ご使用の環境に合わせていずれかの方法で設定してください。

● IP アドレス設定ユーティリティ 2 による設定（80 ページ）

添付のCD-ROMに収められているネットワークソフトウェアを使用して、IPアドレスを設定します。

● オペレータパネルによる設定（85 ページ）

プリンタのオペレータパネルから直接操作します。
プリンタ単体で設定することができます。

● DHCP によるアドレス自動取得（87 ページ）

プリンタの電源投入時に DHCP サーバから IP アドレスを自動的に取得します。DHCP サーバのある環境では、最も簡単な方法です。

IP アドレス設定ユーティリティ 2 による設定

ここでは、添付のCD-ROMに収められている IPアドレス設定ユーティリティ2を利用してプリンタに IP アドレスを設定します。

IP アドレス設定ユーティリティ 2 を利用すると、次のことができます。
・ **ネットワーク接続プリンタの一覧表示** . ネットワークに接続されているXLプリンタを自動検索し、一覧で表示します。
・ **IP アドレスの割り当て** .... 一覧画面より選択したプリンタに対し、IP アドレスの割り当てを行います。

●準 備

IP アドレスを設定する前に、次のことを確認してください。

確認事項	内　容
IP アドレス	プリンタに設定する IPアドレスを用意しておきます。サブネットマスク、ゲートウェイアドレスも必要に応じて用意してください。
環境	プリンタをネットワーク上に接続してください。

●設定手順

プリンタの電源を入れて以下の操作をします。

1 添付のCD-ROMをCD-ROMドライブにセットし、「プリンタのIPアドレス設定」を起動する

ガイド　上の画面が自動的に表示されない場合は、エクスプローラでCD-ROMの直下のSetup.exe（CD-ROMドライブがD:のときは「D:\Setup.exe」）を実行してください。

2 必要に応じて検索範囲を設定する

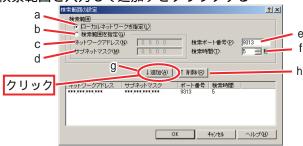
1の操作でネットワークに接続されているXLプリンタを自動検索し、一覧表示します。（①の画面）

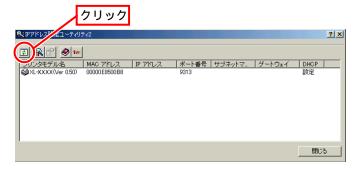
次の手順で、ネットワークに接続されているプリンタの検索範囲を設定することができます。検索範囲を設定しない場合は、3に進んでください。

① 一覧画面の **をクリックする**

6

セットアップ編

②　検索範囲を入力し〔追加〕をクリックする

a	ローカルネットワークを指定	ローカルネットワークの設定を行う場合に選択します。
b	検索範囲を指定	検索範囲の設定を行う場合に選択します。
c	ネットワークアドレス	プリンタの検索範囲に追加するネットワークアドレスを指定します。「0.0.0.0」および「255.255.255.255」は指定できません。
d	サブネットマスク	プリンタの検索範囲に追加するサブネットマスクを指定します。「255.255.255.255」は指定できません。
e	検索ポート番号	プリンタの検索範囲に追加するポート番号を指定します。 設定範囲：1～65535　初期値：9313
f	検索時間	プリンタの検索時間（タイムアウト時間）を設定します。 設定範囲：5～30秒　初期値：5秒
g	〔追加〕ボタン	a～fで指定した内容を、アドレスリストに追加します。すでに登録されているアドレスを指定した場合は、無効です。
h	〔削除〕ボタン	アドレスリストで選択した項目を削除し、a～fに反映します。

③　〔OK〕をクリックした後、をクリックする

ガイド

・ローカルネットワークを追加する場合、「検索ポート番号」と「検索時間」のみ入力することができます。

・ローカルネットワーク（***.***.***.***）の最後の１つを削除することはできません。

3 プリンタの一覧から IP アドレスを設定するプリンタを選び、をクリックする

4 IP アドレスを設定し、〔OK〕をクリックする

自動取得の場合

手動設定の場合

手動設定を選択したときは、各アドレスを指定します。ゲートウェイは省略できます。「IP アドレス」と「サブネットマスク」の入力には、次の制限があります。

IP アドレス ....「0.0.0.0」と「255.255.255.255」は指定できません。
サブネットマスク .....「255.255.255.255」は指定できません。

5 次の画面が表示されたら内容を確認し、〔OK〕をクリックする

自動取得の場合

手動取得の場合

ガイド　プリンタにパスワードを設定している場合は、以下の画面が表示されます。パスワードを入力し、〔OK〕をクリックしてください。

6

セットアップ編

6 **設定中画面に続いて〔変更完了〕画面が表示されたら、〔OK〕をクリックする**

ガイド

- **6**までの操作の後､｢プリンタからの通信が異常となりました｣と表示されたときは、設定が正しく行われませんでした。設定内容を確認し、再度設定し直してください。
- 通信が行えない場合は、設定した値が正しくありません。プリンタのLAN設定を初期化し、再度設定し直してください。LAN設定の初期化は、次の操作で行います。
  1. オペレータパネルの｢メニュー｣スイッチを押し、プリンタをセットアップモードにします。
  2. 「◀」スイッチを2回押し、「ショキカ」と表示させます。
  3. 「▼」スイッチと「▶」スイッチを1回ずつ押し、｢LANショキカ」と表示させます。
  4. 「▼」スイッチを1回押して「セッテイ」と表示させ、｢設定」スイッチ、「オンライン」スイッチの順に押します。

  「ショキカチュウ」の表示に続いて、「オンライン」と表示されれば、初期化は完了です。

これでIPアドレスの設定は完了です。

 LANによる印刷を行いたいとき
「ネットワークソフトウェアとプリンタドライバのインストール」（93ページ）参照

 IPPによる印刷を行いたいとき
「プリンタのURL設定（IPPのみ）」（90ページ）参照

 LPR印刷を行いたいとき（Windows NT4.0/2000/XP/Windows Server 2003、NetWare5）
「LPR印刷の設定」（101ページ）参照

オペレータパネルによる設定

ここでは、プリンタのオペレータパネルでIPアドレスを設定する方法について説明します。

● 準　備

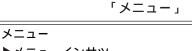
プリンタのオペレータパネルでIPアドレスを設定をする前に、次のことを確認してください。

確認事項	内　容
IPアドレス	プリンタに設定するIPアドレスを用意しておきます。サブネットマスク、ゲートウェイアドレスも必要に応じて用意してください。

● 設定方法

1　プリンタの電源を入れ、「オンライン」表示にします。

2　プリンタをメニューモードにし、「DHCP ジドウシュトク」を表示する

オペレータパネルでのスイッチ操作により、プリンタをIPアドレス設定のDHCP自動取得モードにします。

オンライン状態

↓「メニュー」

① 「メニュー」スイッチを押してプリンタをメニューモードにします。

↓「▶」

メニュー
▶ＩＰアドﾞレス　セッテイ　▼

② 「▶」スイッチを押して「IPアドレスセッテイ」を表示します。

↓「▼」を2回押す

ＤＨＣＰジﾞドﾞウシュトク
▶＊　セッテイ　▲

③ 「▼」スイッチを2回押して「DHCPジドウシュトク」を表示します。

3　DHCP 自動取得を設定／解除する

↓「▶」または「◀」

ＤＨＣＰジﾞドﾞウシュトク
▶＊　カイジﾞョ　▲

↓「設定」

① 「▶」または「◀」スイッチを押して設定したい値を表示します。「設定」スイッチを押すと「＊」が表示され、値が設定されます。初期設定は「＊セッテイ」です。

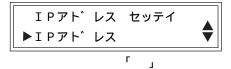
IP アドレスの設定方法によって次のように設定してください。

設定値	IP アドレスの設定方法
カイジョ	オペレータパネルから設定するとき。 「＊カイジョ」にしないとオペレータパネルから IPアドレスを設定する画面は表示されません。
セッテイ	DHCP による自動取得のとき。

↓「▲」

ＩＰアト゛レス　セッテイ
▶ＤＨＣＰシ゛ト゛ウシュトク ▲▼

② 「▲」スイッチを押して**2**の表示に戻します。

4 IP アドレスを設定する

① 「▶」スイッチを押して「IP アドレス」と表示し、「▼」スイッチを押します。

↓「▼」

↓「▶」または「◀」

② 「▶」または「◀」スイッチを押してIPアドレスを変更するブロック（IPアドレス1〜4）を選択して「▲」「▼」スイッチで値を設定します。

↓「設定」

ＩＰアト゛レス
＊192.168.　0.　0 ▲

③ 各ブロックを設定したら「設定」スイッチを押し、カーソルが＊に移動しているのを確認する

サブネットマスク、ゲートウェイアドレスの設定を行うときは、「▲」スイッチを押して手順①の表示に戻した後「▶」「◀」スイッチを押して「サブネットマスク」「ゲートウェイ」とそれぞれ表示された状態で②〜③の操作を行ってください。

5 設定を終了する

設定が終わったら「オンライン」または「メニュー」スイッチを押します。
プリンタの初期化が行われ、設定値が反映されます。

以降の操作は、接続・運用形態に合わせて進んでください。

参照　**LAN による印刷を行いたいとき**
「④ネットワークソフトウェアとプリンタドライバのインストール」（93 ページ）参照

参照　**IPP による印刷を行いたいとき**
「③プリンタの URL 設定（IPP のみ）」（90 ページ）参照

参照　**LPR 印刷を行いたいとき（Windows NT4.0/2000/XP/Windows Server 2003、NetWare5）**
「⑤ LPR 印刷の設定」（101 ページ）参照

DHCP によるアドレス自動取得

ここでは、DHCP によって IP アドレスを自動的に取得する方法について説明します。

● 準備

IP アドレスを取得する前に、次のことを確認してください。

確認事項	内　容
IP アドレス	プリンタに設定する IP アドレスを用意しておきます。サブネットマスク、ゲートウェイアドレスも必要に応じて用意してください。
環境	DHCP サーバとプリンタを、ネットワーク上に接続してください。

● 設定方法

1 設定の一覧を印刷する

オペレータパネルで次の操作を行い、ネットワークプリンタとして設定するために必要な情報を印刷します。

```
オンライン
```

① **オンライン状態であることを確認する**
オペレータパネルの「オンライン」ランプが点灯し、液晶ディスプレイに「オンライン」メッセージが表示されていることを確認します。

↓「メニュー」

```
メニュー
▶メニュー　インサツ　　▼
```

② **「メニュー」スイッチを押し、メニューモードにする**

↓「▼」

```
メニュー インサツ
セッテイ ノ インサツ　　▲
```

③ **「▼」スイッチを１回押す**

↓「設定」

印刷開始

↓

④ **「設定」スイッチを押す**
設定の一覧の印刷が開始されます。

6

セットアップ編

印刷終了
↓

メニュー インサツ
セッテイ ノ インサツ　▲

↓「オンライン」または「メニュー」を押す

オンライン

⑤ **印刷状態を確認する**
正常に印刷されないときは、「困ったときは」(183ページ)を参照してください。

⑥ **「オンライン」または「メニュー」スイッチを押して、オンライン状態に戻す**

ガイド　オンライン状態のまま1分経過すると、省電力モードになり「セツデン」と表示されますが、「メニュー」スイッチを押せばセットアップモードに移行します。

2 設定の一覧を確認し、必要ならばプリンタ側の設定を行う

次の設定になっているか確認します。

項　目	設定値
ネットワーク基本情報	TCP/IP設定＝有効
TCP/IP設定	DHCP自動取得＝設定

工場出荷時の初期値は上記の設定になっていますので、通常、設定は不要です。設定が必要な場合は、オンラインマニュアル「第7章　オペレータパネルの操作」を参照してください。

3 DHCPサーバの設定を行う

DHCPマネージャを開いて〔スコープ〕の〔作成〕を選択し、次の項目を設定してください。

・開始アドレス
・終了アドレス
・サブネットマスク
・リース期間(無期限を推奨)

設定が終わったら、〔スコープ〕をアクティブにします。

割り当てるIPアドレスを固定したいときは、続けて〔スコープ〕の〔予約の追加〕を選択し、次の項目を設定します。

・IPアドレス ...... 設定したいIPアドレス
・一意のID .... MACアドレス(設定の一覧のネットワーク基本情報に印刷されています。半角英数字12文字で入力してください。)
・クライアント名 .. 任意の名前

設定が終わったら、〔追加〕を選択して終了します。

4 プリンタの電源を再投入する

プリンタがネットワークに接続されていることを確認し、電源を入れ直してください。

以上で、DHCP によるアドレスの自動取得は終了です。

以降の操作は、接続運用形態に合わせて進んでください。

LAN による印刷を行いたいとき
「④ネットワークソフトウェアとプリンタドライバのインストール」（93 ページ）参照

IPP による印刷を行いたいとき
「③プリンタの URL 設定（IPP のみ）」（90 ページ）参照

LPR 印刷を行いたいとき（Windows NT4.0/2000/XP/Windows Server 2003、NetWare5）
「⑤ LPR 印刷の設定」（101 ページ）参照

③プリンタのURL設定（IPPのみ）

インターネットに接続されたプリンタに直接印刷を行うには、IPPを使用します。

IPPでは、プリンタをURLで指定します。URLの初期値は、「http://IPアドレス/ipp」に設定されています。変更が不要な場合は、「ネットワークソフトウェアとプリンタドライバのインストール」（93ページ）に進んでください。

プリンタのURL設定には、次の2種類の方法があります。
・ Webブラウザからの変更
・ Printianaviネットワークマネージャからの変更

Printianaviネットワークマネージャは、あらかじめインストールしておく必要があります。

Printianaviネットワークマネージャによる変更方法は、『オンラインマニュアル』「第３章　Printianaviネットワークマネージャ」参照

ここでは、Webブラウザからの変更方法を説明します。

準　備

設定の前に、次のことを確認してください。

確認事項	内　容
Webブラウザ	プリンタのURLの設定や確認に使用します。 あらかじめNetscape 4.0 以上、またはInternet Explorer 4.0 以上の製品版Webブラウザをインストールしておいてください。
プリンタのIPアドレス設定	プリンタにIPアドレスを設定しておきます。 設定方法については、「② IPアドレスの設定」（80ページ）を参照してください。
プリンタのURL	IPPポートの印刷先に指定するプリンタのURLです。 プリンタのURLは、次のどちらかの書式で指定します。（日本語/英数字を含め半角63文字または全角31文字以内） なお、プリンタのURLに含まれるIPPプリンタ名には、任意の名前を指定してください。（初期値は「ipp」です。） **・DNSサーバにプリンタのホスト名を登録してあるとき** 書式：「プリンタのホスト名＋ドメイン名」＋「/」＋「IPPプリンタ名」 例　：xlprn.xxx.fujitsu.com/xlprn1 （プリンタのホスト名＋ドメイン名がxlprn.xxx.fujitsu.com、IPPプリンタ名がxlprn1のとき） **・DNSサーバにプリンタのホスト名を登録していないとき** 書式：「プリンタIPアドレス」＋「/」＋「IPPプリンタ名」 例　：192.168.0.11/xlprn1 （プリンタのIPアドレスが192.168.0.11、IPPプリンタ名がxlprn1のとき）

1 Web ブラウザを起動し、Printia LASER Internet Service を表示する

Web ブラウザを起動し、次のどちらかの方法で Printia LASER Internet Service の URL を指定します。

・DNS サーバで登録した名前を指定する場合

「http://」の後に、DNS サーバで設定したプリンタのホスト名＋ドメイン名を指定します。

例：http://xlprn.xxx.fujitsu.com

（ホスト名：xlprn、ドメイン名：xxx.fujitsu.com の場合）

・IP アドレスで指定する場合

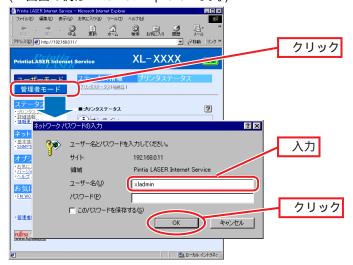
「http://」の後に、直接プリンタの IP アドレスを指定します。

例：http://192.168.0.11

（プリンタの IP アドレスが 192.168.0.11 の場合）

指定した URL でプリンタに正しく接続されると、Printia LASER Internet Service の画面が表示されます。

2 〔管理者モード〕をクリックし、ユーザー名に「xladmin」と入力して〔OK〕をクリックする

（※画面の例は Internet Explorer です。）

※ユーザー名は、「xladmin」固定です。

3 「ネットワーク情報」の〔基本情報〕をクリックし、「プリンタの URL」を入力して〔設定〕をクリックする

プリンタのリセット後、「プリンタの設定は更新されました」と表示されたら、設定は終了です。

・IPP プリンタ名には、半角空白および次の文字は使えません。
　;/?:@&=+$,{}|\^[]'<>#%”

・〔アドレス取込み〕ボタンをクリックすると、Web ブラウザで表示されているアドレスを「プリンタの URL」に反映することができます。（管理者モードのみ）

※ IPP プリンタ名が指定されていない場合は、初期値の「ipp」を IPP プリンタ名として付加します。

Printia LASER Internet Service の詳細については、ヘルプまたは『オンラインマニュアル』「第４章 Printia LASER Internet Service」参照

引き続き「ネットワークソフトウェアとプリンタドライバのインストール」（93ページ）でプリンタ管理者向けの設定を行ってください。

④　ネットワークソフトウェアとプリンタドライバのインストール

ここでは、添付のCD-ROMに収められているネットワークソフトウェアを使用して、サーバまたは管理者のパソコンに必要なソフトウェアおよびプリンタドライバをインストールする手順について説明します。

本ソフトウェアは以下のときに使用します。
・ LAN（TCP/IP）に直接接続して印刷する場合
・ IPPでの印刷を行う場合

ネットワークソフトウェアは以下の3つで構成されています。
ここでは「プリンタ管理者向け」によるセットアップを行います。

セットアップタイプ	設定環境	インストールされるもの
一般ユーザ向け	クライアント側の設定	・Printianavi ネットワークポートモニタ（*1） ・プリンタドライバ（*2）
プリンタ管理者向け	サーバ側の設定	・Printianaviネットワークポートモニタ（*1） ・Printianavi ネットワークマネージャ（*3） ・Printianavi IPアドレス設定ユーティリティ2（*4） ・プリンタドライバ（*2）
カスタム	個別の機能（管理者機能・ポート作成）の設定 （すべて選択制）	・Printianavi ネットワークポートモニタ（*1） ・Printianavi ネットワークマネージャ（*3） ・Printianavi IPアドレス設定ユーティリティ2（*4） ・プリンタドライバ（*2）

* 1：LAN（TCP/IP）やIPPで接続したXLプリンタに対し、印刷先のポートを作成するのに必要なソフトウェアです。
* 2：画面の中でプリンタの追加を選択したときのみインストールされます。
* 3：ネットワーク上にあるXLシリーズのプリンタを一括して管理するソフトウェアです。プリンタのステータス表示やネットワークに関する各種設定を行うことができます。
* 4：プリンタのIPアドレスを新規に設定、または変更するためのソフトウェアです。新規の設定は、XL-6200/5750/5350/5250以降のプリンタでのみ行えます。

準　備

あらかじめプリンタのIPアドレスを設定しておいてください。

IPアドレスの設定方法については、「② IPアドレスの設定」(80ページ)参照

インストール

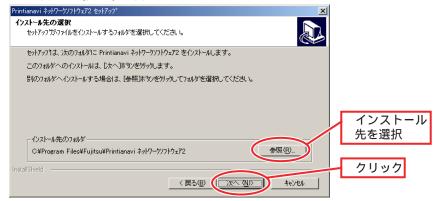
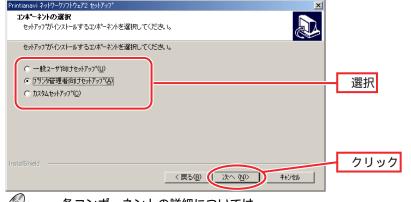
プリンタの電源を入れて以下の操作をします。

1 **添付の CD-ROM を CD-ROM ドライブにセットし、〔ネットワークでプリンタを使う〕を選択する**

ガイド

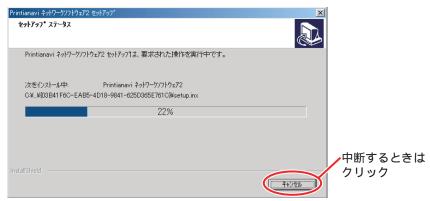
上の画面が自動的に表示されない場合は、エクスプローラでCD-ROM の直下の Setup.exe（CD-ROM ドライブが D:のときは「D:\Setup.exe」）を実行してください。
OS が Windows NT4.0/2000/XP/Windows Server 2003 の場合は、管理者権限でログオンしてください。

2 **〔次へ〕をクリックする**

3 〔参照〕をクリックしてPrintianaviネットワークソフトウェアのインストール先を選択し、〔次へ〕をクリックする

4 管理者は〔プリンタ管理者向けセットアップ〕を、管理者以外の人は「一般ユーザ向けセットアップ」を選択し、〔次へ〕をクリックする

参照　各コンポーネントの詳細については
『オンラインマニュアル』「第５章　ネットワークソフトウェアのインストールとネットワークポートの追加」参照

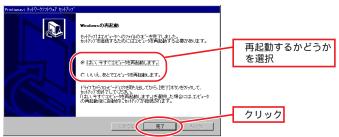
5 プログラムフォルダを指定し、〔次へ〕をクリックする

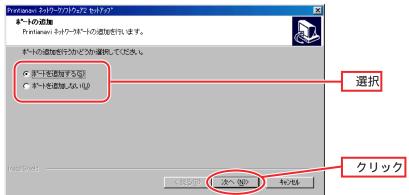
ここで指定した名前がスタートメニューに追加されます。
初期設定は「Printianavi\ネットワークソフトウェア２」です。

ファイルのコピーが開始されます。

ガイド

・Printianaviネットワークポートモニタ V5.1をすでにインストールしている場合、次の画面が表示されるので〔OK〕をクリックします。

・Printianaviネットワークポートモニタ V3.1以前と置き換える場合は、次の画面が表示されるので、〔はい〕をクリックします。

・V7.1より前のPrintianaviネットワークポートモニタがインストールされていた場合は、次の画面が表示されます。
すぐに再起動するかどうかを選択し、〔完了〕をクリックします。

「はい、今すぐコンピュータを再起動します」を選択すると、Windowsを再起動後、6の処理から自動的に再開されます。
「いいえ、あとでコンピュータを再起動します」を選択すると、インストールを終了します。
なお、再起動を行わない場合の動作保証はされません。プリンタを使用する前に必ず再起動してください。

6 「ポートを追加する」を選択し、〔次へ〕をクリックする

ガイド

Windows NT4.0でSpoolerサービスの「デスクトップとの対話をサービスに許可」をチェックしていない場合、ポートの追加が正しく行われません。
プリンタドライバのインストールを行った後、Spoolerサービスの「デスクトップとの対話をサービスに許可」をチェックし、必要な操作を行った後、再度ポートの追加を行ってください。

参照　Spooler サービスの設定方法については
「ポートが追加できない」の〈対処〉（222 ページ）参照

7 ポートの追加処理を行う

【LAN の場合】

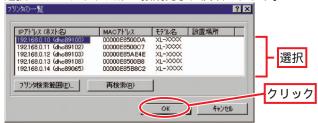
ポートの追加処理の詳細については、以下を参照してください。

参照　LAN による印刷を行いたいとき
「LAN ポートの追加」（140 ページ）参照

①〔参照〕をクリックします。
ネットワークに接続されているXLプリンタが「プリンタ一覧」に表示されます。

6

セットアップ編

② 設定したい IP アドレスを選択して〔OK〕をクリックします。
選択した IP アドレスが「接続先」に反映されます。

ガイド　ポート名を指定しなかった場合は、IP アドレスまたはホスト名入力域の設定情報の先頭に「Fjxl_」を付加したものをポート名として自動生成します。

【IPP の場合】

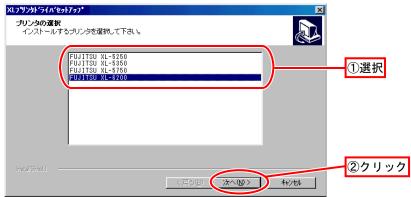
ポートの追加処理の詳細については、以下を参照してください。

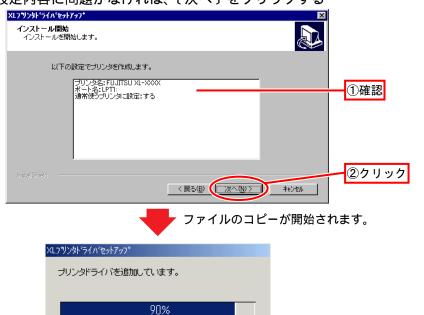
参照　IPP による印刷を行いたいときは、
「IPP ポートの追加」（142 ページ）参照

ガイド　プリンタの URL は、次の方法で確認することができます。（プリンタに設定済みの場合のみ）

- Printia LASER Internet Serviceの〔ネットワーク設定〕〔基本情報〕を参照する
- 「⑥設定の一覧を印刷する」（30 ページ）で印刷した設定情報（設定の印刷）を参照する
- Printianaviネットワークマネージャの〔詳細画面の表示〕〔基本情報〕を参照する

8 「追加したポートに接続するプリンタを追加する」を選択し、〔次へ〕をクリックする

9 プリンタを選択し、〔次へ〕をクリックする

10 プリンタ名の設定、および通常のプリンタを選択し、〔次へ〕をクリックする

11 設定内容に問題がなければ、〔次へ〕をクリックする

12〔完了〕をクリックし、Windowsを再起動する

Windowsが起動したら、ネットワークソフトウェアとプリンタドライバのインストールは完了です。

以降は必要に応じて各章を参照してください。

参照　実際に印刷したいとき
「第８章　日常の操作」(127ページ)参照

参照　インストールやテスト印刷がうまくいかなかったとき
「第11章　困ったときは」(183ページ)参照

⑤　LPR 印刷の設定

ここでは、Windows NT4.0/2000/XP/Windows Server 2003 やNetWare環境からのLPR印刷の設定について説明します。

ガイド　Printianavi機能はご使用になれませんので、あらかじめご了承ください。

Windows 2000/XP/Windows Server 2003 の準備

● プリンタの IP アドレス設定

プリンタに IP アドレスを設定しておきます。設定した IP アドレスは固定にしてください。

参照　設定方法については、「② IP アドレスの設定」（80 ページ）参照

● サービスの組み込み

「UNIX 用印刷サービス」と「簡易 TCP/IP サービス」を組み込んでおきます。次の手順で確認と組み込みを行います。

1 〔オプションネットワークコンポーネント〕ウィザードを表示する

Windows 2000 のとき：

〔スタート〕から〔設定〕〔ネットワークとダイヤルアップ接続〕の順に選択し、〔ネットワークとダイヤルアップ接続〕ダイアログの〔詳細設定〕メニューから〔オプションネットワークコンポーネント〕を選択する

Windows XP のとき：

〔スタート〕から〔コントロールパネル〕〔ネットワーク接続〕の順に選択し、〔詳細設定〕メニューから〔オプションネットワークコンポーネント〕を選択する

Windows Server 2003 のとき：

〔スタート〕から〔コントロールパネル〕〔ネットワーク接続〕の順に選択し、右クリックして〔開く〕をクリックします。〔詳細設定〕メニューから〔オプションネットワークコンポーネント〕を選択する

2 「UNIX 用印刷サービス」が組み込まれているか確認する

〔そのほかのネットワークファイルと印刷サービス〕を選択し、〔詳細〕をクリックして「UNIX 用印刷サービス」が組み込まれているか（チェックボックスがチェックされているか）確認します。
組み込まれていないときは、チェックして〔OK〕をクリックします。
すでに組み込まれているときは、〔キャンセル〕をクリックします。

3 「簡易 TCP/IP サービス」が組み込まれているか確認する

〔ネットワークサービス〕を選択し、〔詳細〕をクリックして「簡易 TCP/IP サービス」が組み込まれているか（チェックボックスがチェックされているか）確認します。
組み込まれていないときは、チェックして〔OK〕をクリックします。
すでに組み込まれているときは、〔キャンセル〕をクリックします。

以降は、〔次へ〕をクリックして画面の指示に従って、操作をしてください。

Windows 2000/XP/Windows Server 2003のときの設定手順

1 **Windows 2000/XP/Windows Server 2003を起動し、管理者権限でログオンする**

2 **添付のCD-ROM をCD-ROM ドライブにセットし、〔プリンタドライバ〕をクリックする**

インストールするプリンタを選択後、プリンタの設定でポート名は「LPT1:」を設定してください。

以降は画面の指示に従ってインストールします。

3 **プリンタのポートの設定を変更する**

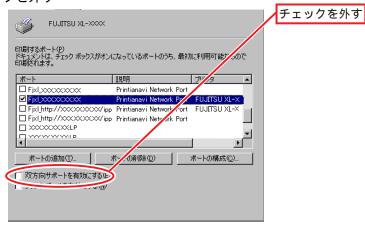
① **Windows 2000のとき：**
〔スタート〕から〔設定〕〔プリンタ〕の順に選択し、LPR印刷を行うプリンタを選択する
Windows XP/Windows Server 2003のとき：
〔スタート〕から〔プリンタとFAX〕の順に選択し、LPR印刷を行うプリンタを選択する

② **〔ファイル〕メニューで〔プロパティ〕を選択し、プリンタのプロパティを表示する**

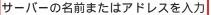
③ **〔ポート〕タブをクリックし、「双方向サポートを有効にする」のチェックを外す**

④ 〔ポートの追加〕ボタンをクリックし、〔プリンタポート〕ダイアログボックスから、「LPR Port」を選択して〔新しいポート〕ボタンをクリックする

〔LPR 互換プリンタの追加〕ダイアログボックスが表示されます。
次の内容を入力し、〔OK〕をクリックします。

お願い

プリンタの電源を入れ、ネットワークに接続されている状態にしておいてください。

LPR 互換プリンタの追加画面

プリンタの IP アドレスを半角数字とピリオドで「XXX.XXX.XXX．XXX」の形式で入力します。

プリンタ名またはプリンタキュー名を入力

ガイド

「サーバーのプリンタ名または印刷キュー」には、必ず半角英字で「LP」と入力してください。プリンタ LAN アダプタ FM-LNA100/110 の場合の設定「LPT1.NB.NT.NFF」とは異なりますのでご注意ください。

4 印刷データのスプール方法を変更する

プリンタのプロパティから〔詳細設定〕タブをクリックし、「印刷ドキュメントをスプールし、プログラムの印刷処理を高速に行う」と「全ページ分のデータをスプールしてから、印刷データをプリンタに送る」を選択します。

以降は必要に応じて各章を参照してください。

参照　実際に印刷を行いたいとき
「第 8 章　日常の操作」（127 ページ）参照

参照　インストールやテスト印刷がうまくいかなかったとき
「第 11 章　困ったときは」（183 ページ）参照

Windows NT4.0のときの準備

● プリンタのIPアドレス設定

プリンタにIPアドレスを設定しておきます。設定したIPアドレスは固定にしてください。

参照　設定方法については、「② IPアドレスの設定」（80ページ）参照

● サービスの組み込み

「Microsoft TCP/IP印刷サービス」と「簡易TCP/IPサービス」を組み込んでおきます。次の手順で確認と組み込みを行います。

1 〔ネットワーク〕画面を表示する

〔スタート〕から〔設定〕〔コントロールパネル〕の順に選択し、〔ネットワーク〕をダブルクリックします。

2 「Microsoft TCP/IP印刷」と「簡易TCP/IPサービス」が組み込まれているか確認する

〔サービス〕タブをクリックし、「ネットワークサービス」の一覧に、「Microsoft TCP/IP印刷」と「簡易TCP/IPサービス」が表示されるか確認します。
組み込まれていないときは、〔追加〕をクリックし、〔ネットワークサービスの選択〕ダイアログのネットワークサービス一覧から「Microsoft TCP/IP印刷」を選択します。
続けて、同じ手順で「簡易TCP/IPサービス」を選択します。

Windows NT4.0のときの設定手順

1 Windows NT4.0を起動し、管理者権限でログオンする

2 添付のCD-ROMをCD-ROMドライブにセットし、〔プリンタドライバ〕をクリックする

インストールするプリンタを選択後、プリンタの設定でポート名は「LPT1:」を設定してください。
以降は画面の指示に従ってインストールします。

3 プリンタのポートの設定を変更する

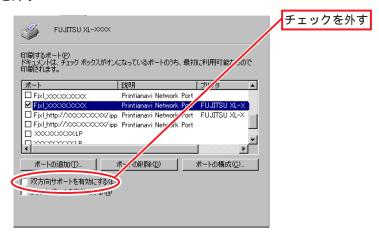
① 〔スタート〕から〔設定〕〔プリンタ〕の順に選択し、LPR印刷を行うプリンタを選択する

② 〔ファイル〕メニューで〔プロパティ〕を選択し、プリンタのプロパティを表示する

③ 〔ポート〕タブをクリックし、「双方向サポートを有効にする」のチェックを外す

④ 〔ポートの追加〕ボタンをクリックし、〔プリンタポート〕ダイアログボックスから、「LPR Port」を選択して〔新しいポート〕ボタンをクリックする

〔LPR互換プリンタの追加〕ダイアログボックスが表示されます。
次の内容を入力し、〔OK〕をクリックします。

お願い

プリンタの電源を入れ、ネットワークに接続されている状態にしておいてください。

LPR 互換プリンタの追加画面

サーバーの名前またはアドレスを入力

LPR 互換ﾌﾟﾘﾝﾀの追加

lpd を提供しているサーバーの名前またはｱﾄﾞﾚｽ(N): 192.168.0.1

サーバーのﾌﾟﾘﾝﾀ名またはﾌﾟﾘﾝﾀ キュー名(R): LP

OK　キャンセル　ﾍﾙﾌﾟ(H)

プリンタ名またはプリンタキュー名を入力

ガイド　「サーバーのプリンタ名またはプリンタキュー名」には、必ず半角英字で「LP」と入力してください。プリンタLANアダプタFM-LNA100/110の場合の設定「LPT1.NB.NT.NFF」とは異なりますのでご注意ください。

4 印刷データのスプール方法を変更する

プリンタのプロパティから〔スケジュール〕タブをクリックし、「印刷ドキュメントをスプールし、プログラムの印刷処理を高速に行う」と「全ページ分のデータをスプールしてから、印刷データをプリンタに送る」を選択します。

設定が終わったら〔OK〕をクリックし、プリンタのプロパティを終了します。以上で設定は終了です。テスト印刷を行い、正常に印刷されることを確認してください。

NetWare5 のときの準備

本プリンタは、Novell NetWare5 の NDPS を使用して TCP/IP 環境での LPR 印刷が可能です。

ここでは、本プリンタを Novell NetWare5 の NDPS で使用する場合の NDPS プリンタの作成手順（管理者のみ）について説明します。NDPS に関する詳細な情報につきましては、Novell NetWare5 のマニュアルを参照してください。なお、本設定での印刷では、Printianavi の機能はご使用になれませんのでご了承ください。

● プリンタの IP アドレス設定

プリンタにIPアドレスを設定しておきます。設定したIPアドレスは固定にしてください。

参照　設定方法については、「② IP アドレスの設定」（80 ページ）参照

● NDPS のセットアップ

あらかじめ、NDPS をサーバにセットアップしておいてください。セットアップ方法については、Novell NetWare5 のマニュアルを参照してください。

NewWare5 のときの設定手順

NDPS マネージャの作成を行ってから、NDPS プリンタの作成を行います。

● NDPS マネージャの作成

1 NetWare アドミニストレータを起動する

\SYS\PUBLIC\WIN32\NWADMN32.EXE を実行してください。

2 NDPS マネージャを置くコンテキストに移動する

3 〔オブジェクト〕から〔作成〕をクリックする

4 〔NDPS Manager〕をクリックし〔OK〕をクリックする

5 NDPS マネージャ名、常駐先サーバ、データベースボリュームを設定する

NDPS マネージャ名 .... 作成する NDPS マネージャの名前を入力します。
常駐先サーバ .... 右の〔参照〕をクリックし、NDPS マネージャを常駐させるサーバを選択します。
データベースボリューム ..... 右の〔参照〕をクリックし、NDPS マネージャが利用するデータベースを置くボリュームを選択します。

設定が終わったら、〔作成〕をクリックしてください。

● NDPS プリンタの作成

1 NDPS プリンタを置くコンテキストに移動する

2 〔オブジェクト〕から〔作成〕をクリックする

3 〔NDPS Printer〕をクリックし、〔OK〕をクリックする

4 NDPS プリンタ名、プリンタエージェントのソースを設定する

NDPS プリンタ名 .... 作成するNDPSプリンタの名前を入力します。
プリンタエージェントのソース ..「新規プリンタエージェントを作成する」を選択します。

設定が終わったら、〔作成〕をクリックしてください。

5 NDPS マネージャ名とゲートウェイタイプを設定する

NDPS マネージャ名 .... 右の〔参照〕をクリックし、先ほど作成した NDPS マネージャを選択します。
ゲートウェイタイプ ....「Novell プリンタゲートウェイ」をクリックします。

設定が終わったら、〔OK〕をクリックしてください。

6 NDPS マネージャをロードする

「NDPS マネージャがロードされていません。ロードしますか？」という意味の警告が表示されます。ここでは〔OK〕をクリックし NDPS マネージャをロードしてください。

7 プリンタタイプは「なし」、ポートハンドラタイプは「Novell ポートハンドラ」を選択し、〔OK〕をクリックする

8 接続タイプ、ホストアドレス、プリンタ名を設定する

接続タイプ ....「リモート（IP 上で LPR)」を選択します。
ホストアドレス ... 本プリンタの IP アドレスを入力します。
プリンタ名 ....「LP」と入力します。

設定が終わったら、〔完了〕をクリックしてください。

9 〔プリンタドライバの選択〕画面で、接続したプリンタを選択する

一覧にない場合は「なし」を選択してください。(ブローカーのリソース管理サービスを使用して、プリンタドライバを追加することができます。詳細は Novell のマニュアルを参照してください。)
プリンタの選択が終わったら、〔続行〕をクリックし、〔OK〕をクリックしてください。

以上で、作成した NDPS プリンタを出力先に指定して印刷ができます。

第7章

プリンタ共有の設定

この章では、プリンタをサーバ上で共有し、他のパソコンから印刷するために必要な設定について説明します。

Windows 95/98/Me のとき

ここでは、OS が Windows 95/98/Me のパソコンをサーバとして運用する場合と、クライアントとして運用する場合に必要となる設定について説明します。

サーバ側の設定

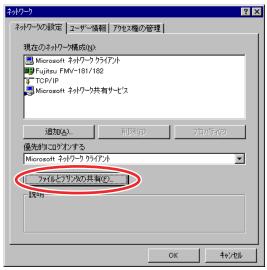
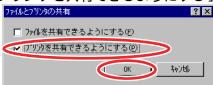
サーバとして運用する場合に必要な設定について説明します。

準　備

ネットワークの設定で、プリンタの共有ができるように設定します。

1　**〔ネットワーク〕プロパティを開く**

〔スタート〕から〔設定〕〔コントロールパネル〕の順に選択し、〔ネットワーク〕をダブルクリックします。

2　**〔ファイルとプリンタの共有〕をクリックする**

3　**「プリンタを共有できるようにする」を選択し、〔OK〕をクリックする**

4　**〔ネットワーク〕プロパティの〔OK〕をクリックして閉じ、OS を再起動する**

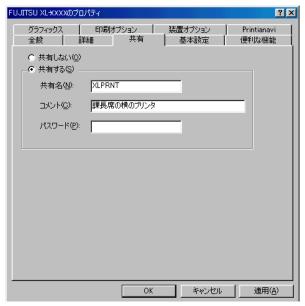
設　定

共有プリンタの設定手順は次のとおりです。

1 **〔スタート〕から〔設定〕〔プリンタ〕の順に選択し、共有するプリンタをクリックする。**

2 **〔ファイル〕メニューから〔共有〕を選択する**

3 **「共有する」を選択し、共有名を入力する**

必要ならコメント、パスワードを入力してください。

共有名 .... 共有プリンタの名前を入力します。他のユーザがネットワークで情報を見るときに、ここに指定した名前が表示されます。

コメント ...... プリンタの種類や設置場所などの共有プリンタに関するコメントを入力できます。

パスワード .... 他のユーザがこの共有プリンタに接続するときに使うパスワードを指定します。
パスワードを使わないときは、空白のままにします。

入力が終わったら、〔OK〕をクリックしてください。

クライアント側の設定

Windows 95/98/Meをクライアントとして使用し、共有プリンタに印刷するときの設定について説明します。

ガイド　共有プリンタに印刷するための設定は、CD-ROMをセットすると表示される「Printia LASERプリンタユーティリティ」の画面から「プリンタドライバ」を選択しても行えます。

参照　操作方法については、『オンラインマニュアル』「第6章　プリンタドライバのインストール」参照

Windows 95/98/Meのクライアントから Windows 95/98/Me/NT4.0/2000/XP/Windows Server 2003のサーバ共有プリンタを使用する場合、ネットワークインストールによってプリンタドライバのインストールをサーバから簡単に行うことができます。

代替インストールについては、「サーバ側の設定」
（Windows 2000/XP/Windows Server 2003のとき113ページ、Windows NT4.0のとき119ページ）参照

準　備

設定の前に、サーバおよびクライアントが以下の条件を満たしていることを確認してください。

サーバ ………… Windows 95/98/Me/NT4.0/2000/XP/Windows Server 2003が動作するパソコンです。あらかじめ共有プリンタの設定を行っておいてください。

クライアント … Windows 95/98/Meが動作するパソコンです。

設　定

1 エクスプローラを起動する

〔スタート〕から〔プログラム〕〔エクスプローラ〕(Windows Meは〔スタート〕から〔プログラム〕〔アクセサリ〕〔エクスプローラ〕)の順に選択します。

2 サーバで利用可能な共有プリンタを表示する

〔ネットワーク　コンピュータ〕(Windows Meは〔マイネットワーク〕)をダブルクリックし、ネットワーク上のコンピュータを表示します。一覧から共有プリンタのサーバをダブルクリックすると、利用可能な共有プリンタが表示されます。

3 設定を行う共有プリンタをダブルクリックし、画面の指示にしたがってインストールする

ファイルがコピーされ、〔プリンタ〕フォルダに新しくプリンタが追加されたらプリンタドライバのインストールは完了です。

Windows 2000/XP/Windows Server 2003 のとき

ここでは、OS が Windows 2000/XP/Windows Server 2003 のパソコンをサーバとして運用する場合と、クライアントとして運用する場合に必要となる設定について説明します。

サーバ側の設定

サーバとして運用する場合に必要な設定について説明します。

1. **Windows 2000/XP/Windows Server 2003 を起動し、管理者権限でログオンする**

2. **Windows 2000 の場合：**
   〔スタート〕から〔設定〕〔プリンタ〕の順に選択し、共有するプリンタをクリックする
   Windows XP/Windows Server 2003 の場合：
   〔スタート〕から〔プリンタと FAX〕を選択し、共有するプリンタをクリックします。

3. **〔ファイル〕メニューから〔共有〕を選択する**

4. **「共有する」を選択し、共有名を入力する**

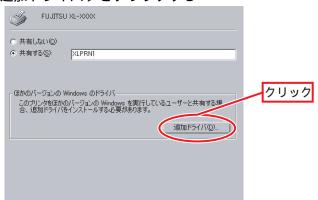
共有名 ..... 共有プリンタの名前を入力します。他のユーザがネットワークで情報を見るときに、ここで指定した名前が表示されます。ただし、全角 7 文字以上、半角 13 文字以上の名前を設定すると、Windows 95/98/Me のパソコン（クライアント）からプリンタのネットワークパスを参照できなくなりますのでご注意ください。

クライアントのOSがWindows 95/98/Me/NT4.0の場合は、引き続き**5**以降の操作で追加ドライバのインストー　ルを行ってください。
（画面はWindows 95/98/Meの追加ドライバをインストールする場合）

ガイド

・追加ドライバをインストールしないときは、〔OK〕をクリックして設定を終了します。
・共有するプリンタドライバの名称と、追加ドライバのリストに表示されているプリンタドライバの名称が異なる場合、追加ドライバをインストールすることはできません。

5 〔追加ドライバ〕をクリックする

6 「追加ドライバ」リストからクライアントのOSをチェックし、〔OK〕をクリックする

（画面はクライアントがWindows 95/98/Me用のとき）

ガイド

添付のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブにセットして、〔OK〕をクリックしてください。

CD-ROMをセットした後に「Printia LASER プリンタユーティリティ」の画面が自動的に起動した場合は、〔終了〕を選択して画面を閉じてください。

7 **「コピー元」にクライアントのOS用のプリンタドライバのフォルダ名を直接入力する、または〔参照〕をクリックしてプリンタドライバのフォルダ名を選択し、〔開く〕をクリックする**

入力が終わったら〔OK〕をクリックします。

ガイド　プリンタドライバのフォルダ名は、次のように指定します。
（CD-ROMドライブがD:の場合）

クライアントのOS	フォルダ名
Windows 95/98/Me	D:\FJXLV71\WIN95
Windows NT4.0	D:\FJXLV71\WINNT40

ファイルのコピーが開始されます。コピーが終了したら、追加ドライバのインストールは終了です。

● Windows 2000の場合

〔デジタル署名が見つかりませんでした〕ダイアログが表示されたときは、〔はい〕を選択してください。

● Windows XP/Windows Server 2003の場合

〔ハードウェアのインストール〕ダイアログが表示されたときは、〔続行〕を選択してください。

クライアント側の設定

Windows 2000/XP/Windows Server 2003をクライアントとして使用し、共有プリンタに印刷するときの設定について説明します。

ガイド

共有プリンタに印刷するための設定は、CD-ROMをセットすると表示される「Printia LASERプリンタユーティリティ」の画面から「プリンタドライバ」を選択しても行えます。

参照　操作方法については、『オンラインマニュアル』「第6章　プリンタドライバのインストール」参照

Windows 2000/XP/Windows Server 2003のクライアントからWindows 2000/XP/Windows Server 2003サーバ共有プリンタを使用する場合、ネットワークインストールによってプリンタドライバのインストールをサーバから簡単に行うことができます。

ネットワークインストール

Windows 2000/XP/Windows Server 2003のクライアントからWindows 2000/XP/Windows Server 2003サーバ共有プリンタを使用する場合、ネットワークインストールによってプリンタドライバのインストールをサーバから簡単に行うことができます。

お願い

サーバがWindows 2000/XP/Windows Server 2003以外の場合は、ネットワークインストールでは正しくインストールできません。「ポート変更による方法」（117ページ）でインストールしてください。

● 準　備

設定の前に、サーバおよびクライアントが以下の条件を満たしていることを確認してください。

サーバ ....Windows 2000/XP/Windows Server 2003が動作するパソコンです。
あらかじめ共有プリンタの設定を行っておいてください。

クライアント ....Windows 2000/XP/Windows Server 2003が動作するパソコンです。

● 設　定

1 **Windows 2000の場合：**
〔スタート〕から〔プログラム〕〔アクセサリ〕〔エクスプローラ〕の順に選択する
Windows XPの場合：
〔スタート〕から〔プログラム一覧〕〔アクセサリ〕〔エクスプローラ〕の順に選択する
Windows Server 2003の場合：
〔スタート〕から〔すべてのプログラム〕〔アクセサリ〕〔エクスプローラ〕の順に選択する

2 **〔マイネットワーク〕の〔ネットワーク全体〕を表示し、〔コンピュータの検索〕（Windows XP/Windows Server 2003の場合は〔検索〕）をクリックし、「コンピュータ名」に共有プリンタのサーバ名を入力して検索する**

検索結果から共有プリンタのサーバをダブルクリックすると、利用可能な共有プリンタが表示されます。

3 **設定を行う共有プリンタをダブルクリックし、画面の指示にしたがってインストールする**

ファイルがコピーされ、〔プリンタ〕フォルダに新しくプリンタが追加されたらプリンタドライバのインストールは完了です。

ポート変更による方法

Windows 2000/XP/Windows Server 2003のクライアントからサーバがWindows 2000/XP/Windows Server 2003以外の共有プリンタを使用する場合は、ローカルのプリンタポートを仮に指定してCD-ROMからプリンタドライバのインストールを行ってください。その後、ポートを変更して共有プリンタに接続します。
この際、管理者権限でログオンしてください。

● 準　備

設定の前に、サーバおよびクライアントが以下の条件を満たしていることを確認してください。

サーバ .... Windows 95/98/Me/NT4.0が動作するパソコンです。
あらかじめ共有プリンタの設定を行っておいてください。

クライアント ..... Windows 2000/XP/Windows Server 2003が動作するパソコンです。

● 設　定

1 **プリンタドライバをインストールする**

参照　プリンタドライバのインストールについては、『オンラインマニュアル』「第６章　プリンタドライバのインストール」参照

インストール中に印刷先ポートの指定、およびテスト印刷を行うかどうかを尋ねられます。印刷先ポートは仮のポート（ローカルポート：LPT1など）を、テスト印刷は「いいえ」（テスト印刷をしない）を選択します。

お願い

2を行う前にテストページを印刷すると、「応答なし」エラーが表示され印刷ができません。そのときは、「印刷中止」をクリックしてください。

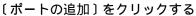
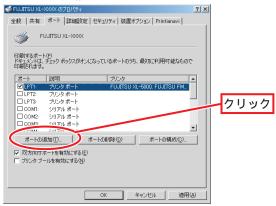
7

セットアップ編

2 印刷先のポートを共有プリンタのネットワークパスに変更する

① Windows 2000 の場合：
〔スタート〕から〔設定〕〔プリンタ〕の順で選択し、設定を行うプリンタを選択する
Windows XP/Windows Server 2003 の場合：
〔スタート〕から〔プリンタと FAX〕を選択し、設定を行うプリンタを選択する

② 〔ファイル〕メニューで〔プロパティ〕を選択し、〔ポート〕タブをクリックする

③
〔ポートの追加〕をクリックする

④ 「Local Port」を選択し、〔新しいポート〕をクリックする

⑤ 〔ポート名〕ダイアログに共有プリンタのネットワークパス（「\\サーバのネットワークコンピュータ名￥プリンタの共有名」）を入力する

入力が終わったら、〔OK〕をクリックして設定を終了します。

Windows NT4.0のとき

ここでは、OSがWindows NT4.0のパソコンをサーバとして運用する場合と、クライアントとして運用する場合に必要となる設定について説明します。

サーバ側の設定

サーバとして運用する場合に必要な設定について説明します。

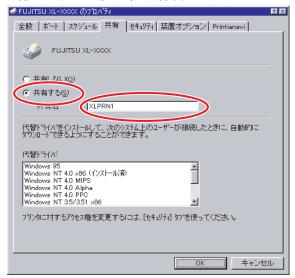
設　定

共有プリンタの設定手順は次のとおりです。

1 **Windows NT4.0を起動し、管理者権限でログオンする**

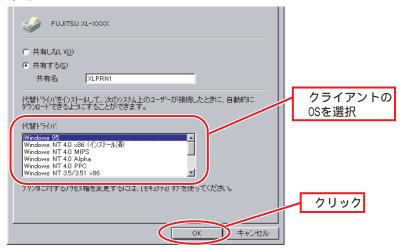
2 **〔スタート〕から〔設定〕〔プリンタ〕の順に選択し、共有するプリンタをクリックする**

3 **〔ファイル〕メニューから〔共有〕を選択する**

4 **「共有する」を選択し、共有名を入力する**

共有名 .... 共有プリンタの名前を入力します。他のユーザがネットワークで情報を見るときに、ここに指定した名前が表示されます。ただし、全角7文字以上、半角13文字以上の名前を設定すると、Windows 95/98/Meのパソコン（クライアント）からプリンタのネットワークパスを参照できなくなりますのでご注意ください。

クライアントのOSがWindows 95/98/Meの場合は、引き続き**5**以降の操作で代替ドライバのインストールを行ってください。

ガイド　代替ドライバをインストールしないときは、〔OK〕をクリックして設定を終了します。

5 「代替ドライバ」リストからクライアントのOSを選択し、〔OK〕をクリックする

ガイド　Windows 98/Meの代替ドライバをインストールするときも、「Windows 95」を選択してください。なお、代替ドライバがすでにインストールされている場合は、「(インストール済)」と表示されます。

6 添付のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブにセットする

ガイド　CD-ROMをセットした後に「Printia LASERプリンタユーティリティ」の画面が自動的に起動したときは、〔終了〕を選択して画面を閉じてください。

7 「コピー元」に「D:\FJXLV71\WIN95」と入力する、または〔参照〕をクリックして「D:\FJXLV71\WIN95」を選択する（CD-ROMドライブがD:のとき）

入力が終わったら〔OK〕をクリックします。

ファイルのコピーが開始されます。コピーが終了したら、代替ドライバのインストールは終了です。

7

セットアップ編

クライアント側の設定

Windows NT4.0をクライアントとして使用し、共有プリンタに印刷するときの設定について説明します。

ガイド

共有プリンタに印刷するための設定は、CD-ROMをセットすると表示される「Printia LASERプリンタユーティリティ」の画面から「プリンタドライバ」を選択しても行えます。

参照　操作方法については、『オンラインマニュアル』「第6章　プリンタドライバのインストール」参照

Windows NT4.0のクライアントからWindows NT4.0/2000/XP/Windows Server 2003のサーバ共有プリンタを使用する場合、ネットワークインストールによってプリンタドライバのインストールをサーバから簡単に行えます。

ガイド

サーバがWindows 95/98/Meの場合は、クライアント側のプリンタドライバのインストールはCD-ROMから行う必要があります。

準　備

クライアント側の設定には、本プリンタに添付のCD-ROMが必要です。（サーバがWindows 95/98/Meのとき）

また、設定の前に、サーバおよびクライアントが以下の条件を満たしていることを確認してください。

サーバ .... Windows 95/98/Me/NT4.0/2000/XP/Windows Server 2003が動作するパソコンです。あらかじめ共有プリンタの設定を行っておいてください。

クライアント ..... Windows NT4.0が動作するパソコンです。

設　定

1 〔スタート〕から〔プログラム〕〔Windows NTエクスプローラ〕の順に選択する

2 〔ネットワークコンピュータ〕をクリックし、一覧から共有プリンタのサーバをダブルクリックする

利用可能な共有プリンタが表示されます。

3 設定を行う共有プリンタをダブルクリックし、画面の指示にしたがってインストールする

ファイルがコピーされ、〔プリンタ〕フォルダに新しくプリンタが追加されたらプリンタドライバのインストールは完了です。

ガイド

管理者権限以外でネットワークインストールを行った場合、インストール後に以下のダイアログが表示されることがあります。

・クライアント側に警告メッセージを表示させないようにするには、サーバ側で〔装置オプション〕タブの「メッセージ連携サービスの警告を表示する」のチェックを外してください。
・この場合、印刷の状態はクライアント側に表示されません。
・メッセージ連携サービスを使用する場合は、管理者権限でログオンし直し、ドライバのインストールを行ってください。

参照　プリンタドライバのインストールについては、『オンラインマニュアル』「第６章　プリンタドライバのインストール」参照

メッセージ連携サービスが有効になっているかは、次の手順で確認できます。

1. プリンタのプロパティの〔Printianavi〕ダイアログで〔オプション〕をクリックし、〔Printianavi オプション〕ダイアログを表示します。
2. 〔メッセージ連携サービスの設定〕をクリックし、状態を確認します。
   「開始」になっていれば、メッセージ連携サービスは有効です。

運用編

第 8 章

日常の操作

この章では、本プリンタで印刷するうえで必要となる操作について説明します。

機能の利用法

本機に搭載している機能で次のことができます。

●きれいに印刷したい

プリンタドライバの〔グラフィックス〕ダイアログで以下の設定をすると、細かい図面や写真を、よりきれいに印刷できるようになります。

- 階調をなめらかに表現したいときは、ディザを粗く、「写真をきれいに印刷する」をチェックする
- 細かい線画や地図などを印刷するときは、ディザを細かく、解像度を高くする

なお、「スムージングする」は、文字や図形の線をなめらかにしますが、写真には向きません。

『オンラインマニュアル』「第1章　プリンタドライバの機能と利用方法」の「〔グラフィックス〕ダイアログ」参照

●速く印刷したい

プリンタドライバで以下の設定をすると、速く印刷できるようになります。

- 解像度を下げる
  プリンタドライバで解像度を下げる設定をすると、速く印刷できるようになります。
  なお、解像度を下げると、印刷品質が多少落ちます。

『オンラインマニュアル』「第1章　プリンタドライバの機能と利用方法」の「〔グラフィックス〕ダイアログ」参照

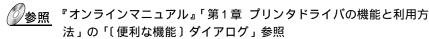
- パワーセーブを解除する
  パワーセーブを解除すると、ウォームアップ時間を短縮し、印刷を開始するのが速くなります。

『オンラインマニュアル』「第１章 プリンタドライバの機能と利用方法」の「〔基本設定〕ダイアログ」参照

●節約したい

プリンタドライバで以下の設定をすると、紙やトナーを節約することができます。

- N-up 印刷する
  ２ページから 16 ページ分の文書を、１枚の用紙に印刷できます。
- 両面印刷する
  用紙の両面に印刷します。

参照『オンラインマニュアル』「第１章 プリンタドライバの機能と利用方法」の「〔便利な機能〕ダイアログ」参照

- トナーを節約する
  トナーセーブ機能があります。

『オンラインマニュアル』「第１章 プリンタドライバの機能と利用方法」の「〔グラフィックス〕ダイアログ」参照

●**印刷の状態やメンテナンス情報を管理したい**

添付ソフトウェアの「Printianavi ネットワークマネージャ」や「Eメール送信機能」を使用すると、印刷の状態やプリンタのメンテナンス情報を、パソコン側で管理することができます。

参照　『オンラインマニュアル』「第３章　Printianavi ネットワークマネージャ」参照、および「第２章　ログ機能」参照

●**部単位で印刷したい**

「部単位印刷機能」を利用すると、複数部数を部単位（ソート）で印刷することができます。
アプリケーションでサポートしている部単位印刷よりも、速く処理することができます。

『オンラインマニュアル』「第１章 プリンタドライバの機能と利用方法」の「〔基本設定〕ダイアログ」参照

●**拡大縮小印刷したい**

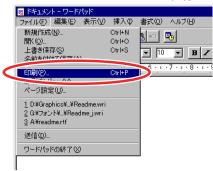
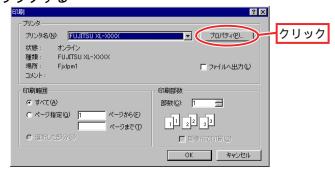
作成したデータを拡大または縮小して印刷することができます。

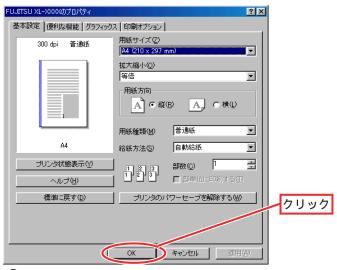
参照　『オンラインマニュアル』「第１章 プリンタドライバの機能と利用方法」の「〔基本設定〕ダイアログ」参照

印刷手順

アプリケーションで作成したデータを実際に印刷するときの操作について説明します。印刷手順はアプリケーションによって異なります。
ここでは、ワードパッドを例に説明します。

1 ワードパッドでデータを作成する

2 〔ファイル〕メニューから〔印刷〕を選択する

3 プリンタが正しく選択されていることを確認し、〔プロパティ〕をクリックする

4 各項目を設定し、〔OK〕をクリックする

各設定項目の詳細については、プリンタドライバの「ヘルプ」またはオンラインマニュアル「第1章　プリンタドライバの機能と利用方法」を参照してください。

参照　用紙をセットする方法については、「第9章　用紙について」(151ページ）参照

5 〔OK〕をクリックする

印刷が開始されます。

プリンタの状態を見る（ポップアップ）

Printianavi を使うと、プリンタの状態をパソコン上で見ることできます。

Printianaviは、印刷が実行されるとプリンタのモニタを開始します。プリンタでエラーが発生すると、エラーの内容と対処方法を、パソコンの画面にポップアップ表示します。

ガイド　Printianaviによるエラー情報をポップアップ表示にするための設定、および詳細については、プリンタドライバの「ヘルプ」、またはオンラインマニュアル「第１章　プリンタドライバの機能と利用方法」の「〔Printianavi〕ダイアログ」を参照してください。

印刷を中止する

印刷開始後（データランプ点滅または点灯）に印刷を中止する２つの方法を説明します。

パソコンの画面から中止する（双方向通信機能が有効のとき）

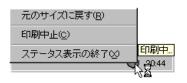
パソコンから印刷を中止するときの操作は、〔Printianavi〕ダイアログの表示方法の設定によって異なります。

●ポップアップ表示のとき

1 〔印刷中止〕をクリックする

●エラー時ポップアップ表示または最小化のとき

1 タスクトレイのアイコンをダブルクリックし、〔印刷中止〕をクリックする

ガイド　タスクトレイのアイコンを右クリックし、「印刷中止」を選択して、印刷を中止することもできます。

オペレータパネルから中止する

オペレータパネルでプリンタをオフライン状態に切り替えて、リセットの操作をします。
プリンタをリセットすると、プリンタ内の未印刷データを消去し、パソコンから残りデータを受信しながら（データランプ点滅）、印刷ジョブを削除します。
Printia XL ドライバから印刷しているときは、印刷ジョブの終了を検出するとリセット（初期化）を終了します。

インサツチュウ　×××××
１－Ａ４

↓「オンライン」

ハイシュツ　ショリチュウ
１－Ａ４

↓

オフライン

↓「リセット」

ショキカ　シマスカ？

↓「リセット」

ショキカチュウ

1 印刷中に「オンライン」スイッチを押す

×××××には、使用ポートが表示されます。

印刷中の用紙を排出し、オフライン状態になります。

2 「リセット」スイッチを押す

このとき「オンライン」スイッチを押すと、リセットせずにオンライン状態に戻ります。

3 再度「リセット」スイッチを押す

プリンタを初期化します。
受信データがあると、データランプが点滅します。
初期化が終了すると、オンライン状態に戻ります。

ガイド プリンタの接続方法や使用しているパソコンによっては、印刷ジョブが完全には削除できず、オンライン状態に戻った後、文字化けなどのトラブルが発生することがあります。Printianaviを使用しているときは、パソコン上のPrintianaviメッセージ上から「印刷中止」または「印刷打ち切り」を行うことをお勧めします。

プリンタの接続方法を変更するとき（印刷先ポートの追加と変更）

プリンタの接続方法を変更するときは、印刷先ポートの設定を変更する必要があります。また、プリンタがLAN（TCP/IP）に直接接続されている場合やサーバ経由で印刷する場合には、ポートを追加する必要があります。

Windows 95/98/Meのとき

パソコンのOSがWindows 95/98/Meのときに、プリンタの印刷先ポートを追加および変更する手順は次のとおりです。

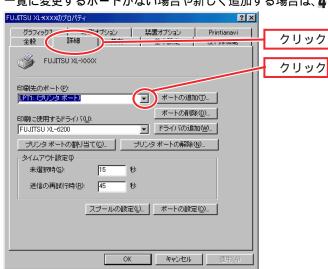
設定方法

1 〔スタート〕から〔設定〕〔プリンタ〕の順に選択し、印刷先ポートを変更するプリンタをクリックする

2 〔ファイル〕メニューから〔プロパティ〕を選択する

3 〔詳細〕タブをクリックし、「印刷先のポート」の▼をクリックして表示される一覧から変更するポートを選択する

一覧から選択したら〔OK〕をクリックしてください。

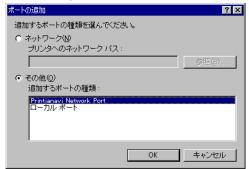
一覧に変更するポートがない場合や新しく追加する場合は、4に進んでください。

4 〔ポートの追加〕をクリックする

以降の手順は、プリンタの接続方法（印刷方法）によって設定が異なります。それぞれの手順に従ってください。

【サーバ経由で印刷するとき】

サーバの共有プリンタに印刷する場合の設定です。
「ネットワーク」を選択後、〔参照〕をクリックして共有プリンタを選択する、またはネットワークパスを入力して〔OK〕をクリックします。
入力形式は「\\サーバのネットワークコンピュータ名\プリンタの共有名」です。

【LAN/IPP接続プリンタに印刷するとき】

① **「その他」を選択後、「追加するポートの種類」で「Printianavi Network Port」を選択して〔OK〕をクリックする**

ガイド　「Printianavi Network Port」が表示されない場合は、Printianavi ネットワークポートモニタをインストールしてください。

参照　「④ネットワークソフトウェアとプリンタドライバのインストール」（93 ページ）参照

② **目的に合わせて接続先とポート名を入力し、終わったら〔OK〕をクリックする**

ポートの追加処理の詳細は、以下を参照してください。

LAN による印刷を行いたいとき
「LAN ポートの追加」（140 ページ）参照

IPP による印刷を行いたいとき
「IPP ポートの追加」（142 ページ）参照

Windows NT4.0/2000/XP/Windows Server 2003のとき

パソコンのOSがWindows NT4.0/2000/XP/Windows Server 2003のときに、プリンタの印刷先ポートを追加および変更する手順は次のとおりです。

運用編

設定方法

管理者権限でログオンし、次の操作をします。
※画面はWindows 2000の場合です。

1 Windows NT4.0/2000のとき：
〔スタート〕から〔設定〕〔プリンタ〕の順に選択し、印刷先ポートを変更するプリンタをクリックする
Windows XP/Windows Server 2003のとき：
Windows XP/Windows Server 2003の場合は、〔スタート〕から〔プリンタとFAX〕の順に選択します。

2 〔ファイル〕メニューから〔プロパティ〕を選択する

3 〔ポート〕タブをクリックし、「印刷するポート」の一覧で新しい印刷ポートにチェックを付ける

チェックを付けたら〔OK〕をクリックしてください。
一覧にポートがない場合や新しく追加する場合は、4に進んでください

8

4 〔ポートの追加〕をクリックする

以降の手順は、プリンタの接続方法（印刷方法）によって設定が異なります。それぞれの手順に従ってください。

【サーバ経由で印刷するとき】

サーバの共有プリンタに印刷する場合の設定です。

① 「利用可能なポートの種類」（Windows NT4.0は「利用可能なプリンタポート」）から「Local Port」を選択して〔新しいポート〕をクリックする

② ネットワークパスを入力して〔OK〕をクリックする

入力形式は「\\サーバのネットワークコンピュータ名\プリンタの共有名」です。

【LAN/IPP接続プリンタに印刷するとき】

① 「利用可能なポートの種類」（Windows NT4.0は〔利用可能なプリンタポート〕）から「Printianavi Network Port」を選択して〔新しいポート〕をクリックする

「Printianavi Network Port」が表示されない場合は、Printianaviネットワークポートモニタをインストールしてください。

参照　「④ネットワークソフトウェアとプリンタドライバのインストール」（93ページ）参照

② 目的に合わせて接続先とポート名を入力し、〔OK〕をクリックする

ポートの追加処理の詳細は、以下を参照してください。

LANによる印刷を行いたいとき
「LANポートの追加」（140ページ）参照

IPPによる印刷を行いたいとき
「IPPポートの追加」（142ページ）参照

ネットワークポートの追加

ここでは、ネットワークポートの追加方法について説明します。
ネットワークポートには、LAN（TCP/IP）に直接接続して印刷する「LANポート」とインターネットに接続されたプリンタに印刷する「IPPポート」があります。
まず、下記の方法でポートの追加方法を選択してください。

● **プリンタのプロパティから印刷先ポートを追加する場合**

OSによってポートの追加画面までの操作が異なります。操作については「プリンタの接続方法を変更するとき」を参照してください。

Windows 95/98/Meのとき 135ページ

Windows NT4.0/2000/XP/Windows Server 2003のとき .. 137ページ

● **Printianaviネットワークポート管理から印刷先ポートを追加する場合**

1 Windowsを起動する

Windows NT4.0/2000/XP/Windows Server 2003の場合は、管理者権限でログオンします。

2 〔スタート〕から〔プログラム〕〔Printianavi〕〔ネットワークソフトウェア2〕〔Printianaviネットワークポート管理〕の順に選択する

「Printianaviネットワークポート管理」が起動します。

3 〔ポートの追加〕をクリックする

ガイド

Windows NT4.0でSpoolerサービスの「デスクトップとの対話をサービスに許可」をチェックしていない場合、ポートの追加が正しく行われません。
プリンタドライバのインストールを行った後、Spoolerサービスの「デスクトップとの対話をサービスに許可」をチェックし、必要な操作を行った後、再度ポートの追加を行ってください。

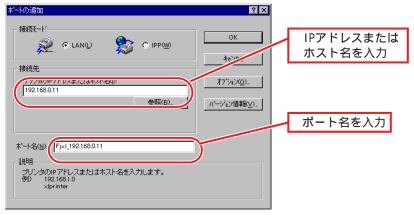
参照　Spoolerサービスの設定方法については
「ポートが追加できない」の〈対処〉（222ページ）参照

LAN（TCP/IP）に接続して印刷するとき
「LANポートの追加」処理へ（140ページ）

参照　インターネットに接続されたプリンタに印刷するとき
「IPPポートの追加」処理へ（142ページ）

LAN ポートの追加

LAN（TCP/IP）に直接接続して印刷を行うときの設定について説明します。

1 接続先、ポート名を設定し〔OK〕をクリックする

① IP アドレスは半角数字とピリオドで「XXX.XXX.XXX.XXX」の形式で指定します。（各 XXX は 0 ～ 255 の範囲の半角数字）
ホスト名はネットワーク上で定義されているプリンタのホスト名を指定します。（最大 255 バイト文字）

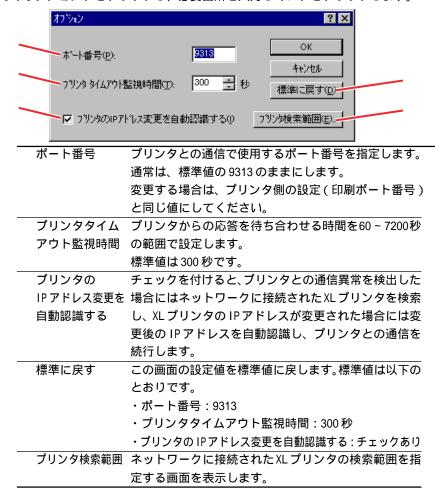
② システムに登録する任意のポート名を日本語 / 半角英数字を含め、63 バイト文字または全角 31 文字以内で指定します。

ガイド ポート名を指定しなかった場合は、IP アドレスまたはホスト名入力域の設定情報の先頭に「Fjxl_」を付加したものをポート名として自動生成します。

● ネットワーク上にあるプリンタの一覧を表示する

〔ポートの追加〕画面で IP アドレスを設定する際、〔参照〕をクリックすると、ネットワーク上に接続されている XL プリンタ装置を、「プリンタの一覧」に表示することができます。
設定したい IP アドレスを選択して〔OK〕をクリックすると、「接続先」に反映することができます。

●プリンタとの通信に必要な情報を設定する

プリンタとの通信に必要な情報を設定する必要がある場合は、〔ポートの追加〕画面で〔オプション〕をクリックし、必要箇所を入力し〔OK〕をクリックします。

項目	説明
① ポート番号	プリンタとの通信で使用するポート番号を指定します。 通常は、標準値の 9313 のままにします。 変更する場合は、プリンタ側の設定（印刷ポート番号）と同じ値にしてください。
② プリンタタイムアウト監視時間	プリンタからの応答を待ち合わせる時間を60～7200秒の範囲で設定します。 標準値は 300 秒です。
③ プリンタのIP アドレス変更を自動認識する	チェックを付けると、プリンタとの通信異常を検出した場合にはネットワークに接続されたXL プリンタを検索し、XL プリンタの IP アドレスが変更された場合には変更後の IP アドレスを自動認識し、プリンタとの通信を続行します。
④ 標準に戻す	この画面の設定値を標準値に戻します。標準値は以下のとおりです。 ・ポート番号：9313 ・プリンタタイムアウト監視時間：300 秒 ・プリンタの IP アドレス変更を自動認識する：チェックあり
⑤ プリンタ検索範囲	ネットワークに接続されたXL プリンタの検索範囲を指定する画面を表示します。

ガイド

「④ネットワークソフトウェアとプリンタドライバのインストール」(93 ページ)より「ポートの追加」を行った場合は、プリンタの追加処理画面にて「追加したポートに接続するプリンタを追加する」を選択し、「LAN ポートの追加」で設定した LAN ポートを指定してプリンタドライバをインストールします。
「④ ネットワークソフトウェアとプリンタドライバのインストール」の途中の場合は、98 ページの手順**8**に進んでください。

IPP ポートの追加

1　「IPP」を選択し、プリンタの URL を入力して〔OK〕をクリックする

参照　「プリンタの URL 設定（IPP のみ）」（90 ページ）参照

ガイド　プリンタの URL は、次の方法で確認することができます。（プリンタに設定済みの場合のみ）

- Printia LASER Internet Serviceの〔ネットワーク情報〕〔基本情報〕を参照する
- 「⑥設定の一覧を印刷する」（30 ページ）で印刷した設定情報（設定の印刷）を参照する
- Printianaviネットワークマネージャの〔詳細画面の表示〕〔基本情報〕を参照する

〔ポートの追加〕画面では、必要に応じて次の設定を行います。

●プロキシサーバの設定をする

プリンタとの接続にプロキシサーバを使用する場合は､｢プロキシサーバを使用する｣にチェックを付け、〔プロキシ設定〕をクリックします。〔プロキシ設定〕ダイアログボックスで、プロキシサーバの設定を行ってください。

① プロキシサーバのアドレス	プロキシサーバのIPアドレス､またはネットワーク上のホスト名を入力します。
② プロキシサーバのポート番号	プロキシサーバのポート番号を入力します。
③ 継続通信モードを有効にする	プロキシサーバによっては､継続通信モードにすると正しく印刷できない場合があります｡プリンタの接続確認はできているが、印刷時に通信エラーとなったり､印刷データがプリンタに通信されないなど印刷がうまく行かない場合は､チェックを外すと正常に印刷できる場合があります。
④標準として設定	現在入力されている設定値を標準にする場合、クリックします。
⑤標準に戻す	〔標準として設定〕に設定した値に戻します｡標準値が設定されていない場合は、空欄に戻します。

●ポート名を変更する

「ポート名」には、初期値として「Fjxl_http://」＋「プリンタのURL」が設定されます。

必要に応じて変更してください。（日本語 / 英数を含め半角63文字または全角31文字以内）

・バックスラッシュ、円記号(\)、カンマ(,)記号が含まれるものおよび先頭が半角空白である文字列をポート名として指定することはできません。

・Windows 95/98/Meの場合、すでに作成したポート名が含まれる文字列（「Fjxl_ipp1」があるとき、「Fjxl_ipp」や「Fjxl_ipp11」など）をポート名として指定することはできません。

運用編

8

●オプションの設定をする

〔オプション〕をクリックすると、〔オプション〕ダイアログボックスが表示されます。

① プリンタタイムアウト監視時間	プリンタ装置からの応答を待ち合わせる監視時間を、60 ～7200秒の範囲で設定します。ここで指定した時間プリンタから何も応答がないときは、ネットワークが切断されているとみなし、エラーを通知します。

ガイド

「④ネットワークソフトウェアとプリンタドライバのインストール」(93ページ)より「ポートの追加」を行った場合は、プリンタの追加処理画面にて「追加したポートに接続するプリンタを追加する」を選択し、「LANポートの追加」で設定したLANポートを指定してプリンタドライバをインストールします。
「④ ネットワークソフトウェアとプリンタドライバのインストール」の途中の場合は、98ページの手順**8**に進んでください。

接続の確認

ポートの追加またはポートの設定画面では、IPPポートの接続を確認することができます。

ガイド　あらかじめプリンタをネットワークに接続し、電源を入れておいてください。

ポートの追加画面終了後に確認を行うには、ポートの設定画面を次の手順で表示してください。

1　Windows を起動する

Windows NT4.0/2000/XP/Windows Server 2003 の場合は、管理者権限でログオンします。

2　〔スタート〕から〔プログラム〕〔Printianavi〕〔ネットワークソフトウェア 2〕〔Printianavi ネットワークポート管理〕の順に選択する

3　確認を行うポートを選択し、〔ポートの構成〕をクリックする

運用編

8

4 〔接続確認〕をクリックする

プリンタと正常に接続されると、「指定されたプリンタと接続できました」と表示されます。
確認が終わったら、〔OK〕をクリックします。

ガイド

接続の確認で指定されたプリンタと接続できない場合は、次の点を確認してください。

・指定したプリンタの URL が間違っていませんか
・プロキシサーバの設定が間違っていませんか
・プリンタの電源が投入されていますか

お願い

IPP での印刷を行う場合は、次の点にご注意ください。

- **XL シリーズ以外の IPP 対応プリンタで接続確認が行える場合でも印刷は保証されません。**
  Printianavi ネットワークポートモニタでの IPP 印刷は、XL シリーズの IPP 対応プリンタへ印刷するときのみご使用ください。

プリンタドライバの削除

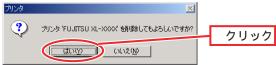
他のWindowsで本プリンタを使用していて、プリンタドライバを削除せずにWindowsをアップグレードしたときや、バージョンアップにより、プリンタドライバを置き換えるときは、古いプリンタドライバを削除してから新しいプリンタドライバをインストールします。

Windows NT4.0/2000/XP/Windows Server 2003の場合は、管理者権限でログオンしてください。
※ 画面はWindows 2000の場合です。

ガイド　Printianavi印刷ログビューア/消耗品ログビューアの表示対象となるプリンタドライバをすべて削除すると、Printianavi印刷ログビューア / 消耗品ログビューアも同時に削除されます。

1 **Windows 95/98/Me/NT4.0/2000の場合：**
〔スタート〕から〔設定〕〔プリンタ〕の順に選択し、削除するプリンタをクリックする
Windows XP/Windows Server 2003の場合：
Windows XP/Windows Server 2003の場合は、〔スタート〕から〔プリンタとFAX〕を選択し、削除するプリンタをクリックする

2 **〔ファイル〕メニューから〔削除〕を選択する**

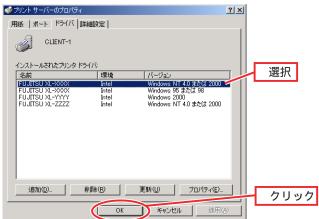
3 **〔はい〕をクリックする**

ガイド　通常使うプリンタを削除すると次のメッセージが表示され、通常使うプリンタを変更または削除しますのでご注意ください。
・「警告：通常使うプリンタは削除されています。‘XXXX’が新しく通常使うプリンタに設定されます。」(XXXXはプリンタ名)
・「警告：通常使うプリンタは削除されています。残っているプリンタはありません。」

4 **Windows 95/98/Me/NT4.0の場合：**
Windowsを再起動する
Windows 2000/XP/Windows Server 2003の場合：
5～11を行う

Windows 95/98/Me/NT4.0の場合は、Windowsを再起動すればプリンタドライバの削除は終了です。新しいドライバをインストールしてください。
Windows 2000/XP/Windows Server 2003の場合は、引き続き**5～11**の操作を行います。

運用編　8

5 **〔ファイル〕メニューから〔サーバーのプロパティ〕を選択し、〔ドライバ〕タブをクリックする**

6 **「インストールされたプリンタドライバ」リストから、2で削除したプリンタ名を選択し、〔削除〕をクリックする**

7 **〔はい〕をクリックする**

ドライバの削除が終わったら〔閉じる〕をクリックして、〔プリントサーバーのプロパティ〕ダイアログを終了します。

8 **Windows 2000 の場合：**

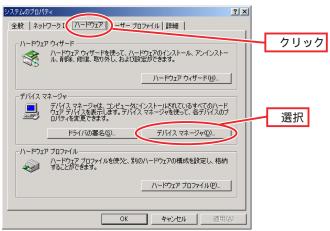
〔マイコンピュータ〕を右クリックし、〔プロパティ〕を選択する

Windows XP の場合：

〔スタート〕から〔コントロールパネル〕〔プリンタとその他のハードウェア〕を開き、「関連項目」の中から〔システム〕をクリックする

Windows Server 2003 の場合：

〔スタート〕から〔コントロールパネル〕を開き、〔システム〕をクリックする

9　**〔ハードウェア〕タブをクリックし、〔デバイスマネージャ〕をクリックする**

10　**〔表示〕メニューの〔非表示のデバイスの表示〕を選択し、〔プリンタ〕に削除したＸＬプリンタが表示された場合はアンインストールする**

アンインストールするプリンタを選択し、右クリックで表示されたメニューで〔削除〕を選択します。

処理が終わったら〔デバイスマネージャ〕および〔システムのプロパティ〕ダイアログを終了します。

ガイド　プリンタが表示されない場合は、アンインストールの必要はありません。

運用編

8

11 再起動する

Windows 2000のとき：

古いプリンタドライバを削除した後、Windowsを再起動してください。
新しいプリンタドライバはWindows再起動後にインストールします。

お願い

プリンタをパラレルケーブル、USBケーブルで接続しているとき、再起動後にプラグアンドプレイによってXLドライバディスクを挿入するようにメッセージが表示されることがあります。このときは、〔キャンセル〕をクリックしてください。

Windows XP/Windows Server 2003のとき：

新しいプリンタドライバをインストールする場合は、Windows XP/Windows Server 2003を再起動する前に〔スタート〕から〔プリンタとFAX〕を選択し「プリンタのインストール」から新しいプリンタドライバをインストールしてください。
その後Windows XP/Windows Server 2003を再起動します。

お願い

新しいプリンタドライバをインストールしてから、Windows XP/Windows Server 2003の再起動を行ってください。
新しいプリンタドライバをインストールする前に、ケーブルを抜き差ししたり、Windows XP/Windows Server 2003を再起動すると、プラグアンドプレイにより古いプリンタドライバが自動的にインストールされる場合があります。

第９章

用紙について

本プリンタで使用できる用紙とその保管のしかた、および用紙のセットのしかたについて説明します。

使用できる用紙

本プリンタで使用できる用紙について、給紙方法、用紙サイズ、および用紙の種類ごとに説明します。

給紙方法と用紙のサイズ

給紙方法	タイプ	サイズ	重量	積載可能枚数
給紙カセット	普通紙（再生紙）	Ａ３タテ Ｂ４タテ Ａ４ヨコ Ｂ５ヨコ Ａ５ヨコ リーガルタテ レターヨコ	60 ～ 90g/㎡	約 500 枚（重量 64g/㎡ の用紙の場合）
給紙トレイ	普通紙（再生紙）	100 × 148 ～ 297 × 420㎜	60 ～ 135g/㎡	約 200 枚（重量 64g/㎡ の用紙の場合）
	長尺紙	幅 297（固定）× 長さ 420.1 ～ 900㎜	60 ～ 135g/㎡	
	官製はがき	ハガキヨコ	190g/㎡	約 75 枚
	OHPﾌｨﾙﾑ	A4 ヨコ	60 ～ 135g/㎡	約 75 枚
	ラベル紙	A4 ヨコ	60 ～ 135g/㎡	約 75 枚

お願い

- **用紙を大量にお買い求めになる前に、サンプル用紙でためし印刷して、支障がないことを確認することをお勧めします。**
- **はがきは、官製はがきを使用してください。あらかじめ印刷されたはがきや反りのあるはがきを使用すると、走行不良が発生することがあります。**
- **官製はがき、厚紙（重量 90g/㎡ ～ 135g/㎡）、OHP フィルム、ラベル紙、不定形用紙、長尺紙は、給紙カセットからは印刷できません。給紙トレイから印刷してください。**
- **プリンタドライバおよびオペレータパネルで設定した用紙のサイズと、実際に使用する用紙のサイズは、必ず一致させてください。**
  異なるサイズの用紙に印刷した場合、プリンタが故障するおそれがあります。
- **不定形用紙および長尺紙に印刷する場合は、プリンタドライバの用紙サイズ設定を、それぞれ「ユーザ定義サイズ」「長尺紙」にしてください。印刷する用紙とプリンタドライバで設定した用紙サイズが異なっていると、装置が故障するおそれがあります。**
- **幅が 297㎜ 未満の長尺紙は絶対に使用しないでください。プリンタが故障するおそれがあります。**

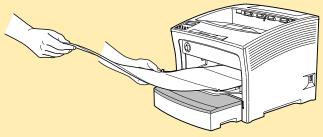
普通紙

本プリンタでは、PPC用紙および普通紙を使用することができます。しかし、一般の市販品には本プリンタに適さないものもあります。できるだけサプライ用紙をご使用ください。サプライ用紙の詳細は、「サプライ用品の一覧」（164ページ）を参照してください。

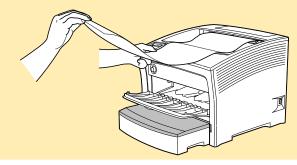
長尺紙

- 縦や横に長いデータ（900㎜の長さまで）を印刷することができます。
  印刷はPrintia XLドライバのみ可能です。
- 長尺紙は、サプライ用紙をご使用ください。サプライ用紙以外を使用した場合は、シワ、印刷ずれ、定着不良、および汚れが発生することがあります。サプライ用紙の詳細は、「サプライ用品の一覧」（164ページ）を参照してください。
- 長尺紙の全領域（全長）に印刷すると、印刷内容の下端（用紙方向：縦の場合）、または左端（用紙方向：横の場合）が欠けることがあります。その場合は、下端（用紙方向：縦の場合）、または左端（用紙方向：横の場合）余白を増やして印刷してください。

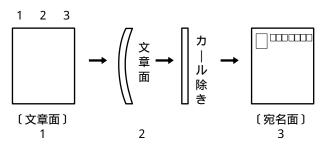
お願い

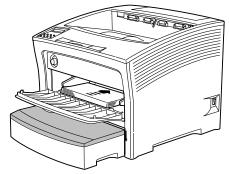
- **幅が297㎜未満の長尺紙は絶対に使用しないでください。プリンタが故障するおそれがあります。**
- **アプリケーションソフトによっては長尺紙に印刷できない場合があります。**
- **長尺紙に印刷する場合は、下端（用紙方向：縦の場合）、または左端（用紙方向：横の場合）余白を十分に（10㎜以上）とって印刷してください。全領域（全長）に印刷すると、下端が欠けることがあります。**
- **用紙サイズスイッチは「パネルで設定」に合わせてください。**
- **パソコン側で印刷を実行する操作と、プリンタ側の給紙は、タイミングをとってください。**
- **長尺紙は、1枚ずつセットしてください。**
- **長尺紙をセットするときは、次の図のように手で支えてください。**

- **印刷が始まったら、長尺紙に無理な力を加えないでください。紙づまりの原因になります。また、排紙口から出てくる長尺紙は次の図のように手で支えてください。**

運用編

9

官製はがき

はがきに印刷するときは、文章面→宛名面の順に印刷してください。

宛名面→文章面の順で印刷すると、はがきの反りの影響できれいに印刷できないことがあります。反りがあるときは上向きに約2㎜以内の反りになるように修正してから印刷してください。

官製はがきをセットするときは、次の点に留意してください。

- 印刷面を上にしてセットしてください。
- 給紙トレイに横長方向にセットしてください。

- ご使用になるアプリケーションソフトの設定内容と印刷方向に合わせて官製はがきをセットしてください。試し印刷で方向を確認されることをお勧めします。

OHP フィルム

定着時の熱（約190℃）で溶けたり、変質したりしないものをご使用ください。

ラベル紙

ツルツルした台紙面が表面になく、台紙全体がラベルで覆われているレーザプリンタ用のものをご使用ください。また、粘着剤が定着時の熱（約190℃）で溶けたり変質したりしないものをご使用ください。

お願い

OHPフィルムやラベル紙をご使用になるときは、レーザプリンタ用のものをお買い求めください。市販のものの中には本プリンタに適さないものがありますので、ためし印刷などで確認したうえでご使用ください。

使用できない用紙

以下の用紙は本プリンタでは使用できません。

本プリンタで使用できない用紙

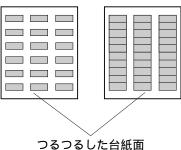
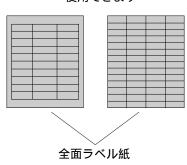
以下に挙げる用紙は、紙づまりを起こしたり、プリンタ本体の故障の原因となったり、またはきれいに印刷できなかったりしますので、使用しないでください。

- 厚すぎる用紙や、薄すぎる用紙
- 湿っている用紙や、濡れている用紙
- 一度印刷された用紙
- 貼り合わせた用紙や、糊などがついている用紙
- 反り、しわ、折り目のある用紙や、破れている用紙
- カールしている用紙
- 静電気で密着している用紙
- 長方形以外の用紙や、バインダー用の穴またはミシン目のある用紙
- 表面を加工、または特殊なコーティングをおこなった用紙（感熱紙、カーボン紙、メールシール紙など）
- オフセット印刷用の用紙や酸性紙（中性紙をご使用ください）
- インクに導電材料（金属、カーボンなど）を使用したり、190℃の熱でガスが発生するインクを使用したプレプリント用紙
- 190℃の熱で溶けたり、変質する用紙
- ホチキス、クリップ、リボン、テープなどが付いている用紙
- ざら紙や繊維質の多い用紙など、表面がなめらかでない用紙
- 裁断部のバリが大きい用紙
- 紙粉の多い用紙
- カラーページプリンタ用の OHP フィルム、長尺紙
- 台紙全体がラベルで覆われてなく、かつレーザプリンタ用以外のラベル用紙

×使用できません

つるつるした台紙面

○使用できます

全面ラベル紙

両面印刷で使用できない用紙

以下の用紙は両面印刷では使用できません。

官製はがき、厚紙（重量 90g/㎡～135g/㎡）、OHP フィルム、ラベル紙、不定形用紙、長尺紙

給紙カセットで使用できない用紙

以下の用紙は給紙カセットでは使用できません。

官製はがき、厚紙（重量 90g/㎡～135g/㎡）、OHP フィルム、ラベル紙、不定形用紙、長尺紙

お願い

- **プリンタドライバおよびオペレータパネルで設定した用紙のサイズと、実際に使用する用紙のサイズは、必ず一致させてください。**
  異なるサイズの用紙に印刷した場合、プリンタが 故障するおそれがあります。
- **不定形用紙および長尺紙に印刷する場合は、プリンタドライバの用紙サイズ設定を、それぞれ「ユーザ定義サイズ」「長尺紙」にしてください。印刷する用紙とプリンタドライバで設定した用紙サイズが異なっていると、装置が故障するおそれがあります。**

用紙の保管上のご注意

用紙は水分を吸収しやすい特性を持っているため、非常に変化しやすいものです。製造条件を厳重に管理して製造した用紙でも、保管状態が悪いと品質が損なわれ、印刷品質や紙送りなどに悪い影響を与えます。以下に示す保管上の注意事項を守って、最良の状態に保ってください。

用紙は次のような場所に保管してください。
・暗く、湿気の少ない平らな書棚の中のような場所
・平らなパレットの上
・温度 20°C、湿度 50%RH の環境

次のような場所は避けてください。
・床の上に直接置く
・直射日光の当たる場所
・外壁の内側の近く
・段差や、曲がりのある場所
・静電気が発生するところ
・過度の温度上昇と、急激な温度変化のあるところ
・複写機、空調機、ヒータ、ダクトのそば

次のような状態で保管してください。
・開封後の残りの用紙は、ほこりが付かないよう、包装してあった紙に包む
・長期間プリンタを使用しないときは、給紙カセットや給紙トレイから用紙を抜き取り、包装してあった紙に包む

長期間放置した用紙を使用した場合、うまく印刷できないことがあります。

用紙のセット(給紙トレイ)

給紙トレイに用紙をセットする手順について説明します。

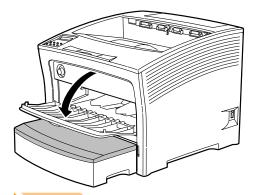
参照　給紙カセット（A3 ユニバーサル・500 枚）に用紙をセットする手順については、「⑤給紙カセットに用紙をセットする」（26 ページ）参照

参照　長尺紙に印刷するときの留意事項については、「長尺紙」（153ページ）参照

給紙トレイに用紙をセットする手順について説明します。
次の手順に従って、給紙トレイに用紙を入れます。

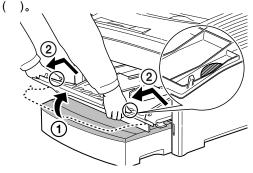
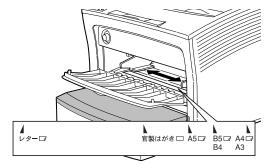
お願い

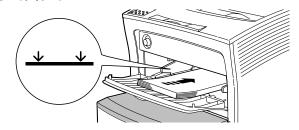
プリンタドライバおよびオペレータパネルで設定した用紙のサイズと、実際に使用する用紙のサイズは、必ず一致させてください。異なるサイズの用紙に印刷した場合、プリンタが故障するおそれがあります。

1 プリンタ前面の上部中央にあるくぼみに指をかけて、給紙トレイを開ける

お願い

給紙トレイは約 80 °の角度に開きます。給紙トレイに必要以上の力をかけたり、用紙以外の重たいものを載せないでください。
破損の原因となります。

2 A5 以下の小さなサイズの用紙をセットするときはトレイを引き出す

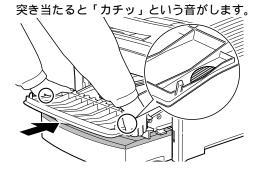
トレイの左右を持って少し閉じ(①)、さらに軽く持ち上げ手前に引き出します(②)。

3 用紙ガイドを、使用する用紙サイズに合わせて動かす

4 用紙の四隅を揃え、印刷面を上にして、差し込み口に軽く突き当たるまで入れる

お願い

- **折り目やシワの入った用紙は使用しないでください。また、特殊紙を使用するときは、よくさばいてから入れてください。**
- **印刷方向については、「用紙関係」（232 ページ）を参照してください。**
- **用紙ガイドのラベルにある線がセットできる用紙枚数の上限です。用紙は線が見える範囲の枚数にしてください。**
- **印刷中は、給紙トレイを引き出さないでください。装置が故障するおそれがあります。**

ガイド 給紙トレイに収容できる枚数は、約200枚（64g/㎡の場合）です。

5 給紙トレイの左右を持ち、突き当たるまで押し込む

突き当たると「カチッ」という音がします。

6 給紙トレイにセットした用紙のサイズを、給紙トレイ用紙サイズスイッチで設定する

スイッチの表示にセットした用紙サイズがない場合は、「パネルで設定」の位置にします。

ガイド

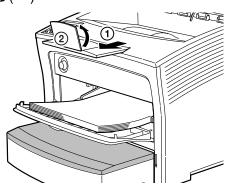
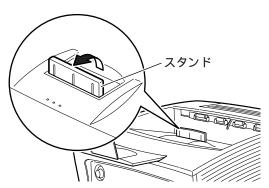
・「パネルで設定」の位置にすると、プリンタドライバまたはオペレータパネルで設定したサイズが有効となります。
・A4 横の長さ以下のサイズの用紙をセットした場合は、給紙トレイを閉じて印刷することができます。

お願い

印刷中は、給紙トレイ用紙サイズスイッチを操作しないでください。プリンタが誤作動する場合があります。

排紙トレイのセット

排紙トレイをセットする手順について説明します。

1 **B4 以上の用紙を排紙する場合は、排紙トレイを引き出し(①)、排紙止めを立てる(②)**

2 **印刷した用紙が排紙部でばらばらになったり、プリンタから落下するときは、排紙部のスタンドを立てる**

ガイド

特にめくれるようなカール癖のある用紙は排紙部でばらけやすいのでスタンドを立ててご使用ください。
また、コシの弱い用紙はスタンドを立てておくと先端が引っかかることがありますので、ご注意ください。

第10章

日常のメンテナンス

この章では、プリンタを使用するうえで日常的に必要となる操作について説明します。

サプライ用品の一覧

サプライ用品の商品番号を以下に示します。

これらの品物については、本プリンタをお買い求めの販売店へご相談ください。

PPC用紙および普通紙を使用することができますが､より良い印刷品質が得られるよう、下記の推奨用紙のご使用をお勧めします。

注意

故　障　プロセスカートリッジは、本プリンタ専用品を取り付けてください。専用品以外のプロセスカートリッジを取り付けると、プロセスカートリッジおよびプリンタ本体の故障の原因となる恐れがあります。

商品名		商品番号	備考
普通紙推奨用紙	Ａ３サイズ	0411650	500枚×３冊で１ケース
	Ｂ４サイズ	0411620	500枚×５冊で１ケース
	Ａ４サイズ(Ｙ)	0411612	
	Ｂ５サイズ(Ｙ)	0411645	
	Ａ５サイズ(Ｙ)	0411635	
	モノクロLBP用長尺用紙	0421020	プリンタドライバで「用紙種類」を「厚紙」に設定してください。
プロセスカートリッジ	LB314A	0836110	A4用紙で有効画像面積に対して画像面積比率が5%以下のときに、印刷寿命は約6,000枚です（印刷の内容により、多少の差があります)。
プロセスカートリッジ	LB314B	0836120	A4用紙で有効画像面積に対して画像面積比率が5%以下のときに、印刷寿命は約15,000枚です（印刷の内容により、多少の差があります)。
LB309給紙カセット (A3ユニバーサル)	LB309	0877310	A3～A5サイズで500枚 本体およびXL-EF50T1添付のカセットと同一です。
レーザプリンタ置台		0530580	デスクサイド専用置台 外形寸法 600(W)×610(D)×440(H)mm

プロセスカートリッジの交換と使用上のご注意

プロセスカートリッジの交換のしかたと使用するときの注意事項について説明します。

プロセスカートリッジの交換

プロセスカートリッジ１本あたりの目安として、LB314Aの場合A4サイズの用紙で約6000枚、LB314Bの場合A4サイズの用紙で約15000枚の印刷ができます。トナーの残りが少なくなると、プロセスカートリッジの交換を促すメッセージが液晶ディスプレイに表示されます。この表示がでたら、168ページの手順でプロセスカートリッジを取り外し、「プロセスカートリッジの取り付け」(21ページ)にしたがって、新しいプロセスカートリッジと交換します。

⚠警告

破裂　プロセスカートリッジを火中に投入しないでください。火中に投入すると、トナー粉がはねて、やけどの原因となります。
使用済みのプロセスカートリッジは、無償回収サービスをご利用ください。(「使用済みプロセスカートリッジの回収サービス」(168ページ))

誤飲
- トナーは目や口に入らないように注意してください。プロセスカートリッジの交換時などにトナーが手に付いた場合は、速やかに洗い落としてください。
  万一、飲み込んだ場合は、直ちに医師と相談してください。
- プロセスカートリッジを保管する場合は、小さなお子さまがトナーを誤って飲むことがないように、小さなお子さまの手の届かないところに置いてください。
  万一、飲み込んだ場合は、直ちに医師と相談してください。

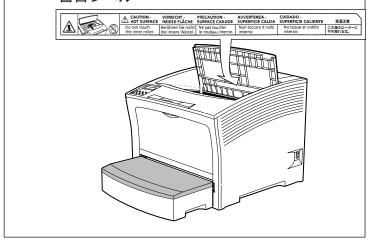
けが　上部カバーを開くとき、カバーとプリンタ本体に手を挟まないように注意してください。ケガをすることがあります。
上部カバーが開いているときに、上部カバーに手を触れると、閉じる方向に自然落下することがあります。手を挟んでケガをする原因となりますので、上部カバーには触れないようにしてください。

⚠注意

故障　プロセスカートリッジは、本プリンタ専用品を取り付けてください。専用品以外のプロセスカートリッジを取り付けると、プロセスカートリッジおよびプリンタ本体の故障の原因となる恐れがあります。

⚠注意

やけど　プリンタを使用した直後は定着器が非常に熱くなっています。「高温注意」ラベルが貼ってある箇所（定着器やその周辺）には、絶対に触れないでください。やけどの原因となることがあります。

警告ラベル

お願い

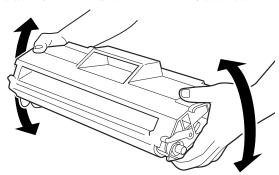
- **プロセスカートリッジは、光に対して非常に敏感です。トナーを均一にするときや交換に際しては、次の点に注意してください。**
  - **直射日光や強い光（約1500ルクス以上）に当てないでください。通常の室内の明かりの下でも5分以上は放置しないでください。**
  - **ドラム保護シャッターは絶対に開けないでください。**
- **感光体（ドラム）表面には絶対に手を触れないでください。**
- **立てたり、裏返しにして置かないでください。**
- **トナーは人体に無害ですが、手や衣服についたときにはすぐに洗ってください。**
- **常に、予備のプロセスカートリッジを用意しておいてください。**
- **装置の故障を防ぐため、本プリンタ専用品以外のプロセスカートリッジをセットすると、プリンタは動作を停止する場合があります。以下のメッセージが表示されますので、新しいプロセスカートリッジに交換してください。**

```
カートリッジ゛　イジ゛ョウ
　ＥＰカートリッジ゛　カクニン
```

または

```
カートリッジ゛　ジ゛ュミョウ
　ＥＰカートリッジ゛　コウカン
```

ガイド

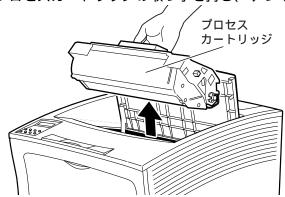
- プロセスカートリッジの保管期限は約２年間です。お買い上げ後は２年以内にご使用ください。
- プロセスカートリッジ内のトナーが片寄っているために、プロセスカートリッジの交換を促すメッセージが液晶ディスプレイに表示されることがあります。
  交換の前にプロセスカートリッジを矢印のようにかるく7〜8回振り、トナーの状態を均一にして、再度印刷してください。

- プロセスカートリッジの交換を促すメッセージが表示されない場合でも、次のようなときはプロセスカートリッジの交換が必要です。
  - 縦のカスレや部分的なカスレがある場合
    プロセスカートリッジを上記のように取り出して振り、内部トナーの状態を均一にして印刷してみても、改善されないとき
  - 不鮮明な印刷状態が発生した場合
    適切な用紙に替えて印刷しても改善されないとき

次の手順にしたがって、プロセスカートリッジを取り外します。

お願い　**プリンタ内部の部品には手を触れないでください。**

1 プリンタの上部カバーを開く

上部カバーの開け方は、20ページを参照してください。

2 プロセスカートリッジの取っ手を持ち、ゆっくり引き上げる

ガイド

- トナーで床を汚さないよう、取り出したプロセスカートリッジを置く場所には、あらかじめ紙などを敷いておいてください。
- 使用済みのプロセスカートリッジを処分するときは、弊社の回収サービスをご利用ください。

「③プロセスカートリッジの取り付け」（21ページ）にしたがって、新しいプロセスカートリッジを取り付けます。

使用済みプロセスカートリッジの回収サービス

富士通株式会社では、地球環境への配慮から使用済みプロセスカートリッジを無償で回収しております。
下記の『エコ受付センター』にご連絡をいただければ、回収便にて引き取りにうかがいます。お客様のご理解とご協力をお願いいたします。

『エコ受付センター』

フリーダイヤル：0120-30-0693
平日 8:40～12:00および13:00～17:30
（土曜・日曜・祝日・年末年始を除く）

プロセスカートリッジの取り扱いと保管

プロセスカートリッジを取り扱うときや保管するときの注意事項について説明します。

取り扱い上のご注意

プロセスカートリッジを取り扱うときは、次の点にご注意ください。

- 直射日光や強い光(約1500ルクス以上)に当てないでください。
- 室内の明かりの下でも、プロセスカートリッジを５分以上放置しないでください。
- プロセスカートリッジをプリンタから外した場合は、強い光に当てないよう梱包されていたアルミ袋に入れるか、厚い布などに包んでください。
- 寒いところから暖かいところに移動した場合は、１時間以上室温に慣らしてから使用してください。
- 立てたり、裏返しにして置かないでください。
- トナーは人体に無害ですが、手や衣服についたときはすぐに洗ってください。
- トナーシールを引き抜いた後は、プロセスカートリッジを強く振ったり、衝撃を与えないでください。トナーがこぼれることがあります。
- ドラムシャッターにより、プロセスカートリッジ内の感光体（ドラム）が光にあたらないように保護されています。ドラムシャッターは絶対に開けないでください。
- 感光体（ドラム）表面には絶対に手を触れないでください。

保管上のご注意

プロセスカートリッジを保管するときは、次の点にご注意ください。

- 使用するまでは開封しないでください。万一、開封してしまった場合は、梱包されていたアルミ袋に入れ、保管してください。
- 直射日光をさけ、以下の環境で保管してください。
  温度範囲　０～35℃、　湿度範囲　15～80%RH
  （ただし、結露のないこと）
- 高温多湿になる場所には置かないでください。
- 立てたり、裏返しにして置かないでください。
- CRT画面、ディスクドライブ、フロッピーディスクなど、磁気を帯びたものの近くに置かないでください。
- 幼児の手の届かないところに保管してください。

運用編

10

プリンタの清掃

プリンタを良好な状態に保ち、いつもきれいな印刷ができるように、約１か月に１回、プリンタ本体周辺を清掃してください。また、プロセスカートリッジの交換時や紙づまりの処置時には、プリンタ内部を点検してください。

⚠注意

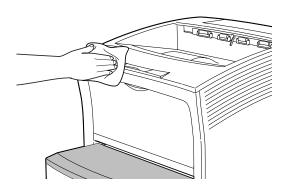
やけど 感　電	プリンタの清掃を行う場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。 電源スイッチを切らずにプリンタの清掃を行うと、やけどや感電の原因となることがあります。

お願い

清掃に際しては、以下の点に注意してください。

- **プリンタを使用した直後は、プリンタ内部が非常に熱くなっています。10分位たって内部の温度が下がってから作業してください。**
- **水または中性洗剤以外は、絶対に使用しないでください。ベンジン、シンナーなど揮発性のものを使用すると、カバーの変色や変形の恐れがあります。**
- **油をさす必要はありません。注油はしないでください。**

プリンタ外部の清掃

カバーの表面の汚れは、水またはうすめた中性洗剤を含ませてかたくしぼった布で拭き取ります。そのあと、柔らかい乾いた布で拭きます。

プリンタ内部の清掃

プリンタ内部の清掃方法を、清掃箇所ごとに説明します。

内部の点検

紙づまりの処置や、プロセスカートリッジ交換のあと、上部カバーを閉じる前に、内部を点検してください。

1 プリンタの上部カバーを開く

上部カバーの開けかたは、20 ページを参照してください。

2 プロセスカートリッジの取っ手を持ち、ゆっくり引き上げる

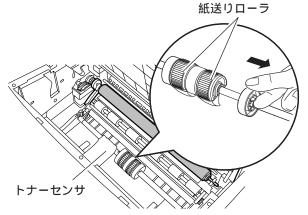
プロセスカートリッジの取り出しかたは、168 ページを参照してください。

- 紙片が残っていれば取り除きます。
- ほこり、汚れ、こぼれたトナーは、乾いた清潔な柔らかい布で拭き取ります。

紙送りローラの清掃

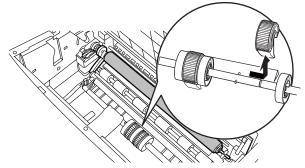
年賀はがきやかもめーるなど、絵入り官製はがきに印刷するとき、はがきの粉により送り不良が発生することがあります。プロセスカートリッジを取り外し、紙送りローラ（半月状のゴムローラ（２個））を清掃してください。

1 紙送りローラの外側にあるプラスチックのローラのツメを、軸の溝から外しながら外側にずらす

左側のローラは左へ、右側のローラは右へずらします。

お願い

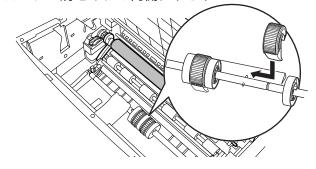
トナーセンサ側にあるプラスチックローラは左側に動かしてください。このとき、トナーセンサを軽く持ち上げながら行ってください。

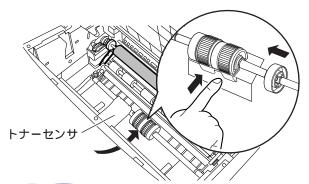
運用編　10

2 紙送りローラを外側にずらして、垂直に取り外す

3 水でぬらして硬く絞った柔らかい布で、紙送りローラのゴムの部分をていねいに拭く

お願い

水以外は使用しないでください。ゴムが破損することがあります。

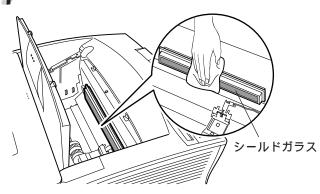
4 紙送りローラの矢印を手前に向けて軸にはめ、軸上の突起と紙送りローラの溝をあわせ内側にずらす

5 **給紙トレイの給紙口から手を入れ、軸の後ろにあるプレートを押しながら、外側のローラ（プラスチック）を、内側にずらして紙送りローラを固定する**

左側の紙送りローラも同じ手順で清掃してください。

ガイド　外側のローラのツメが、軸の溝にはまっていることを確認してください。

お願い　**左側の紙送りローラを清掃するときは、トナーセンサに力を加えないように注意してください。**

シールドガラスの清掃

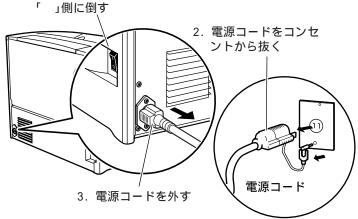
シールドガラスが汚れていると、レーザ光が遮断されて印刷がかすれることがあります。プロセスカートリッジを取り出し、シールドガラスを清掃してください。

1 **シールドガラスを乾いた布でていねいに拭く**

プリンタを長期間使用しないとき

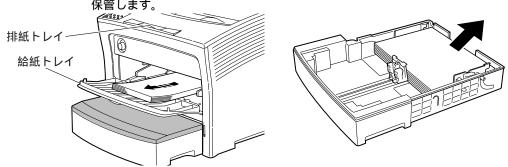
１週間以上プリンタを使用しないときは、電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いておきます。また、用紙を給紙トレイや給紙カセットから取り出し、湿気やほこりの少ない場所に保管します。

1 電源の切断を確認し、電源コードを取り外す

プリンタの電源スイッチを「○」側に倒します。電源コードを電源コンセントおよびプリンタの電源コードコネクタから抜きます。

お願い

エラーメッセージが表示されているときは「オペレータパネルのエラーメッセージ」（200 ページ）を参照し、処置をしてから電源を切ってください。

2 用紙を取り出す

給紙トレイおよび給紙カセットから用紙を取り出し、湿気やほこりのない場所に保管します。

参照　用紙の保管については、「第 9 章　用紙について」（151 ページ）参照

プリンタを移動するとき

プリンタを運搬したり、移動したりするときには、次の点に注意してください。

⚠注意

けが　本プリンタは、オプションや消耗品、用紙が入っていない状態で約25kg あります。プリンタを動かす場合は、必ず2人以上で持ち運んでください。プリンタを持ち上げるときは、腰を痛めないように十分に膝を折り、プリンタ正面（操作パネル側）および背面に向かい、左右両側のくぼみを両手でしっかりと持ってください。くぼみ以外を持って持ち上げることは絶対にしないでください。落下によりケガの原因になることがあります。

ガイド

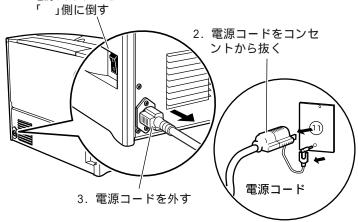
拡張給紙ユニット（オプション）を取り付けているプリンタを移動する場合には、プリンタ本体から拡張給紙ユニットを取り外します。プリンタ本体や拡張給紙ユニットは傷がつかないように梱包してから運搬してください。移転など、プリンタを長距離移動する可能性がある場合は、梱包材を保管しておくと便利です。

近くに移動する

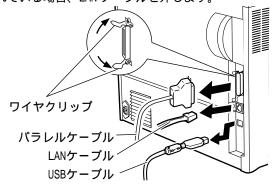
プリンタを設置していた机を変えたり、隣の部屋に移動させたりする場合は、以下の手順に従ってください。

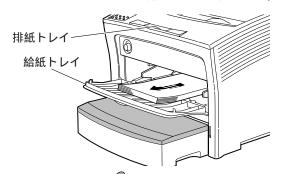
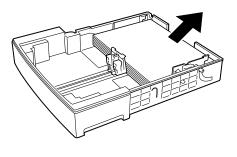
1 電源の切断を確認し、電源コードを取り外す

プリンタの電源スイッチを「○」側に倒します。電源コードを電源コンセントおよびプリンタの電源コードコネクタから抜きます。

お願い

エラーメッセージが表示されているときは「オペレータパネルのエラーメッセージ」（200 ページ）を参照し、処置をしてから電源を切ってください。

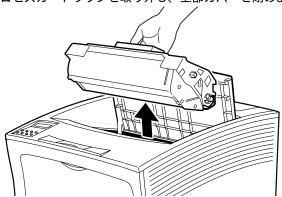
2 ケーブルを抜く

パラレルケーブルまたはUSB ケーブルを外します。また、LAN ケーブルが接続されている場合、LAN ケーブルを外します。

3 用紙を取り出す

用紙を給紙トレイまたは給紙カセットから取り出し、紙などに包みます。給紙トレイと排紙トレイは閉じます。

参照　用紙の保管については、「第 9 章　用紙について」（151 ページ）参照

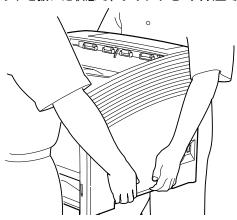
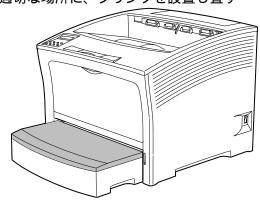
ガイド　用紙の入っている給紙カセットは重いので、「⑤給紙カセットに用紙をセットする」（26 ページ）を参照して、注意してプリンタから抜いてください。

4 プロセスカートリッジを取り外す

「プロセスカートリッジの交換」（165 ページ）を参照して、プリンタ内部からプロセスカートリッジを取り外し、上部カバーを閉めます。

お願い

- **プロセスカートリッジを取り付けたまま運搬すると、トナーでプリンタ内部が汚れることがあります。必ず取り外してください。**
- **取り外したプロセスカートリッジを振らないでください。トナーがこぼれることがあります。**
- **取り外したプロセスカートリッジは、強い光に当てないように、梱包されていたアルミ袋に入れるか、厚い布などに包んでください。**

5 プリンタを移動する

給紙カセットを抜いた状態で、プリンタを２人以上で持ち、静かに移動します。

6 適切な場所に、プリンタを設置し直す

参照　設置し直すときの手順については「第３章　プリンタ本体の設置」（19ページ）参照

梱包して運搬する

プリンタを運搬するときは、取り付けてある付属品などを外し、もう一度梱包する必要があります。以下の手順に従ってください。

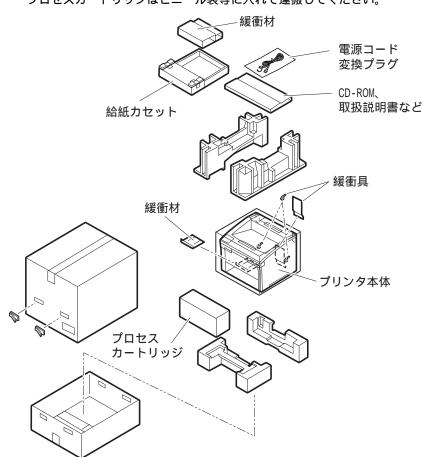
1 付属品を取り外す

「近くに移動する」の手順1～4（176ページ）に従って、付属品を取り外します。

2 梱包し直す

下図のように梱包して、運搬してください。

精密機械ですから、運搬するときは以下の点に注意して、ていねいに取り扱ってください。また、「プロセスカートリッジの取り扱いと保管」（169ページ）も合わせて参照してください。

- 梱包時は、製品購入時に使用していた梱包材で梱包してください。
- プロセスカートリッジは必ずプリンタから取り出してください。取り出したプロセスカートリッジはビニール袋等に入れて運搬してください。

トラブル編

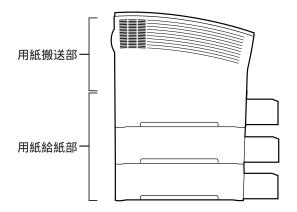
第11章

困ったときは

この章では、故障が発生したと思われるとき、紙づまりのとき、各種メッセージが表示されたときの処置のしかたについて説明します。

紙づまりになったとき

紙づまりが発生するとメッセージランプが点灯し、液晶ディスプレイに『カミヅマリ』『カミヲ　トリノゾ゛イテクダ゛サイ』と表示されます。このとき、すべてのスイッチが無効になります。

次の要領でつまった用紙を取り除いてください。
つまった用紙をすべて取り除き上部カバーを閉じると、オンライン状態になり、紙づまりが発生したページから印刷を再開します。

お願い

- **つまった用紙を取り除いて上部カバーを閉じてもメッセージが消えないときは、用紙がまだ残っています。再度点検して、つまった用紙を完全に取り除いてください。**
- **紙づまりが発生したら、必ず一度、上部カバーを開閉してください。**
- **用紙は破れないようゆっくりと取り除いてください。**

⚠注意

けが　つまった用紙を取り除いたり故障処置を行ったりするときは、次の点に注意してください。
- ネックレスやネクタイなどがプリンタ内部に巻き込まれないように注意してください。ケガの原因となることがあります。
- プリンタの突起部分などに触れないように注意してください。ケガの原因となることがあります。

火災　つまった用紙を取り除くときは、プリンタ内部に紙片が残らないようすべて取り除いてください。紙片が残ったままになっていると火災などの原因となることがあります。
なお、定着器やローラ部に用紙が巻き付いているときには無理に取らないで、ハードウェア修理相談センター（253ページ参照）にご連絡ください。

紙づまりのおもな原因

紙づまりには次のような原因が考えられます。紙づまりを防ぐために、以下のことにご注意ください。

・プリンタを水平に設置する
・適切な用紙を使用する
・給紙カセットや給紙トレイに用紙を正しくセットする
・カールしていない用紙を使用する
・給紙カセットを奥に突きあたるまで押し込む

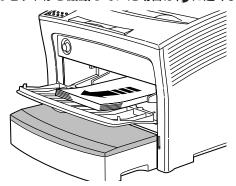
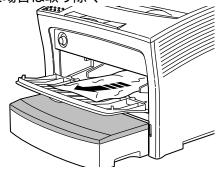
紙づまりの取り除きかた

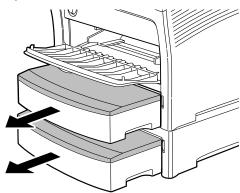
つまった用紙の取り除きかたを、給紙部と用紙搬送部それぞれについて説明します。

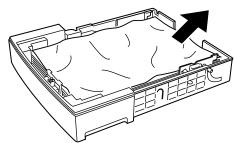
給紙部でつまった用紙の取り除きかた

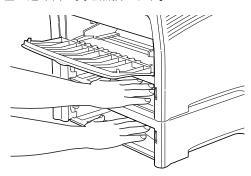
給紙部でつまった用紙は、次の手順に従って取り除いてください。

1 給紙トレイから給紙していた場合は、給紙トレイにセットされている用紙を取り出す

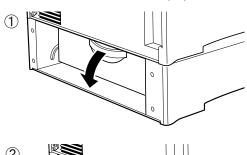
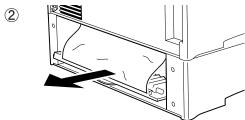
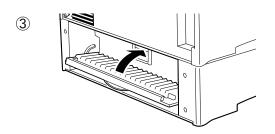
給紙カセットから給紙していた場合は、3に進みます。

2 給紙トレイの奥(用紙の差し込み口付近)を点検し、つまった用紙があった場合は取り除く

3 **給紙カセットから給紙していた場合は、給紙カセットを一度止まるまで手前に引き出し、緑色のラベルの部分を両手で持ち、軽く持ち上げながらプリンタから抜く**

オプションの拡張給紙ユニットを使用している場合は、それぞれの給紙カセットを抜きます。

4 **給紙カセット内にシワになっている用紙がある場合は、取り除く**

5 **給紙カセット差し込み口の奥を点検し、つまった用紙がある場合は取り除く**

オプションの拡張給紙ユニットを使用している場合は、それぞれの給紙カセット差し込み口の奥を点検します。

お願い

プリンタ内部の部品を破損させないように注意してください。

6 拡張給紙ユニット背面のカバーを開き点検する

オプションの拡張給紙ユニットを使用している場合は、背面のカバーを開きます(①)。
つまった用紙があれば取り除き(②)、カバーを閉じます(③)。

①
②
③
7 給紙トレイ、給紙カセットに用紙をセットする

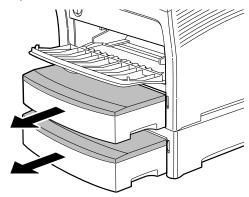
参照　「⑤給紙カセットに用紙をセットする」(26ページ)、
「用紙のセット(給紙トレイ)」(158ページ)参照

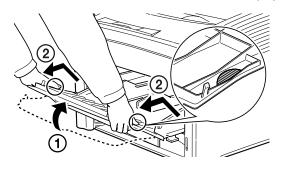
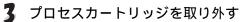
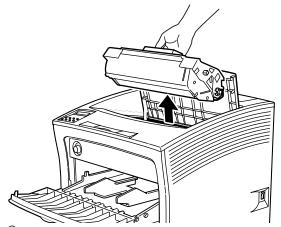
ガイド　給紙トレイ内での紙づまりの場合も、上部カバーを一度開閉してください。上部カバーを開閉すると、エラーメッセージが消えます。

装置内部でつまった用紙の取り除きかた

用紙搬送部でつまった用紙は、次の手順に従って取り除いてください。

1 給紙カセットから給紙していた場合は、給紙カセットを一度止まるまで手前に引き出し、緑色のラベルの部分を両手で持ち、軽く持ち上げながらプリンタから抜く

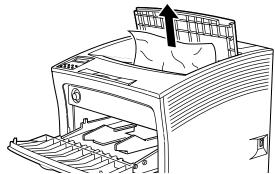
オプションの拡張給紙ユニットを使用している場合は､それぞれの給紙カセットを抜きます。

2 給紙トレイにセットされている用紙を取り出し、給紙トレイを引き出す

給紙トレイの左右を持って、少し上に閉じます(①)。
さらに、軽く持ち上げて手前に引き出します(②)。

3 プロセスカートリッジを取り外す

参照　「プロセスカートリッジの交換」（165 ページ）参照

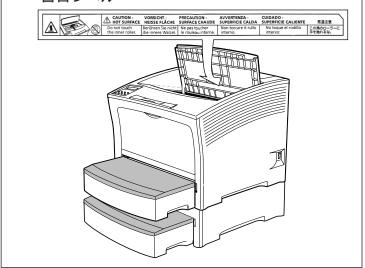
お願い

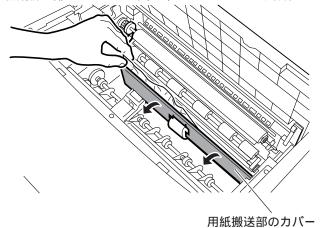
トナーで床を汚さないように、取り出したプロセスカートリッジを置く場所には、あらかじめ紙などを敷いておいてください。

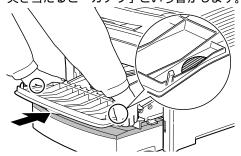
4 プロセスカートリッジを抜き出した奥を点検し、つまっている用紙が見えるときには、破らないように矢印の方向にゆっくりと引き抜く

⚠警告

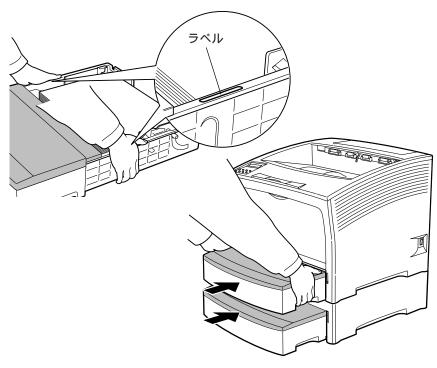
誤 飲	用紙上の文字は定着していないので、触れるとトナーが手に付きます。用紙を取り除くとき、手や服がトナーで汚れないよう注意してください。 トナーが付いてしまったときは、すぐに水で洗ってください。 万一、飲み込んだ場合は、直ちに医師と相談してください。

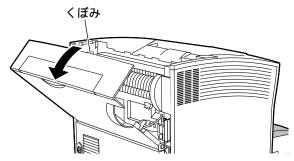
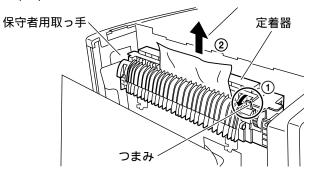
⚠注意

やけど「高温注意」ラベルが貼ってある箇所（定着器やその周辺）には、絶対に触れないでください。やけどの原因となることがあります。

お願い　**プリンタ内部の部品を破損させないように注意してください。**

5 用紙搬送部のカバーを開け、つまっている用紙があったら取り除く

6 給紙トレイの左右を持ち、突き当たるまで押し込む

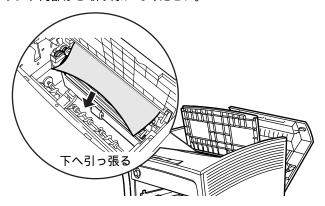
突き当たると「カチッ」という音がします。

7 給紙カセットのラベルが貼ってある部分を両手で持ち、突き当たるまでプリンタに押し込む

奥までしっかり押し込まれていることを確認してください。

8 背面カバー上部のくぼみに手をかけ、手前に引いて背面カバーを開く

9 **定着器のつまみ（緑色）を手前に引き(①)、つまった用紙があれば取り除く(②)**

お願い

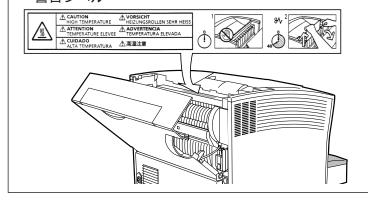
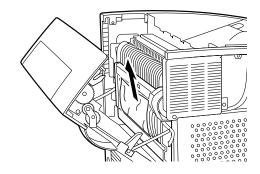
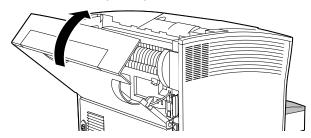
オレンジ色の取っ手は保守者用のため、手を触れないでください。定着器がプリンタから外れてしまいます。

ガイド

つまった用紙が手でつかみにくい場合は、上部カバーを開き、プリンタ内部から取り除いてください。

⚠注意

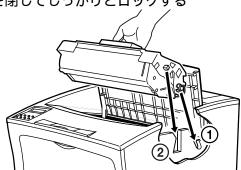
やけど「高温注意」ラベルが貼ってある箇所（定着器やその周辺）には、絶対に触れないでください。やけどの原因となることがあります。

警告ラベル

10 **オプションの両面ユニットを使用している場合は、両面ユニットを点検し、つまった用紙があれば、取り除く**

11 **定着器のつまみ（緑色）を元に戻し、背面カバーを閉じる**

お願い

定着器が確実に元に戻っていることと、背面カバーが確実にロックされていることを確認してください。印刷不良が発生することがあります。

12 **プロセスカートリッジをプリンタ内部に確実にセットし、上部カバーを閉じてしっかりとロックする**

参照　「③プロセスカートリッジの取り付け」(21 ページ)参照

お願い

- **上部カバーが確実にロックされていることを確認してください。完全にロックされていないと、印刷不良が発生することがあります。**
- **次に印刷された用紙が汚れる場合がありますが、数枚印刷すれば、汚れはつかなくなります。**

故障かなと思ったとき

故障かなと思っても、故障ではないことがよくあります。
そんなとき、次の各項目を読んで確認してください。

こんなとき	よくある例	ここをお調べください
電源が投入できない 電源を投入してもすぐに切れる	・電源コードの抜け ・停電 ・コンセントに問題あり ・電圧が違う	・電源コードを確実に差し込み、電源が投入（｜側）されていることを確認してください。 ・ほかの電気製品が動作することを確認してください。 ・コンセントの電圧を調べてください。 参照 「安全上のご注意」((ｉｉ)ページ) 「電源を入れる(23 ページ) 「電源を切る」(31 ページ)
印刷しない	・プリンタの電源未投入 ・パラレルケーブル、USB ケーブルが抜けている ・オンライン状態でない	・パラレルケーブル、USB ケーブルが外れていないか確認してください。 ・「オンライン」ランプが点灯し、『オンライン』と表示されていることを確認してください。 参照 「パラレルインタフェースによる接続とインストール」(53 ページ) 「USB による接続とインストール」(58 ページ) 「電源を入れる(23 ページ) 「電源を切る」(31 ページ) 参照『オンラインマニュアル』 「第７章 オペレータパネルの操作」
オペレータパネルのスイッチがときどき機能しない	・スイッチを確実に押していない ・プリンタの状態で効かないスイッチがある	・スイッチのまん中をしっかり押してください。 参照『オンラインマニュアル』 「第７章 オペレータパネルの操作」
異常音がする	・プリンタ内部に用紙くずやクリップなどの異物がある ・給紙カセットの装着が不完全	・プリンタ内部を点検してください。 ・給紙カセットを完全に装着してください。 参照 「⑤給紙カセットに用紙をセットする」(26 ページ) 「用紙のセット(給紙トレイ)」(158ページ) 「紙づまりになったとき」(184 ページ)
用紙が傾く、外れる、破れる、つまる	・用紙が正しくセットされていない ・用紙が適切でない ・プリンタが水平でない	・それぞれの状態をよく確認し、適切な処置を取ってください。 参照 「安全上のご注意」((ｉｉ)ページ) 「用紙について」(151 ページ)

こんなとき	よくある例	ここをお調べください
用紙が二重送りされる	・用紙どうしがくっついてしまう	・用紙をよくさばいてください。 ・ラベル紙の場合は１枚ずつセットして印刷してください。 参照 「⑤給紙カセットに用紙をセットする」(26ページ) 「用紙のセット(給紙トレイ)」(158ページ)
紙づまりが発生した	・用紙がくっつきやすい ・用紙が正しくセットされていない ・用紙が適切でない ・プリンタが水平でない	・それぞれの状態をよく確認し、適切な処置をとってください。 ・用紙のセット方向を確認してください。 - A4、B5、A5、レターサイズの用紙は、横長にセットしてください。 - A3、B4、リーガルサイズの用紙は、縦長にセットしてください。 参照 「安全上のご注意」((ｉｉ)ページ) 「用紙について」(151ページ) 「紙づまりになったとき」(184ページ)
給紙カセットの出し入れができない	・印刷中に電源を切断した ・紙づまりが発生している	・電源を切断（○側）して、数秒経過後に投入（｜側）してください。 ・それぞれの状態をよく確認し、適切な処置を取ってください。 参照 「電源を入れる(23ページ) 「電源を切る」(31ページ) 「紙づまりになったとき」(184ページ)
裏面が汚れる	プリンタ内の用紙搬送路が汚れている	数枚テスト印刷して、汚れの薄れ具合で、汚れがとれたかどうか判断してください。 オペレータパネルでプリンタをメニューモードにして、テスト印刷をしてください。 参照 「プリンタの清掃」(170ページ) 参照『オンラインマニュアル』 「第７章　オペレータパネルの操作」の「オペレータパネルからの設定(メニューモード)」
エラーメッセージが表示され、印刷されない		それぞれの状態をよく確認し、適切な処置を取ってください。 参照 「オペレータパネルのエラーメッセージ」(200ページ)
用紙がないのにブザーが鳴らない	・ブザーが鳴らない設定にしている ・給紙トレイから用紙を補給している	・オペレータパネルでプリンタをメニューモードにして、ブザーの設定値を「設定」にしてください。 参照『オンラインマニュアル』 「第７章　オペレータパネルの操作」の「オペレータパネルからの設定(メニューモード)」 ・給紙トレイからの印刷時は、ブザーは鳴りません。

トラブル編

11

印刷品質が低下したとき

印刷品質が低下したときの処置について説明します。

ここで説明する処置をしても印刷品質が改善されない場合や、ここに示した以外の現象が起きた場合は、ハードウェア修理相談センター（253ページ参照）にご連絡ください。

⚠注意

やけど　プリンタを使用した直後は定着器が非常に熱くなっています。「高温注意」ラベルが貼ってある箇所（定着器やその周辺）には、絶対に触れないでください。やけどの原因となることがあります。

こんなとき	よくある例	ここをお調べください
印刷がうすい (かすれる、不鮮明) PRINTER	印字濃度の設定が適正でない。	印字濃度を調整してください。 オペレータパネルでプリンタをメニューモードにして、環境設定の印字濃度調整で設定してください。 参照『オンラインマニュアル』 「第７章　オペレータパネルの操作」の 「オペレータパネルからの設定(メニューモード)」
	シールドガラスが汚れている。	シールドガラスを清掃してください。 参照 「シールドガラスの清掃」（173 ページ）
	用紙が湿気を含んでいる。	新しい用紙に交換してください。 参照 「⑤給紙カセットに用紙をセットする」（26 ページ） 「用紙のセット(給紙トレイ)」（158 ページ）
	プロセスカートリッジ内にトナーがない。	新しいプロセスカートリッジに交換してください。 参照 「プロセスカートリッジの交換」（165 ページ）
	プロセスカートリッジが劣化、または損傷している。	新しいプロセスカートリッジに交換してください。 参照 「プロセスカートリッジの交換」（165 ページ）
黒点が印刷される PRINTER	使用している用紙が適切でない。	適切な用紙をセットしてください。 参照「用紙について」（151 ページ）
	プロセスカートリッジが劣化、または損傷している。	新しいプロセスカートリッジに交換してください。 参照 「プロセスカートリッジの交換」（165 ページ）

こんなとき	よくある例	ここをお調べください
黒線が印刷される PRINTER	プロセスカートリッジが劣化、または損傷している。	新しいプロセスカートリッジに交換してください。 参照 「プロセスカートリッジの交換」（165 ページ）
等間隔に汚れる PRINTER	プリンタ内の用紙搬送路が汚れている。	数枚テスト印刷して、汚れの薄れ具合で汚れがとれたかどうか判断してください。 参照『オンラインマニュアル』 「第７章　オペレータパネルの操作」の「「オペレータパネルからの設定(メニューモード)」」
	プロセスカートリッジが劣化、または損傷している。	新しいプロセスカートリッジに交換してください。 参照 「プロセスカートリッジの交換」（165 ページ）
黒く塗りつぶされた部分に白点がある P	使用している用紙が適切でない。	適切な用紙をセットしてください。 参照 「用紙について」（151 ページ）
	プロセスカートリッジが劣化、または損傷している。	新しいプロセスカートリッジに交換してください。 参照 「プロセスカートリッジの交換」（165 ページ）
指でこするとトナーがかすれる PRINTER	用紙が湿気を含んでいる。	新しい用紙に交換してください。 参照 「⑤給紙カセットに用紙をセットする」（26 ページ） 「用紙のセット（給紙トレイ）」（158 ページ）
	使用している用紙が適切でない。	適切な用紙をセットしてください。 参照 「用紙について」（151 ページ）
用紙全体が黒く印刷される	プロセスカートリッジが劣化、または損傷している。	新しいプロセスカートリッジに交換してください。 参照 「プロセスカートリッジの交換」（165 ページ）
	プリンタ内の高圧電源などの故障が考えられる。	ハードウェア修理相談センター（253 ページ参照）にご連絡ください。

こんなとき	よくある例	ここをお調べください
何も印刷されない	プロセスカートリッジのトナーシールが完全に引き抜かれていない。	トナーシールを引き抜きます。 参照 「プロセスカートリッジの交換」（165 ページ）
何も印刷されない	一度に複数枚の用紙が搬送されている。	用紙をいったん取り出し、よくさばいてから再度セットしてください。 参照 「⑤給紙カセットに用紙をセットする」（26 ページ） 「用紙のセット(給紙トレイ)」（158 ページ）
何も印刷されない	プロセスカートリッジにトナーが残っていない。	新しいプロセスカートリッジに交換してください。 参照 「プロセスカートリッジの交換」（165 ページ）
何も印刷されない	プロセスカートリッジが劣化、または損傷している。	新しいプロセスカートリッジに交換してください。 参照 「プロセスカートリッジの交換」（165 ページ）
何も印刷されない	プリンタ内の高圧電源などの故障が考えられる。	ハードウェア修理相談センター（253 ページ参照）にご連絡ください。
白抜けが起こる	シールドガラスが汚れている。	シールドガラスを清掃してください。 参照 「シールドガラスの清掃」（173 ページ）
白抜けが起こる	用紙が湿気を含んでいる。	新しい用紙に交換してください。 参照 「⑤給紙カセットに用紙をセットする」（26 ページ） 「用紙のセット(給紙トレイ)」（158 ページ）
白抜けが起こる	使用している用紙が適切でない。	適切な用紙をセットしてください。 参照 「用紙について」（151 ページ）
白抜けが起こる	トナーシールの切れはしが、プロセスカートリッジ内に残っている。	新しいプロセスカートリッジに交換してください。 参照 「プロセスカートリッジの交換」（165 ページ）
用紙にシワがつく	用紙のセットが適切でない。	用紙を正しくセットしてください。 参照 「⑤給紙カセットに用紙をセットする」（26 ページ） 「用紙のセット(給紙トレイ)」（158 ページ）
用紙にシワがつく	用紙が湿気を含んでいる。	新しい用紙に交換してください。 参照 「⑤給紙カセットに用紙をセットする」（26 ページ） 「用紙のセット(給紙トレイ)」（158 ページ）
用紙にシワがつく	使用している用紙が適切でない。	適切な用紙をセットしてください。 参照 「用紙について」（151 ページ）

こんなとき	よくある例	ここをお調べください
文字がにじむ	用紙が湿気を含んでいる。	新しい用紙に交換してください。 参照 「⑤給紙カセットに用紙をセットする」(26 ページ) 「用紙のセット(給紙トレイ)」(158 ページ)
	使用している用紙が適切でない。	適切な用紙をセットしてください。 参照 「用紙について」(151 ページ)
	プロセスカートリッジが劣化、または損傷している。	新しいプロセスカートリッジに交換してください。 参照 「プロセスカートリッジの交換」(165 ページ)
縦長に白抜けする	プロセスカートリッジが正しくセットされていない、またはプロセスカートリッジ内のトナーがかたよっている。	いったんプロセスカートリッジを取り出し、軽く振ってからもう一度セットし直してください。 参照 「プロセスカートリッジの交換」(165 ページ)
	シールドガラスが汚れている。	シールドガラスを清掃してください。 参照 「シールドガラスの清掃」(173 ページ)
	プロセスカートリッジが劣化、または損傷している。	新しいプロセスカートリッジに交換してください。 参照 「プロセスカートリッジの交換」(165 ページ)
不要なトナーがつく	印字濃度の設定が適正でない。	印字濃度を調整してください。 オペレータパネルでプリンタをメニューモードにして、環境設定の印字濃度調整で設定してください。 参照『オンラインマニュアル』 「第７章　オペレータパネルの操作」の「オペレータパネルからの設定(メニューモード)」
	使用している用紙が適切でない。	適切な用紙をセットしてください。 参照 「用紙について」(151 ページ)
	プロセスカートリッジが劣化、または損傷している。	新しいプロセスカートリッジに交換してください。 参照 「プロセスカートリッジの交換」(165 ページ)
太い文字に影が出る	印字濃度の設定が適正でない。	印字濃度を調整してください。 オペレータパネルでプリンタをメニューモードにして、環境設定の印字濃度調整で設定してください。 参照『オンラインマニュアル』 「第７章　オペレータパネルの操作」の「オペレータパネルからの設定(メニューモード)」
	プロセスカートリッジが劣化、または損傷している。	新しいプロセスカートリッジに交換してください。 参照 「プロセスカートリッジの交換」(165 ページ)

メッセージ一覧

オペレータパネルのエラーメッセージ

プリンタでエラーが発生すると、オペレータパネルの液晶ディスプレイにエラーメッセージが表示されます。
次の表に従って処置してください。

表示メッセージ	表示内容と処置	参照先
ヨウシ　ナシ ・・・・ヲ　イレテ　クダサイ	自動給紙で印刷を開始したときに、給紙カセットまたは給紙トレイに用紙がないと表示されます。 給紙カセット X(1、2 または 3)、または給紙トレイに、表示されたサイズの用紙をセットすると、オンライン表示に切り替わり、印刷を開始します。	参照 「⑤給紙カセットに用紙をセットする」(26 ページ) 「用紙のセット(給紙トレイ)」(158 ページ)
ヨウシ　ナシ　　　カセット× ・・・・ヲ　イレテ　クダサイ	印刷を開始したときに、給紙カセットに用紙がないと表示されます。 給紙カセット X(1、2 または 3)に、表示されたサイズの用紙をセットすると、オンライン表示に切り替わり、印刷を開始します。	参照 「⑤給紙カセットに用紙をセットする」(26 ページ)
ヨウシ　ナシ　キュウシトレイ ・・・・・ヲ　イレテ　クダサイ	印刷を開始したときに、給紙トレイに用紙がないと表示されます。表示されたサイズの用紙をセットすると、印刷を開始します。	参照 「用紙のセット(給紙トレイ)」(158 ページ)
カセット　ナシ　　　カセット× ・・・・・ヲ　イレテ　クダサイ	印刷を開始したときに、指定した給紙カセットがないと表示されます。印刷するサイズの用紙を入れた給紙カセットをプリンタにセットすると、印刷を開始します。	参照 「⑤給紙カセットに用紙をセットする」(26 ページ)

<table>
<tr><th>表示メッセージ</th><th>表示内容と処置</th><th>参照先</th></tr>
<tr><td>カミヅマリ　　××××××××××
カミヲ　トリノゾイテ　クダサイ</td><td>紙づまりが発生すると表示されます。
上部カバー、給紙カセット、両面ユニットの中を確認してください。
また、プリンタ内で紙づまりが発生した場合、給紙トレイにセットされている用紙を取り出し、給紙カセットを取り外して、プリンタの内部を確認してください。
X はエラー箇所です。次の 7 種類が表示されます。
<table>
<tr><th>エラー箇所</th><th>確認箇所</th></tr>
<tr><td>カセット 1</td><td>カセット 1、上部カバー内部</td></tr>
<tr><td>カセット 2</td><td>カセット 2、上部カバー内部</td></tr>
<tr><td>カセット 3</td><td>カセット 3、上部カバー内部</td></tr>
<tr><td>キュウシトレイ</td><td>給紙トレイ、上部カバー内部</td></tr>
<tr><td>プリンタナイブ</td><td>上部カバー、プリンタ内部、排紙部</td></tr>
<tr><td>ハイシトレイ</td><td>上部カバー内部、排紙部</td></tr>
<tr><td>リョウメン</td><td>プリンタ内部、両面ユニット、排紙部</td></tr>
</table></td><td>参照
「紙づまりになったとき」
(184 ページ)</td></tr>
<tr><td>カバー　オープン
カバー　ヲ　トジテクダサイ</td><td>上部カバーを開けていると表示されます。
作業が終わったら上部カバーを閉じてください。</td><td></td></tr>
<tr><td>ヨウシサイズ　フイッチ
・・・・ヲ　イレテ　クダサイ</td><td>自動給紙で印刷を開始したときに、カセットまたは給紙トレイの用紙サイズと、印刷データの用紙サイズが異なっていると表示されます。給紙カセット X(1、2 または 3)、または給紙トレイに、表示されたサイズの用紙をセットすると、印刷を開始します。</td><td>参照
「⑤給紙カセットに用紙をセットする」
(26 ページ)
「用紙のセット(給紙トレイ)」(158 ページ)</td></tr>
<tr><td>サイズフイッチ　カセット×
・・・・ヲ　イレテ　クダサイ</td><td>印刷を開始したときに、給紙カセット X（1、2 または 3）にセットされている用紙サイズと、印刷データの用紙サイズが異なっていると表示されます。表示されたサイズの用紙をセットすると、印刷を開始します。</td><td>参照
「⑤給紙カセットに用紙をセットする」
(26 ページ)</td></tr>
<tr><td>サイズフイッチ　キュウシトレイ
・・・・ヲ　イレテ　クダサイ</td><td>印刷を開始したときに、給紙トレイにセットされている用紙サイズと、印刷データの用紙サイズが異なっていると表示されます。表示されたサイズの用紙をセットすると、印刷を開始します。</td><td>参照
「用紙のセット(給紙トレイ)」(158 ページ)</td></tr>
<tr><td>サイズ　カクニン　×××××××
・・・・ヲ　イレテ　クダサイ</td><td>印刷を開始したときに指定した用紙サイズと実際に給紙された用紙サイズが異なっていると表示されます。表示されたサイズの用紙をセットすると印刷を開始します。
×××××××：給紙を行った給紙カセット X
(1、2 または 3)、または給紙トレイ</td><td>参照
「用紙のセット(給紙トレイ)」(158 ページ)</td></tr>
<tr><td>サイズ　フソク　キュウシトレイ
A 4　ヲ　イレテ　クダサイ</td><td>設定の印刷時に A5 より小さい用紙がセットされています。A4 サイズの用紙をセットするか、リセットスイッチで印刷を中止し、A5 以上の大きさで再度印刷してください。</td><td>参照
「用紙のセット(給紙トレイ)」(158 ページ)</td></tr>
</table>

表示メッセージ	表示内容と処置	参照先
カートリッジ　イジョウ 　ＥＰカートリッジ　カクニン	純正品以外のプロセスカートリッジをセットした場合、またはプロセスカートリッジ内のメモリに異常が発生した場合に表示されます。 故障を防ぐため、プリンタは動作を停止します。 純正のプロセスカートリッジをセットし直してください。	参照 「プロセスカートリッジの交換」(165 ページ) 「プロセスカートリッジの取り扱いと保管」(169ページ)
カートリッジ　ジュミョウ 　ＥＰカートリッジ　コウカン	純正品以外のプロセスカートリッジをセットすると表示されます。故障を防ぐため、プリンタは動作を停止します。 純正のプロセスカートリッジと交換してください。	参照 「プロセスカートリッジの交換」(165 ページ) 「プロセスカートリッジの取り扱いと保管」(169ページ)
カートリッジ　ナシ 　ＥＰカートリッジ　カクニン	プロセスカートリッジがセットされていないと表示されます。プロセスカートリッジをセットしてください。	参照 「プロセスカートリッジの取り扱いと保管」(169ページ)
サイズエラー　カセットX カセット　ヲ　カエテ　クダサイ	サポートしていない用紙をセットしたときに表示されます。給紙カセットＸ（1、2 または 3）に正しい用紙をセットしてください。	参照 「⑤給紙カセットに用紙をセットする」(26 ページ)
ユニット　カクニン 　リョウメン　ユニット	両面ユニットが正しくセットされていない、または使用できない両面ユニットがセットされています。両面ユニットを確認し、セットし直してください。 また、両面ユニット装着の際は、あらかじめ電源を切ってから行ってください。	参照 「両面ユニットの取り付けかた」(41 ページ)
ユニット　カクニン 　キュウシトレイ　ユニット	給紙トレイが正しくセットされていません。正しくセットしてください。	
ユニット　カクニン 　ＦＵＳＥＲ　ユニット	定着器が正しくセットされていません。 正しくセットしてください。	
カイゾウド　シテイムコウ ドライバ　セッテイ　カクニン	プリンタが印刷できない解像度をプリンタドライバに指定したときに印刷を中止して表示されます。 プリンタドライバの解像度を設定し直してください。	
メモリ　フソク カタメン　インサツ　ゾッコウ	A3、B4、Legal の用紙に両面印刷する場合に、以下の状態のとき、表示されます。 ・ メモリを増設していない ・ メモリを増設しているが、ドライバの設定で「プロテクトモードで印刷する」をチェックしている Printianavi 使用時、何かスイッチを押すか３秒経過すると片面で印刷します。 Printianavi 未使用時、何かスイッチを押すまで待ちます。何かスイッチを押すと片面で印刷します。	参照 「プリンタ RAM モジュール」(35 ページ)

表示メッセージ	表示内容と処置	参照先
メモリ　フソク ドライバ　セッテイ　カクニン	メモリを増設せずにプリンタドライバで解像度を1200dpi に設定した場合に表示されます。 解像度を 300dpi または 600dpi に設定してください。	
メモリ　フソク ブタンイ　インサツ	プリンタ RAM モジュールを取り付けずに部単位印刷を設定して印刷を行った場合に表示されます。 メモリ不足エラー発生後は、部単位印刷を解除して印刷を再開します。ただし、プリントサーバが Windows NT4.0/2000/XP/Windows Server 2003 で Printianavi を使用している場合、エラーメッセージ発生後に部単位印刷を再開します。	
メモリ　オーバー ブタンイ　インサツ	64MB プリンタ RAM モジュールを取り付けているとき、部単位印刷を設定して行った印刷のデータ量が、部単位印刷用のメモリ残量より大きい場合に表示されます。 メモリオーバーエラー発生後は、部単位印刷を解除して印刷を再開します。ただし、プリントサーバが Windows NT4.0/2000/XP/Windows Server 2003 で Printianavi を使用している場合、エラーメッセージ発生後に部単位印刷を再開します。	
アンダーラン　エラー ドライバ　セッテイ　カクニン	プリンタドライバでアンダーランエラーが発生した場合に表示されます。 メモリを増設するか、ドライバの解像度を下げてください。 メモリを増設するときは、あらかじめ電源を切ってから行ってください。 ※ アンダーランエラーは、印刷内容が複雑でプリンタの処理が追いつかない場合に発生します。	

表示メッセージ	表示内容と処置	参照先
コントローラ　イジョウ 2 RAM1 エラー コントローラ　イジョウ 3 RAM2 エラー コントローラ　イジョウ 4 CG-ROM1 エラー コントローラ　イジョウ 5 CG-ROM2 エラー コントローラ　イジョウ 6 CG-ROM12 エラー コントローラ　イジョウ 13 MAC アドレスエラー コントローラ　イジョウ 15 Flash-ROM エラー コントローラ　イジョウ 16 トウロク　ショキカ　シマス コントローラ　イジョウ 21 LSI エラー コントローラ　イジョウ 22 EEPROM エラー コントローラ　イジョウ 23 ROM1 チェックサムエラー コントローラ　イジョウ 24 ROM2 チェックサムエラー コントローラ　イジョウ USB エラー システムエラー aabbccddeeeeeee	ROM および RAM の異常を検出すると表示されます。 いったん電源を切断し、再び投入してください。 それでもこのエラーメッセージが表示される場合は、その内容をハードウェア修理相談センター（253 ページ参照）へご連絡ください。 『コントローラ　イジョウ　16』発生時は、電源を再投入するとプリンタの設定内容を工場出荷時の初期値に戻します。 設定値を変更している場合は再度設定してください。 「システムエラー」発生時には、下段に表記されている数字を控え、ハードウェア修理相談センター（253 ページ参照）へご連絡ください。	
エンジン　イジョウ 1 　FUSER イジョウ エンジン　イジョウ 2 　ROS　モータ　コショウ エンジン　イジョウ 3 　メインモータ　コショウ エンジン　イジョウ 4 　ファン　アラーム エンジン　イジョウ 5 　メモリ　イジョウ X エンジン　イジョウ 6 　ツウシン　エラー　XXYY エンジン　イジョウ 7 　タイムアウト　エラー	ハードウェアの異常を検出すると表示されます。 いったん電源を切断し、再び投入してください。 それでもエラーメッセージが表示される場合は、その内容をハードウェア修理相談センター（253 ページ参照）へご連絡ください。	

オペレータパネルの警告メッセージ

メンテナンス情報や印刷中のプリンタの状態を下段に表示します。
警告メッセージが表示されても、印刷は続けることができます。

表中の記号は、次の内容を示します。
SSSSS：プリンタ状態　pppppp：インタフェース
ee：動作モード　ssssss：給紙口／用紙サイズ

表示メッセージ	表示内容と処置
SSSSS　ppppp　ee カセットカクニンn　ssssss	セットされていない給紙カセットがあると、表示されます。給紙カセットをセットしてください。
SSSSS　ppppp　ee サイズカクニンn	いずれかの給紙カセットに、使用できないサイズの用紙がセットされると表示されます。正しいサイズの用紙をセットしてください。
SSSSS　ppppp　ee トナー　ssssss	トナーの残量が少なくなると表示されます。 新しいプロセスカートリッジをセットしてください。
SSSSS　ppppp　ee トナー*　ssssss	トナーの残量が少なくなったとき、かつ純正品以外のプロセスカートリッジを使用しているときに表示されます。この場合、印刷結果の保証はいたしません。 また、プリンタ本体が故障する可能性があります。純正のプロセスカートリッジと交換してください。
SSSSS　ppppp　ee ホシュ	定着器が交換時期になると表示されます。 新しい定着器をセットする必要があります。 ハードウェア修理相談センター（253ページ参照）にご連絡ください。
SSSSS　ppppp　ee トナーコウカン	純正品以外のプロセスカートリッジを使用していると表示されます。この場合、印刷は可能ですが、印刷結果の保証はいたしません。 また、プリンタ本体が故障する可能性があります。純正のプロセスカートリッジと交換してください。

トラブル編

11

エミュレーションモードの使いかた

ここでは、エミュレーションモードで印刷する方法について説明します。

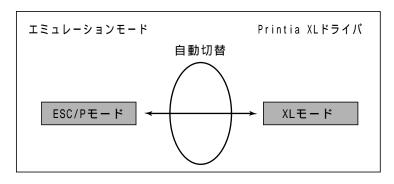
エミュレーションモードの設定

本プリンタをエミュレーションモード（ESC/P モード）にして印刷する場合は、メニューモードで「環境設定」の「エミュレーション設定」を「ESC/P」に変更してください（初期値は「解除」）。

メニューモードについては、『オンラインマニュアル』「第7章　オペレータパネルの操作」の「オペレータパネルの操作」参照

プリンタをエミュレーションモードにすると、ESC/P モードの印刷が可能になります。また、Printia XL ドライバから印刷した場合は、モードを自動的に切り替えます。

Printia XL ドライバで印刷する

Windows 対応のアプリケーションソフトから印刷する場合、Printia XL ドライバ（FUJITSU XL-6200）を選択します。プリンタの設定は、Windows のダイアログボックスの設定内容に従います。Windowsからの印刷が終了すると、自動的に電源投入時またはオペレータパネルで選択した元の動作モードに戻り、エミュレーションモードでの印刷が可能になります。

コマンドで動作モードを切り替えた後に、Printia XL ドライバで印刷すると、切り替える前の動作モードに戻ります。

エミュレーションモードで印刷する

本プリンタは、富士通FMVシリーズや各社AT互換機のパソコンと接続して、次のプリンタに対応したアプリケーションソフトから印刷することができます。

ESC/P モード：セイコーエプソン 24ドットマトリクスプリンタ　VP-1000 相当

動作モード（エミュレーションモード）は、通常、アプリケーションソフトが対応しているモードに合わせて、プリンタのオペレータパネルで切り替えます。

参照

オペレータパネルで切り替える方法については、
『オンラインマニュアル』「第7章　オペレータパネルの操作」の「オペレータパネルからの設定(メニューモード)」参照

コマンドでエミュレーションモードを切り替える

ここでは、プリンタ制御コード（コマンド）で動作モードを切り替える方法について説明します。使用するアプリケーションに合わせて、動作モードを自動的に切り替えることができますので、サーバプリンタとして使用する場合などに便利です。IntranetWareやNetWare、Windows NTなどのネットワークOSを使用して、印刷ジョブの前後にプリンタ制御コードを付加する方法については、各ネットワークOSのマニュアルをお読みください。

エミュレーションモードに切り替える

エミュレーションモードに切り替えるには、次のコマンドを発行します。(〈××〉$_{16}$ は、16進数表記での値です。)

【形式】

ESC ＋	／＋	イ ＋	@ ＋	DEL ＋	ESC ＋	DEL ＋	NULL ＋	NULL ＋	SOH ＋	Pa
〈1B〉$_{16}$	〈2F〉$_{16}$	〈B2〉$_{16}$	〈40〉$_{16}$	〈7F〉$_{16}$	〈1B〉$_{16}$	〈7F〉$_{16}$	〈00〉$_{16}$	〈00〉$_{16}$	〈01〉$_{16}$	〈××〉$_{16}$

【解説】

- Paは1バイトの選択パラメータで、エミュレーションモードを指定します。エミュレーションのPaの値は次のとおりです。
  ESC/P　：Pa＝〈09〉$_{16}$
  また、印刷ジョブ終了後に、コマンドで切り替える前のエミュレーションモード（デフォルトモード）に戻す場合には、次のPaを使用します。
  デフォルトモード：Pa＝〈05〉$_{16}$
- パラメータエラーの場合、コマンドを無視します。
- エミュレーションモードに切り替えるとき、エミュレーションの動作状態は初期化されます。
- エミュレーションモードは、オペレータパネルの液晶ディスプレイに表示されます。

参照

『オンラインマニュアル』「第7章　オペレータパネルの操作」の「液晶ディスプレイの表示内容」参照

・ コマンドでエミュレーションモードを切り替えた後に、Printia XLドライバでの印刷を行ったり、オペレータパネルでプリンタをリセットすると、コマンドで切り替える前のエミュレーションモード（デフォルトモード）に戻ります。

参照　「オペレータパネルから中止する」（134ページ）参照

切り替えコマンドの使いかた

エミュレーションモードでの印刷とPrintia XLドライバの印刷を切り替える場合、各印刷ジョブの前後でエミュレーションモードを切り替えます。デフォルトモードで印刷するアプリケーションソフトでは、エミュレーションモードへの切り替えコマンドは必要ありません。

お願い

切り替えコマンドは、本プリンタ以外へは発行しないでください。

セイコーエプソン VP-1000 との違い

エミュレーションモードは、本プリンタに、次のプリンタと同等の動作をさせるものです。

ESC/P モード：セイコーエプソン 24ドットマトリクスプリンタ　VP-1000 相当

ただし、まったく同じ動作をするわけではなく、多少の違いがあります。

・文字パターンの大きさ、デザインなどが多少異なります。
・用紙方向が縦の場合と横の場合で、印刷可能領域が異なります。

参照　印刷できる各用紙サイズの印刷可能領域は、「用紙関係」(232ページ)参照

ソフトウェアに関するトラブルシューティング

プリンタを使用しているときに発生する問題のうち、ソフトウェアに関するものについて、現象と対処方法を説明します。

セットアップ時のトラブルシューティング

プリンタをセットアップするときに発生する問題と、その対処方法について説明します。

ポートの選択画面に「Printianavi Network Port」が表示されない

《現 象》

プリンタをTCP/IPのLAN環境に直接接続して使用したいが、プリンタドライバのインストール中に選択するポートの一覧に、「Printianavi Network Port」が表示されない。

《対 処》

Printianaviネットワークポートモニタがインストールされているか確認し、それぞれの操作を行ってください。

Printianavi ネットワークポートモニタがインストールされているか確認する

〔マイコンピュータ〕から〔コントロールパネル〕〔アプリケーションの追加と削除〕をクリックし、「Printianavi ネットワークソフトウェア2」を選択して〔追加と削除〕をクリックするとセットアップ画面が表示されます。セットアップ画面にて「変更」を選択して〔次へ〕をクリックし、「Printianavi ネットワークポートモニタ」にチェックがついているか確認してください。

・「Printianavi ネットワークポートモニタ」がチェックされていないときは、変更画面で「Printianavi ネットワークポートモニタ」をチェックし、インストールとポートの作成を行います。

インストール方法については、『オンラインマニュアル』「第5章　ネットワークソフトウェアのインストールとネットワークポートの追加」参照

・「Printianavi ネットワークポートモニタ」が表示されたとき
仮のポート（LPT1など）でプリンタドライバをインストール後、プリンタのプロパティからポートを追加します。

ポートの追加方法については、「プリンタの接続方法を変更するとき（印刷先ポートの追加と変更）」（135ページ）参照

トラブル編

11

プリンタドライバのインストール中に警告画面が表示された

プリンタドライバのインストール中に、警告画面が表示されることがあります。ここでは、注意が必要な4つの現象（メッセージ）について説明します。

《現 象 1》

「Windows の CD-ROM を挿入してください」というメッセージが表示された。

《対 処》

製造元とモデルの選択画面で〔ディスク使用〕をクリックせずに一覧からプリンタを選択してインストールしようとすると表示される画面です。
インストールをキャンセルして、再度、プリンタ添付の CD-ROM からプリンタドライバをインストールし直すことをお勧めします。

参照　『オンラインマニュアル』「第6章　プリンタドライバのインストール」参照

このまま Windows の CD-ROM をセットしてインストールを続行すると、OS 添付のプリンタドライバがインストールされます。
OS 添付のプリンタドライバは、最低限の印刷は可能ですが Printianavi 機能およびさまざまな便利な印刷機能がお使いになれません。

お願い

OS 添付のプリンタドライバをインストールしたときは、プリンタドライバを削除してからインストールし直してください。

参照　「プリンタドライバの削除」（147 ページ）参照

《現 象 2》

〔バージョンの競合〕というメッセージが表示された。

《対 処》

現在インストールされているものより古いバージョンのプリンタドライバ、あるいはプリンタドライバが使用する共通のモジュールをインストールしようとしたときに表示される画面です。
〔はい〕をクリックして、現在のファイルをそのまま使うようにしてください。

《現 象 3》

「プリンタが接続されているサーバには適切なプリンタドライバがインストールされていません」というメッセージが表示された。

《対 処》

クライアントのOS（Windows）用のプリンタドライバが、サーバ側に追加（または代替）インストールされていない状態で、クライアントからサーバ共有プリンタのドライバをネットワークインストールしようとしたときに表示される画面です。
クライアントのOSにより、次の操作をしてください。

クライアントがWindows 95/98/Me/NT4.0のとき

① 添付のCD-ROMをクライアントにセットして、〔OK〕をクリックします。
② プリンタの製造元とモデルを選択する画面では〔ディスク使用〕をクリックし、CD-ROMにあるプリンタドライバのフォルダ名を指定してインストールを行ってください。

クライアントがWindows 2000/XP/Windows Server 2003のとき

〔キャンセル〕をクリックして、ネットワークインストールを中止します。ポート変更による方法でインストールし直してください。

「ポート変更による方法」（117ページ）参照

サーバがWindows NT4.0/2000/XP/Windows Server 2003でWindows 95/98/Me/NT4.0のクライアントが複数台あるときは、追加（または代替）ドライバをインストールしておくと便利です。

参照 「第7章　プリンタ共有の設定」の「サーバ側の設定」Windows 95/98/Meのとき（110ページ）、Windows 2000/XP/Windows Server 2003のとき（113ページ）、Windows NT4.0のとき（119ページ）参照

《現 象 4》

「管理者権限がないため、メッセージ連携サービスを停止状態とします」というメッセージが表示された。

《対 処》

Windows NT4.0をサーバとし、Windows 2000/XP/Windows Server 2003クライアントの環境や、Windows NTかクライアントの環境で管理者以外でログオンして、メッセージ連携サービスを登録しようとすると表示されます。〔OK〕をクリックし、ネットワークインストールを行ってください。

Windows NT4.0のとき

プリンタドライバをインストール後、管理者権限を持つユーザ名でログオンし、〔Printianavi〕ダイアログからメッセージ連携サービスを開始してください。

Windows 2000/XP/Windows Server 2003のとき

〔オプション〕ダイアログからメッセージ連携サービスを開始してください。このとき、管理者権限を持つユーザ名とパスワードを入力してください。

IP アドレスを設定したら通信ができなくなった

《現 象》

IPアドレス設定ユーティリティ2を使用して、プリンタにIPアドレスを設定したら、通信ができなくなくなった。

《対 処》

IP アドレスを設定したときの値が正しくないと、通信は行えません。プリンタのオペレータパネルを操作して LAN 設定を初期化し、設定し直してください。
LAN 設定の初期化は、次の操作で行います。

① オペレータパネルの「メニュー」スイッチを押し、プリンタをセットアップモードにします。
②「◀」スイッチを 2 回押し、「ショキカ」と表示させます。
③「▼」スイッチと「▶」スイッチを1回ずつ押し、「LAN ショキカ」と表示させます。
④「▼」スイッチを 1 回押して「セッテイ」と表示させ、「設定」スイッチ、「オンライン」スイッチの順に押します。

「ショキカチュウ」の表示に続いて、「オンライン」と表示されれば、初期化は完了です。

運用時のトラブルシューティング

プリンタを運用中に発生する問題と、その対処方法について説明します。

印刷できない

《現 象》

テスト印刷ができない、あるいはどのアプリケーションからも印刷できない。

《対処１》

プリンタの状態およびケーブル接続を確認します。
次の 4 点を確認してください。

- プリンタの電源が入っていますか。
- パラレルケーブル、USB ケーブル、または LAN ケーブルが正しく接続されていますか。
- プリンタがエラー状態になっていませんか。
  プリンタがエラー状態になっているときは、エラーの原因を取り除き、オンライン状態に戻してください。
- プリンタ切替器を使用していませんか。
  プリンタとの通信が異常となったり、プリンタ故障の原因となったりする恐れがありますので、プリンタ切替器は使用しないでください。

《対処２》

プリンタを LAN ケーブルで接続している場合は、LAN の設定を確認します。
設定の一覧を印刷し、次の点を確認してください。

参照　設定の一覧の印刷方法は、「⑥設定の一覧を印刷する」（30 ページ）参照

Printianavi ネットワークポートモニタを使用、または LPR 印刷のとき

次の３点を確認してください。

・ TCP/IP 設定は「有効」になっていますか。
「無効」の場合は、プリンタのオペレータパネルの操作で「有効」に変更してください。

・ TCP/IP 状態コードは「０」（正常）になっていますか。
「０」以外のときは、それぞれ次の操作を行ってください。
「１」のとき ...... IPアドレスやサブネットマスクの設定に誤りがあります。設定内容を確認してください。
「２」のとき ...... DHCP により TCP/IP 構成情報を取得中です。再度、LAN 設定の一覧を印刷してください。
「３」以上のとき .. DHCP による TCP/IP 構成情報の取得で異常が発生しています。
DHCP サーバの設定を見直すか、プリンタのオペレータパネルの操作で DHCP 自動取得を「解除」し、正しい IP アドレスやサブネットマスクを設定し直してください。

・ IP アドレスは正しく設定されていますか。

本プリンタはCIDR(Classless Inter-Domain Routing)をサポートしていません。IP アドレスのクラスに合ったサブネットマスクを設定してください。

IP アドレスおよび TCP/IP 設定の方法については、「② IP アドレスの設定」（80 ページ）参照

《対処３》

プリンタドライバの設定を確認します。
サーバ共有プリンタに印刷を行っている場合は、サーバ側の設定も同様に確認します。

プリンタドライバの設定画面を開き、次の点を確認してください。
・ 印刷先ポートに接続されていないポートが指定されていないか
・ 別の場所に設置されたプリンタが指定されていないか

参照　『オンラインマニュアル』「第1章　プリンタドライバの機能と利用方法」の「プリンタドライバで設定できる内容」参照

お使いの OS によって、印刷先ポートを確認する画面が異なります。
Windows 95/98/Me のとき ....〔プリンタのプロパティ〕の〔詳細〕ダイアログ
Windows NT4.0/2000/XP/Windows Server 2003 のとき ....〔プリンタのプロパティ〕の〔ポート〕ダイアログ
プリンタを LAN ケーブルで接続している場合は、次の点も確認してください。

・「Printianavi Network Port」で接続のとき

印刷した設定の一覧と、IP アドレス、IPP の設定およびポート番号の設定が一致しているか、確認してください。

それぞれ次のダイアログで確認できます。

IP アドレス（注）.........〔ポートの設定〕

ポート番号 ....〔オプション〕

ポート番号がプリンタの印刷ポート番号と同じか確認してください。設定が異なっている場合は、一致させてください。

また、接続モードが IPP の場合は、次の設定も確認してください。

プリンタの URL ....〔ポートの設定〕

設定の一覧と同じか確認してください。値が空白になっている場合は、「プリンタの IP アドレス /ipp」と設定してください。

プロキシ設定 ....〔プロキシ設定〕

プロキシサーバの設定についてはネットワーク管理者に問い合わせてください。

注：ホスト名を指定している場合は、そのホスト名が使用するIPアドレスで確認してください。

・「LPR Port」で接続のとき

次の２点を確認してください。

- 〔ポート〕ダイアログの〔ポートの構成〕をクリックし、IP アドレスが同じか確認してください。設定が異なっている場合は、一致させてください。
- 〔ポート〕ダイアログの「双方向サポートを有効にする」のチェックをはずし、双方向通信を無効にしてください。

《対処４》

スプーラ上でプリンタまたはドキュメントが停止状態になっていないか、次の手順で確認します。

①〔スタート〕から〔設定〕〔プリンタ〕の順に選択します。

②〔プリンタ〕フォルダから該当するプリンタをダブルクリックします。

③ 表示される画面のタイトルバーや状態に「停止中」または「一時停止」と表示されていないか確認します。

停止状態のときは、〔プリンタ〕メニューおよび〔ドキュメント〕メニューの「一時停止」のチェックをはずします。

《対処５》

双方向通信をサポートした他のプリンタドライバ（XL-2000W、XJ シリーズなど）がインストールされていないか、確認してください。

双方向通信をサポートするプリンタの印刷先を同じプリンタポート（LPT1：）に指定したまま使用すると、印刷が行えない場合があります。

実際に接続していないプリンタの印刷先ポートは、「FILE：」に変更してください。

《対処６》

双方向通信機能をサポートしないプリンタポートを使用していないか確認してください。また、Windows 95/98/Meでプリンタポート（LPT1：）から印刷しているときは、ポートのドライバに問題はないか確認してください。
次の手順で確認します。

①〔プリンタのプロパティ〕で〔詳細〕ダイアログを表示します。
②〔スプールの設定〕をクリックして「このプリンタで双方向印刷をサポートする」と「このプリンタの双方向印刷をサポートしない」のそれぞれの設定でテスト印刷を行います。
「このプリンタの双方向印刷をサポートしない」でのみ印刷できる場合は、ご使用のパソコンのプリンタポートが双方向通信機能をサポートしていないか、ポートドライバに問題があることが考えられます。

ECPプリンタポートが設定されているときは､次の手順でプリンタポートを変更してください。

・Windows 95のとき

①〔スタート〕から〔設定〕〔コントロールパネル〕の順に選択し､〔システム〕をダブルクリックします。
②〔デバイス　マネージャ〕をクリックし､「ポート（COM&LPT)」の「プリンタポート（LPT1)」をダブルクリックします。
③〔ドライバ〕〔ドライバの更新〕の順にクリックします｡「一覧からドライバを選ぶ」を選択し､〔次へ〕をクリックします。
④「すべてのハードウェアを表示」を選択し､製造元の一覧から「スタンダードポート」を選択し､モデルの一覧から「プリンタポート」をダブルクリックして、画面の指示に従って操作します。

Windows 95でプリンタポートを変更しても問題が解決しない場合は､Windows 95の修正モジュール等を適用し､プリンタポートのドライバファイル「LPT.VXD」を更新してください。

・Windows 98のとき

①〔スタート〕から〔設定〕〔コントロールパネル〕の順に選択し､〔システム〕をダブルクリックします。
②〔デバイス　マネージャ〕をクリックし､「ポート（COM/LPT)」の「プリンタポート（LPT1)」をダブルクリックします。
③〔ドライバ〕〔ドライバの更新〕の順にクリックします。
ウィザードの最初の画面では〔次へ〕をクリックします。
④「特定の場所にあるすべてのドライバの一覧を作成し､インストールするドライバを選択する」を選択して〔次へ〕をクリックします。
⑤「すべてのハードウェアを表示」を選択し､製造元の一覧から「(標準ポート)」を選択し､モデルの一覧から「プリンタポート」を選択して〔次へ〕をクリックします。
以降は画面の指示に従って操作してください。

- Windows Meのとき
  ①〔スタート〕から〔設定〕〔コントロールパネル〕の順に選択し、〔システム〕をダブルクリックします。
  ②〔デバイス　マネージャ〕をクリックし、「ポート（COMとLPT）〕の〔プリンタポート（LPT1）」をダブルクリックします。
  ③〔ドライバ〕〔ドライバの更新〕の順にクリックします。
  ウィザードの最初の画面で「ドライバの場所を指定する（詳しい知識のある方向け）」を選択し、〔次へ〕をクリックします。
  ④「特定の場所にあるすべてのドライバの一覧を作成し、インストールするドライバを選択する」を選択して〔次へ〕をクリックします。
  ⑤「すべてのハードウェアを表示」を選択し、製造元の一覧から「（標準ポート）」を選択し、モデルの一覧から「プリンタポート」を選択して、〔次へ〕をクリックします。
  以降は画面の指示に従って操作してください。

《対処7》

IPP印刷時に双方向通信のサポートが有効になっているか確認してください。

プロキシサーバを経由したIPP印刷では、プロキシサーバの種類によっては、片方向通信での印刷が正常に行えない場合があります。双方向通信機能を有効にして印刷を行ってください。

双方向通信機能を有効にしても印刷できない場合は、プロキシサーバの設定が正しいか確認してください。

《対処8》

給紙トレイにセットした長尺紙が推奨用紙か確認してください。
幅297㎜以外の長尺紙がセットされている場合は印刷できません。長尺紙に印刷する場合は幅が297㎜のものをご用意ください。

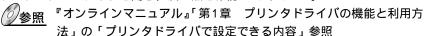
Printianaviのメッセージが表示されない

《現 象》

印刷は行えるが、印刷を行ったパソコンにPrintianaviのメッセージが表示されない。

《対 処》

〔プリンタのプロパティ〕を開き、次の点を確認してください。

『オンラインマニュアル』「第1章　プリンタドライバの機能と利用方法」の「プリンタドライバで設定できる内容」参照

- Printianaviに対応していないプリンタドライバを使用していませんか。
  OS添付のプリンタドライバやエミュレーションモード（ESC/P）で印刷している場合は、Printianavi機能は使用できません。
  また、古い機種用のPrintia XLドライバでは、新しいプリンタやPrintianavi機能に対応していないことがあります。
  添付のCD-ROMに収められたプリンタドライバを使用してください。

- LPR Port印刷ではありませんか。
  Windows 95/98/Meは〔詳細〕ダイアログ、Windows NT4.0/2000/XP/Windows Server 2003は〔ポート〕ダイアログで印刷先のポートがLPR Portの場合は、Printianavi機能は使用できません。

- メッセージ連携サービスは、サーバとクライアントの両方で開始されていますか。
  〔オプション〕ダイアログからメッセージ連携サービスを開始してください。

・Printianavi のメッセージを表示する設定になっていますか。
〔Printianavi〕ダイアログの「印刷中のステータス表示」「ステータスを最前面にする」「印刷の終了を通知する」の設定を確認してください。
参照　詳細は、プリンタドライバのヘルプ参照

・ステータスとメッセージの通知先の設定を別のパソコンに指定していませんか。
〔Printianavi〕ダイアログで〔オプション〕をクリックすると表示される画面の「ステータスの表示先」に、「コンピュータを指定」で指定したパソコンにメッセージが表示されている場合は、「このコンピュータ」に変更してください。

・双方向通信機能をサポートする設定になっていますか。
Windows 95/98/Me のとき ....〔詳細〕ダイアログの〔スプールの設定〕をクリックします。「このプリンタで双方向通信機能をサポートする」を選択します。
Windows NT4.0/2000/XP/Windows Server 2003 のとき .....〔ポート〕ダイアログの「双方向サポートを有効にする」のチェックがはずれている場合はチェックします。

・ネットワークインストールしたプリンタの印刷先をローカルポートに変更していませんか。
サーバ共有プリンタに印刷するためにネットワークインストールしたプリンタドライバの印刷先ポートをローカルポートに変更すると、双方向通信機能が動作しないため、Printianavi 機能が使用できなくなります。
印刷先をローカルポートに変更するときは、新たにローカルプリンタとしてプリンタドライバをインストールし直してください。

・Windows NT4.0/2000/XP/Windows Server 2003 で区切りページを指定していませんか。
本プリンタでは Windows NT4.0/2000/XP/Windows Server 2003 の区切りページファイル（*.sep）の印刷をサポートしていません。また、Printianavi 機能が正常に動作しなくなりますので、お使いにならないでください。

サーバ共有プリンタに印刷を行っている場合は、次の点を確認してください。
・サーバの OS が Windows 95/98/Me/NT4.0/2000/XP/Windows Server 2003 以外ではありませんか。
Printianavi は Windows 95/98/Me/NT4.0/2000/XP/Windows Server 2003 対応です。
また、クライアントが Printianavi 対応でも、Printianavi に対応していないサーバの共有プリンタに印刷の際は、Printianavi 機能はお使いになれませんのでご了承ください。

・Windows NT4.0 のサーバから Windows 2000/XP/Windows Server 2003 のクライアントにプリンタドライバをネットワークインストールしていませんか。
この場合〔ポート〕ダイアログの「双方向サポートを有効にする」のチェックがグレイアウトされ、Printianavi 機能が正常に動作しません。
プリンタドライバを削除し、インストールし直してください。
参照　「プリンタドライバの削除」（147 ページ）参照
「ポート変更による方法」（117 ページ）参照

・Windows NT4.0 の Spooler サービスの設定で、「デスクトップとの対話をサービスに許可」がチェックされているか確認してください。
チェックされていない場合、印刷中のステータスや、エラーメッセージ、プリンタ状態表示、プリンタ状態を設定値に反映するなどの機能が正常に行われません。
Spooler サービスの「デスクトップとの対話をサービスに許可」をチェックすると正常に機能します。

① 〔スタート〕-〔設定〕-〔コントロールパネル〕の順に選択し、「サービス」をダブルクリックする

② 〔サービス〕ダイアログで、「Spooler」を選択し、〔スタートアップ〕をクリックする
③ 「システムアカウント」を選択し、「デスクトップとの対話をサービスに許可」をチェックした後、〔OK〕をクリックする
④ 〔停止〕をクリックし、Spooler サービスを停止する
⑤ 〔開始〕をクリックし、Spooler サービスを開始する
⑥ 〔閉じる〕をクリックする

プリンタの状態の表示や反映が行えない

《現 象》

プリンタドライバの設定画面から「プリンタ状態表示」が行えない。また、「プリンタ状態を設定値に反映する」で情報の取得に失敗してしまう。

《対 処》

印刷中の状態表示や印刷完了通知など Printianavi のメッセージ通知も正常に行われない場合は、「Printianavi のメッセージが表示されない」（216 ページ）を参照してください。

「プリンタ状態表示」および「プリンタ状態を設定値に反映する」でのみ問題が発生する場合は、次の点を確認してください。

・ プリンタのモデルが異なるプリンタドライバを使用していませんか。
　プリンタドライバはプリンタモデルにあったものを使用してください。
・ プリンタドライバを更新せずにPrintianavi ネットワークポートモニタのみ新しいものをインストールていませんか（Windows 2000/XP/Windows Server 2003）
　参照　「旧バージョン・レベルとの混在運用について」（225 ページ）および「プリンタドライバの削除」（147 ページ）参照

・Windows NT4.0 の Spooler サービスの設定で、「デスクトップとの対話をサービスに許可」がチェックされているか確認してください。
　チェックされていない場合、印刷中のステータスや、エラーメッセージ、プリンタ状態表示、プリンタ状態を設定値に反映するなどの機能が正常に行われません。Spooler サービスの「デスクトップとの対話をサービスに許可」をチェックすると正常に機能します。

① 〔スタート〕-〔設定〕-〔コントロールパネル〕の順に選択し、「サービス」をダブルクリックする
② 〔サービス〕ダイアログで、「Spooler」を選択し、〔スタートアップ〕をクリックする
③ 「システムアカウント」を選択し、「デスクトップとの対話をサービスに許可」をチェックした後、〔OK〕をクリックする
④ 〔停止〕をクリックし、Spooler サービスを停止する
⑤ 〔開始〕をクリックし、Spooler サービスを開始する
⑥ 〔閉じる〕をクリックする

印刷結果がプリンタドライバの設定と違う

《現 象》

アプリケーションから印刷を行ったが、印刷結果がプリンタドライバで設定した内容と違っている。

《対 処》

アプリケーションソフトによっては、データ保存時に印刷に関する設定（プリンタドライバの設定を含む）を保存します。

このため、アプリケーションソフト側から変更するまで、保存してある設定値で印刷されることがあります。また、アプリケーション側で部数や用紙サイズなどを設定するものもあります。
このような場合は、〔プリンタのプロパティ〕（Windows 95/98/Me）や〔印刷設定〕（Windows 2000/XP/Windows Server 2003）、〔ドキュメントの既定値〕（Windows NT4.0）で設定を変更しても反映されません。

印刷する文書を開いたアプリケーション側でプリンタ設定のプロパティを開いて、設定を変更してください。

参照　『オンラインマニュアル』「第1章　プリンタドライバの機能と利用方法」の「プリンタドライバで設定できる内容」参照

給紙トレイから印刷後、エラーまたは警告が表示される

《現 象 1》

給紙トレイから印刷後、用紙サイズ不一致のエラーメッセージまたは警告が表示される。

《対 処》

給紙トレイにセットされている用紙が、プリンタドライバで指定した用紙サイズと一致しているか確認してください。プリンタドライバでの指定と実際にセットされている用紙が合っていないと、印刷後にエラーまたは警告が表示されます。
給紙トレイから印刷するときは、プリンタドライバで指定したサイズの用紙がセットされていることを確認してください。

《現 象 2》

ユーザ定義指定で印刷後、用紙サイズ不一致のエラーメッセージが表示される。

《対 処》

プリンタドライバの〔印刷オプション〕ダイアログにある「定型用紙のサイズをチェックする」のチェックを外すと、エラーメッセージを表示せずに印刷することができます。ただし、印刷速度が遅くなることがあります。

お願い

印刷を行う際には、必ずプリンタドライバで指定した用紙サイズに合った用紙を給紙トレイ、および給紙カセットにセットしてください。
プリンタドライバで指定した用紙サイズより幅の狭い用紙を給紙トレイ、および給紙カセットにセットして印刷を行うと、定着器が過熱し、損傷する可能性があります。

Printia LASER Internet Serviceが正しく動作しない、またはエラー表示される

Printia LASER Internet Serviceが起動時または起動中に、次のような状態になってしまう。

《現 象1》

Printia LASER Internet Serviceの画面が表示されない、または画面の一部が表示されない。

《対 処》

次の点を確認してください。

- プリンタに電源が入っていますか。
- LANケーブルは正しく接続されていますか。
- Webブラウザに入力したURLは正しいですか。
  Printia LASER Internet Serviceを表示するときのURLは「http://」＋「プリンタのIPアドレス」または「http://」＋「ホスト名＋ドメイン名」を指定します。
  プリンタのURLに指定したIPPプリンタ名（「/」以降）は指定しないでください。

また、設定の一覧を印刷し、次の点も確認してください。

- プリンタにIPアドレスが正しく設定されていますか。
  URLに「ホスト名＋ドメイン名」を指定した場合はDNSサーバの設定も正しいか確認してください。
- TCP/IP設定は「有効」になっていますか。
  「無効」の場合は、プリンタのオペレータパネルの操作で「有効」に変更してください。
- Netscape 6.xを「通常使うブラウザ」に設定している環境で、Printianavi ネットワークマネージャから〔ブラウザで状態を表示〕機能を使用すると、次の現象が発生することがあります。
  - 「ブラウザの起動に失敗しました」とメッセージが表示される
    Printia LASER Internet Serviceの動作に問題はありません。メッセージダイアログを閉じてください。
  - Internet Explorerが起動していると、Printia LASER Internet Serviceが表示されない
    Internet Explorerを閉じてから、再度〔ブラウザで状態を表示〕を実行してください。

《現 象2》

設定が反映されない、または〔設定〕が表示されない。

《対 処》

次の点を確認してください。

- サポート外のWebブラウザを使用していませんか
  Netscape 4.0以上またはInternet Explorer 4.0以上の製品版ブラウザをお使いください。
- WebブラウザがJavaScriptの使用を禁止する設定になっていませんか
- 〔設定〕をクリックする前に他の情報（ページ）を表示していませんか

設定は各情報（ページ）ごとに行ってください。また、設定中に他の情報（ページ）に切り替えると切り替え前の設定値は反映されませんのでご注意ください。

《現 象 3》

設定中にエラーが表示された、または設定後の表示が「プリンタリセット中...」のままになる。

《対 処》

エラーメッセージが表示されている場合は、メッセージの内容に従って対処してください。

設定後の表示が「プリンタリセット中...」のままの場合は、プリンタリセット中にプリンタの電源が切断されるなどで通信が行えなくなったことが考えられます。プリンタの電源やネットワーク接続を確認後、一度 Web ブラウザを終了し、キャッシュをクリアしてから再度表示しなおしてください。

消耗品の交換を通知する E メールが送信されない

《現 象》

消耗品の交換時期になっても、E メールが送信されない。

《対 処 1》

DHCP環境で運用している場合、電源投入直後はプリンタがIPアドレスを取得できないことがあります。この場合、電源投入直後に検出した交換情報は通知できません。再送待ち時間後（30 分）に発信されます。

《対 処 2》

E メールの設定が正しいか確認してください。送信元アドレス、送信先アドレスは、@ 以下を含むアドレスすべてを指定する必要があります。

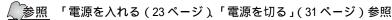
USBインタフェースのときにプリンタが検出されない

《現象》

USB インタフェースでプリンタドライバをインストールする場合に、新しいハードウェアが検出されない。(Windows 98/Me)

《対処》

次の点を確認してください。

- プリンタの電源は入っていますか
  プリンタの電源を入れてください。

- Windows 95/3.1 から Windows 98/Me にアップグレードしましたか
  Windows 95/3.1 から Windows 98/Me にアップグレードしたパソコンでは動作保証できません。
  Windows 98/Me をクリーンインストールしたパソコンを使用してください。
  参照 「USB による接続とインストール」（58 ページ）参照
- パソコンは USB に対応していますか
  デバイスマネージャで USB コントローラが表示されるか確認してください。
  参照 「USB による接続とインストール」（58 ページ）参照

トラブル編

11

・USB ケーブルの規格は合っていますか
USB 1.1 に準拠したケーブルを使用してください。
参照　「USB インタフェース仕様とコネクタピン配列」（231 ページ）、
「プリンタケーブル」（36 ページ）参照

・USB ケーブルは正しく接続されていますか
USB ケーブルが正しく接続されているか確認してください。
参照　「USB による接続とインストール」（58 ページ）参照

ポートが追加できない

《現象 1》

Windows NT4.0 で、CD-ROM の「ネットワークでプリンタを使う」からインストールを行い、ポートを追加しようとすると、ダイアログでメッセージ表示され、ポートが追加されない。

《現象 2》

Windows NT4.0 で、Printianavi ネットワークポート管理からポートを追加しようとしたらメッセージが表示され、ポートが追加されない。

《対処》

WindowsNT4.0 の Spooler サービスの設定で「デスクトップとの対話をサービスに許可」がチェックされていないと上記のエラーメッセージが表示され、ポートが追加できません。以下の手順に従い、「デスクトップとの対話をサービスに許可」をチェックし、再度ポートの追加を行ってください。

①〔スタート〕-〔設定〕-〔コントロールパネル〕の順に選択し、「サービス」をダブルクリックする
②〔サービス〕ダイアログで、「Spooler」を選択し、〔スタートアップ〕をクリックする
③「システムアカウント」を選択し、「デスクトップとの対話をサービスに許可」をチェックした後、〔OK〕をクリックする

ガイド　ポートの追加およびポートを構成した後に、Spoolerサービスの設定を元に戻す場合は、「デスクトップとの対話をサービスに許可」のチェックを外してください。

④〔停止〕をクリックし、Spooler サービスを停止する
⑤〔開始〕をクリックし、Spooler サービスを開始する
⑥〔閉じる〕をクリックする
参照　「ネットワークポートの追加」（139 ページ）参照

ソフトウェアに関する留意事項

ここでは、本プリンタ添付のソフトウェアをご使用になる際の留意事項について説明します。

他の Windows OS から Windows 2000 へアップグレードする場合

Windows 95/98/Me や、Windows NT4.0 などから Windows 2000 へアップグレードする場合、 XL プリンタドライバおよびXL プリンタ関連ソフトウェア(ネットワークポートモニタなど)をあらかじめ削除（アンインストール）してください。Windows 2000へアップグレード後、再インストールしてください。

削除（アンインストール）を行わずに Windows 2000 にアップグレードした場合に発生する可能性がある問題、および対処について、以下で説明しますので参照してください。

● プリンタドライバ

プリンタドライバがインストールされた状態でWindows 2000へのアップグレードを行うと、Windows 2000 添付のドライバに置き換わることがあります。
この状態では、Printia XL ドライバが提供している機能が使用できません。
〔プリンタ〕フォルダ、〔サーバのプロパティ〕の〔ドライバ〕リスト、〔デバイスマネージャ〕(表示された場合のみ）から XL プリンタを削除し、パソコンの再起動後、再度インストールを行ってください。
参照　「プリンタドライバの削除」(147 ページ）参照

● Printianavi ネットワークポートモニタ

ネットワークポートモニタがインストールされた状態で Windows 2000 へのアップグレードを行うと、Printianavi のポート（Printianavi Network Port）が新規に作成できなくなります。
また、ネットワークポートモニタの上書きインストールもできませんので、アンインストールを行ってから再度最新版のネットワークポートモニタをインストールしてください。

Windows 2000/XP/Windows Server 2003 環境で使用時の留意事項

インストール、アンインストール時の注意事項

Windows 2000/XP/Windows Server 2003 環境で「Printia LASER プリンタユーティリティ」CD-ROM に納められている各種ソフトウェアをインストールまたはアンインストールする際は、管理者権限でログオンしてください。
一般ユーザでログオンした状態では、インストール先のフォルダ等へのアクセス権限がないため、正しくインストールまたはアンインストールできない場合があります。
一般ユーザでインストールまたはアンインストールを行って正常に動作しなくなった場合は、管理者権限でログオンし、同一フォルダに上書きインストール後、再度操作してください。

ネットワーク経由でのドライバインストールについて

クライアント／サーバ運用で、クライアントに Windows 2000、サーバに Windows NT4.0を使用した場合、サーバ(Windows NT4.0)のプリンタをネットワーク経由でインストールすると、〔ポート〕タブの「双方向サポートを有効にする」のチェックがグレイアウトされ、Printianavi 機能が正常に機能しません。
また、クライアントに Windows 2000、サーバにWindows 95/98/Meを使用した場合、ネットワークインストールを行っても途中で失敗します。
上記の環境では、ネットワーク経由でインストールせず、直接クライアントにローカルポートを選択してプリンタドライバをインストール後、印刷先のポートを共有プリンタのネットワークパスに変更してください。

Windows 2000/Windows Server 2003 クラスタ環境について

Windows 2000/Windows Server 2003 クラスタ環境での動作は保証していません。

ACPI の動作について

本プリンタとパソコンが通信中の場合は、パソコンがACPIによるスタンバイ／休止状態に移行できないため、次のメッセージが表示されます。

パソコンをスタンバイ／休止状態に移行させる場合は、以下の内容を確認し、通信を行っていない状態になってから、再度スタンバイ／休止状態の設定を行ってください。

プリンタを他のパソコン（クライアント）と共有している場合は、使用しているパソコン（クライアント）側からも通信を行わないようにしてください。

- **印刷中のとき**
  印刷が終了するまでお待ちください。
- **プリンタドライバの設定画面（プリンタのプロパティ）を開いているとき**
  プリンタドライバの設定画面（プリンタのプロパティ）を閉じてください。

なお、サーバがスタンバイ／休止状態のとき、クライアントからサーバの共有プリンタの状態を表示または取得しようとすると、エラー表示になったり、正しい状態が表示されなくなったりします。このときは、次の操作を行ってください。

- **プリンタドライバの設定画面の〔プリンタ状態表示〕または〔プリンタ状態を設定値に反映する〕でエラーになったとき**
  エラー表示の画面を閉じ、サーバが通常状態に復帰した後に再度操作してください。

旧バージョン・レベルとの混在運用について

XL-6010/5810/5710/5510/5310、XL-6700/6100/5730/5720/5340/5330/5320およびXL-6200/5750/5350を混在して運用する場合、ソフトウェアの組み合わせにより、動作に不具合が生じる可能性があります。お使いのソフトウェアのバージョン・レベルを確認のうえ、最新版CD-ROMに添付のバージョン以降に更新してください。

とくに注意が必要な組み合わせ

とくに注意が必要な組み合わせについて説明します。

● Printianavi ネットワークポートモニタとプリンタドライバ

- Windows 2000環境でPrintianavi ネットワークポートモニタ V7.1L10をインストールする際は、プリンタドライバを必ず最新版に更新してください。古いプリンタドライバと組み合わせると、プリンタの状態を正しく取得できません。
- Printianavi ネットワークポートモニタV7.1L10の持つIPP印刷機能は、XL-6200/5750/5730/5350/5340/5330との組み合わせで使用できます。

● Printianavi ネットワークマネージャと対応プリンタ

サポート対象プリンタはXL-5310/5320/5330/5340/5350/5710/5720/5730/5750/6010/6100/6200/6700です。

XL-5310/5320/5330/5340/5710/5720/5730/6010/6100/6700では、「プリンタ情報」ダイアログのステータス情報表示は、簡易表示となります。エラー時に、用紙サイズ、給紙カセット位置、カバーの種類は表示されません。

トラブル編

11

更新時の注意事項

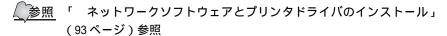
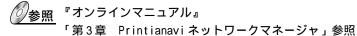
各ソフトウェアを更新する際の注意事項について説明します。

● Printianavi ネットワークポートモニタ

Printianavi ネットワークポートモニタの更新（上書きインストール）は、通常のインストールと同じ手順で行います。ただし、次の点に注意してください。

- Printianavi Network Port を印刷先に設定しているプリンタがある場合は、印刷先を一時的に別のポートに変更してください。
- Windows 起動後、一度も印刷を行っていない状態でインストールを行ってください。

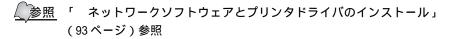
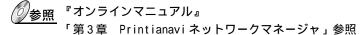
参照　「④ネットワークソフトウェアとプリンタドライバのインストール」（93 ページ）参照

参照　『オンラインマニュアル』
「第 3 章　Printianavi ネットワークマネージャ」参照

● Printianavi ネットワークマネージャ

Printianavi ネットワークマネージャの更新（上書きインストール）は、通常のインストールと同じ手順で行います。

- Printianavi ネットワークマネージャが起動されている場合は、終了させてからインストールを行ってください。

参照　「④ネットワークソフトウェアとプリンタドライバのインストール」（93 ページ）参照

参照　『オンラインマニュアル』
「第 3 章　Printianavi ネットワークマネージャ」参照

旧バージョンのプリンタドライバ・インストール時の注意事項

XL-6200のプリンタドライバがインストールされている環境に、旧バージョンのプリンタドライバをインストールすると、「バージョンの競合」ダイアログボックスが表示され、既存のファイルをそのまま使用するかどうかの選択を求められます。この場合、「はい」を選択してください。

付録

ここでは、プリンタを使用する際に補助的に必要となることがらについて説明します。

プリンタの仕様

基本仕様

以下に、プリンタの仕様を示します。

印刷方式	電子写真方式
印刷速度	連続コピー最大 36 ページ／分（A4 サイズ横送り） 最大 18 ページ / 分（1200dpi 選択時、A4 サイズ横送り） 両面印刷時　最大 30.5 ページ / 分（A4 サイズ横送り） 最大 15 ページ / 分（1200dpi 選択時、A4 サイズ横送り）
エンジン解像度	1200dpi（半速、メモリ増設時）/600dpi
スムージング処理	スーパー FEIT(Fujitsu Enhanced Image Technology)
用紙サイズ	・給紙カセット：A3、B4、A4、B5、A5、リーガル、レター ・給紙トレイ：A3 ～ A5、官製はがき、リーガル、レター、不定形、長尺紙
給紙方式 *1	・給紙カセットによる自動給紙 (収容枚数 500 枚、拡張給紙ユニット使用時最大 1,500 枚) ・給紙トレイによる自動給紙 (収容枚数 200 枚（はがき 75 枚）)
排紙方法 *1	フェースダウンスタッカ（スタック枚数 500 枚）
使用環境条件	温度 10°C～ 32°C 湿度 15%～ 85%RH(ただし結露しないこと)
電源・電源周波数	AC100V ± 10%、50/60 Hz
消費電力	動作時　1100 W以下、節電時 *4　20 W
騒　音	待機時 35dB(A)、動作時 53dB(A)（フルオプション 58dB(A)）
外形寸法	幅 490㎜、奥行き 585㎜、高さ 395㎜（給紙カセット装着時）
質　量	約 25kg（消耗品、オプションを除く）
インタフェース	IEEE P1284 双方向パラレルポート USB1.1 準拠 USB インタフェース 100Base-TX/10Base-T LAN ポート
プリンタシーケンス *2	XL プリンタドライバ、ESC/P
文字・書体	ESC/P　明朝体　40 ドット文字
耐用期間 *3	5 年 (8 時間 / 日) または 60 万ページ印刷 (A4 サイズ横送り) のいずれか早い方

*1：収容枚数は64g/㎡にて換算
*2：データ処理解像度
- XLプリンタドライバ：1200dpi/600dpi/300dpi（スーパーFEIT：2400×600dpi相当）
- ESC/P：300dpi（スーパーFEIT：2400×600dpi相当）

*3：
- 耐用期間は、プリンタの設置環境・使用頻度により大幅に変動します。
- 累積使用時間は、24時間運用の場合も同一です。
- A4より大きく長い用紙を使用する場合は、耐用期間が60万ページより短くなります。
- 耐用期間中でも次の部品は磨耗するため、交換することをお勧めします。部品の交換は、ハードウェア修理相談センター（253ページ参照）にご連絡ください。なお、交換は有償です。

寿命部品	交換目安
定着器	10万ページ
フィードローラ	20万枚印刷
リタードパッド	20万枚印刷

＊片面印刷時　1枚＝1ページ
＊両面印刷時　1枚＝2ページ

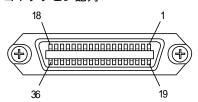
*4：節電モードになってから30分間は20W、30分以降は約12Wとなります。

付

インタフェース仕様

パソコンとのインタフェースは、パラレルインタフェースおよびUSBインタフェースを採用しています。

パラレルインタフェース仕様とコネクタピン配列

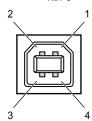
・基本仕様
　IEEE P1284に準拠した双方向パラレルインタフェース
・インタフェースコネクタ
　プリンタ側：36極コネクタ(メス)　アンフェノール　57-40360相当品
　ケーブル側：36極コネクタ(オス)　アンフェノール　57-30360相当品
・ケーブル
　最長1.5m以下のケーブルを使用してください。
　(雑音対策にはツイストペア線を使用し、シールドされていること。)
・信号レベル
　LOW：0.0V～＋0.4V　HIGH：＋2.4V～＋5.0V
・データ転送方式
　８ビットパラレル
・コネクタピン配列

インタフェースコネクタ(36ピン)

ピン番号	信号名称	発信元
1	＊Strobe	パソコン
2	Data 1	パソコン
3	Data 2	パソコン
4	Data 3	パソコン
5	Data 4	パソコン
6	Data 5	パソコン
7	Data 6	パソコン
8	Data 7	パソコン
9	Data 8	パソコン
10	＊Ack	プリンタ
11	Busy	プリンタ
12	PError	プリンタ
13	Select	プリンタ
14	＊AutoFd	パソコン
15	—	—
16	SG	—
17	FG	—
18	+5VSignal	プリンタ

ピン番号	信号名称	発信元
19	-RET	—
20	-RET	—
21	-RET	—
22	-RET	—
23	-RET	—
24	-RET	—
25	-RET	—
26	-RET	—
27	-RET	—
28	-RET	—
29	-RET	—
30	-RET	—
31	＊Init	パソコン
32	＊Fault	プリンタ
33	-RET	—
34	—	—
35	—	—
36	＊SelectIn	パソコン

注）“＊”は、負論理信号であることを示します。
　　-RET信号は、すべてSGに接続されています。

USB インタフェース仕様とコネクタピン配列

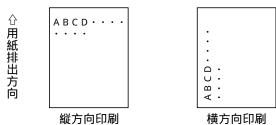
- 基本仕様
  USB 仕様の Revision1.1 準拠
- インタフェースコネクタ
  プリンタ側：B レセプタクル（メス）
  ケーブル側：アップストリームポート
- ケーブル
  XL-CBLU1 または、5 m以下の USB 仕様 Revision1.1 以上に適合したケーブル（雑音対策にはツイストペア線を使用し、シールドされていること。）
- 伝送モード
  フルスピード（最大 12Mbps）
- 電力制御
  セルフパワーデバイス
- USB ピン配列

ピン番号	信号名称	機能
1	vbus	電源（+5v）
2	D-	データ転送用
3	D+	データ転送用
4	GND	信号グランド

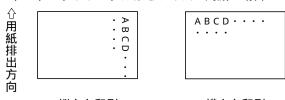
付

用紙関係

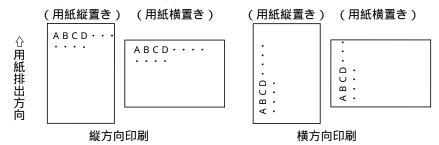
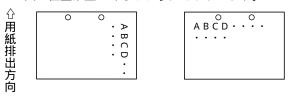
本プリンタは、給紙カセットと給紙トレイを使い分けることによって、いろいろな用紙を使うことができます。以下に、それぞれの給紙方法と用紙サイズとの対応を示します。

印刷方向

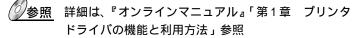
・A3、B4、リーガル、長尺紙サイズの用紙の場合

縦方向印刷　　横方向印刷

・A4、A5、B5、レター、はがきサイズの用紙の場合

縦方向印刷　　横方向印刷

・ユーザ定義サイズの用紙の場合

縦方向印刷　　横方向印刷

とじ穴のあるＡ４サイズの用紙を使用する場合は､｢印刷方向｣の指定に合わせてとじ穴の位置が正しくなるようにセットします。

左とじの場合　　上とじの場合

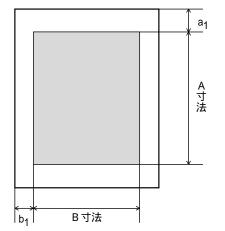
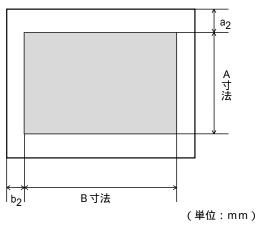
用紙方向、印刷の向きに関する設定は、プリンタドライバで設定できます。

参照　詳細は、『オンラインマニュアル』「第１章　プリンタドライバの機能と利用方法」参照

印刷可能領域

本プリンタで印刷できる、各用紙サイズの印刷可能領域は次のとおりです。

［印刷方向：縦］

［印刷方向：横］

（単位：mm）

● Printia XL ドライバ使用時

a_1=a_2=5mm、b_1=b_2=5mm

用紙方向	用紙サイズ	A 3	B 4	A 4	B 5	A 5	リーガル	レター	はがき
縦方向	A寸法	410	354	287	247	200	346	270	138
	B寸法	287	247	200	172	138	206	206	90
横方向	A寸法	287	247	200	172	138	206	206	90
	B寸法	410	354	287	247	200	346	270	138

● ESC/P モード使用時

a_1=a_2=8.5mm または 22mm(はがき:10mm)、b_1=b_2=5mm

用紙方向	用紙サイズ		A 3	B 4	A 4	B 5	A 5	リーガル	レター	はがき
縦方向	A寸法	8.5mm 時	399.5	343.5	276.5	236.5	189.5	335	259	128
		22mm 時	386	330	263	223	176	321.5	245.5	128
	B寸法		287	247	200	172	138	206	206	90
横方向	A寸法	8.5mm 時	276.5	236.5	189.5	161.5	127.5	195	195	78.5
		22mm 時	263	223	176	148	114	182	182	78.5
	B寸法		410	345	287	247	200	345	269	138

メニューモードの項目一覧

メニューモードで設定できる項目の一覧を次の表に示します。設定値および範囲の値の前の「＊」は、工場出荷時に登録される初期値を示します。

参照　メニューモードの操作、および各項目の機能については、『オンラインマニュアル』「第７章　オペレータパネルの操作」の「オペレータパネルからの設定(メニューモード)」参照

メニュー	設定項目1	設定項目2	設定値
メニュー印刷	設定の印刷		
IPアドレス設定(*1)	DHCP自動取得		＊ 設定
			解除
	IPアドレス(*2) XXX.XXX.XXX.XXX		
	サブネットマスク(*2) XXX.XXX.XXX.XXX		
	ゲートウェイ(*2) XXX.XXX.XXX.XXX		
LAN設定	MACアドレス		
	Ethernetタイプ		＊ 自動
			100Mbps Full
			100Mbps Half
			10Mbps
	TCP/IPプロトコル		＊ 有効
			無効
	ポート番号(*1)	印刷ポート番号	XXXX
		検索ポート番号	XXXX
ポート設定	パラレルポート設定	双方向モード	＊ 設定
			解除
		INIT受信	＊ 有効
			無効
		タイムアウト時間	XX秒
	USBポート設定	双方向モード	＊ 設定
			解除
		タイムアウト時間	XX秒
環境設定	パワーセーブ		＊ 設定
			解除
	パワーセーブ時間		＊ 30分
			60分
			1分
			15分
	ブザー		＊ 設定
			解除
	タッチ音		＊ 設定
			解除
	印字濃度調整		××
	エミュレーション設定		＊ 解除
			ESC/P

*1：「TCP/IP プロトコル」が「無効」のときは、表示されません。
*2：「DHCP 自動取得」が「設定」のときは、表示されません。

メニュー	設定項目1	設定項目2	設定値
印刷設定	給紙口		＊ カセット1
			カセット2(*3)
			カセット3(*3)
			給紙トレイ
	給紙トレイサイズ		＊ A4
			B5
			A5
			リーガル
			レター
			ハガキ
			不定形
			A3
			B4
	不定形サイズ	不定形縦	×××mm
		不定形横	×××mm
	両面印刷(*5)		＊ 解除
			設定
	印刷方向(*4)		＊ 縦
			縦余白
			横
			横余白
	縮小印刷(*4)		＊ 100%
			75%
			70%
			リスト印刷A4
			リスト印刷B4
	コピー枚数(*4)		××枚
	綴じしろ方向(*4)		＊ 長辺綴じ
			短辺綴じ
	綴じしろモード(*4)		＊ 左/上綴じ
			右/下綴じ
	綴じしろ量(*4)	表	××mm
		裏(*5)	××mm
	スムージング(*4)		＊ 設定
			解除
	トナーセーブ(*4)		＊ 解除
			設定
	データなし印刷(*4)		＊ 解除
			設定
	タイマー監視印刷(*4)		＊ 解除
			30秒
			10秒

*3：拡張給紙ユニット（オプション）を取り付けているとき表示します。
*4：「エミュレーション設定」で「解除」を選択している場合は、表示されません。
*5：両面ユニットを装着しているときのみ表示されます。

付

メニュー	設定項目1	設定項目2	設定値
EPモード設定(*4)	文字コード		＊ カタカナ
			グラフィック
	給紙位置(*6)		＊ 8.5㎜
			22㎜
	右マージン位置		＊ 用紙幅
			136桁
	ANK文字		＊ ローマン
			サンセリフ
	漢字書体		＊ 明朝
			ゴシック
	CRコード		＊ CRのみ
			CR&LF
	縦余白設定	縦上端余白	××.×㎜
		縦左端余白	××.×㎜
	横余白設定	横上端余白	××.×㎜
		横左端余白	××.×㎜
	印字位置調整	縦印字位置	××.×㎜
		横印字位置	××.×㎜
HEXダンプ印刷(*4)			設定
テスト印刷			ESC/P印刷 (*4)
			H連続
			黒ベタ連続
			白紙連続
			格子連続１
			格子連続２
			格子連続３(*7)
初期化			設定初期化
			LAN初期化
保守モード	印刷枚数		XXXXXページ
	メモリ容量		XXMB
	ROM版数		Ver XX.XX
	エンジンROM版数		Ver X.XX
	エンジンステータス		STATUS XX=XX
	NVコード		XX=XX
	カートリッジステータス		XX=XX
	装置ステータス		XX=XXXXXXXX
	LANステータス		a.bbbb.cccc.dd
	主走査方向位置		XX.X㎜
	副走査方向位置		XX.X㎜
	ソフトスイッチ	ソフトスイッチX-X	＊ OFF
			ON

*4：「エミュレーション設定」で「解除」を選択している場合は、表示されません。
*6：給紙位置が余白の最小値となります。
*7：プリンタRAMモジュール-64MB（オプション）を取り付けているときに表示されます。

メニューモードのときの留意点

ここでは、メニューモードで値を設定するときに、とくに留意していただきたい内容について説明します。

設定の印刷

プリンタおよびLANポートの現在の設定内容を印刷します。印刷は現在指定している方法で行います。A4サイズの用紙を基準とし、A4より小さい用紙がセットされているときは、自動的に縮小して印刷します。ただし、はがき、A5サイズより小さい不定形用紙は印刷できません。印刷した場合は、「サイズフソク　A４　ヲ　イレテクダサイ」と表示されますので、他のサイズに変更して再度印刷してください。
用紙がない場合は「ヨウシ　ナシ」と表示されますので、用紙を補給してください。
印刷を中止する場合は、「リセット」スイッチを押してください。
LAN設定で「TCP/IP」を「無効」にしたとき、LAN設定内容は印刷されません。
また、エミュレーション設定を「無効」にしたときは、エミュレーション設定の内容は表示されません。

次に「設定の印刷」の印刷例を示します。

システム情報

総印刷枚数　＝　１２３４５６７８枚
メモリ容量　＝　８０ＭＢ
ＲＯＭ版数　＝　Ｖｅｒ９９．９９
エンジンＲＯＭ版数　＝　Ｖｅｒ９９．９９
両面ユニット　＝　あり
給紙トレイダイヤル位置　＝　パネルで設定

給紙口情報

給紙トレイ　＝　リーガル
カセット１　＝　リーガル
カセット２　＝　リーガル
カセット３　＝　リーガル

ネットワーク基本情報

IPアドレス設定

ＤＨＣＰ自動取得　＝　解除
ＩＰアドレス　＝　１３２．１６８．　０．１１２
サブネットマスク　＝　２５５．２５５．２５５．　０
ゲートウェイ　＝　０．　０．　０．　０

ＭＡＣアドレス　＝　００００Ｅ８５０００６
Ｅｔｈｅｒｎｅｔタイプ　＝　自動認識(ＸＸＸＭｂｐｓ)
ＴＣＰ／ＩＰ設定　＝　有効
印刷ポート番号　＝　６５５３５
検索ポート番号　＝　６５５３５
ＴＣＰ／ＩＰ動作状態　＝　０
ＬＡＮステータス　＝　１．０１０１．０１０１．０１

付

TCP/IP 設定

IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、および印刷ポート番号、検索ポート番号を設定します。

IP アドレス、サブネットマスク、およびゲートウェイの各項目は、DHCP により自動的に取得するように設定されているため、表示されません。IP アドレス、サブネットマスク、およびゲートウェイをプリンタから設定する場合は、「DHCP 自動取得」を「解除」してください。

TCP/IPの設定を行ってもTCP/IPが正常に動作しない場合があります。このようなときは、メニュー印刷の「設定の印刷」を行い、「TCP/IP 動作状態」（下記の表）および「LAN ステータス」（239 ページ）を確認してください。

TCP/IP 動作状態コードは、次のとおりです。

コード	内容と処置
0	TCP/IP は正常に動作しています。
1	IP アドレス、またはサブネットマスクの設定に誤りがあります。 設定内容が正しいか確認してください。
2	DHCP により TCP/IP 構成情報を取得中です。
3	DHCP による TCP/IP 構成情報の取得要求がタイムアウトしました。 LAN ケーブルが正しく接続されているか、または DHCP サーバの電源が投入されているか確認してください。
4	DHCP による TCP/IP 構成情報のリース更新が拒否されました。 いったん電源を切断し、再び投入してください。
5	DHCP による TCP/IP 構成情報のリース更新要求がタイムアウトしました。 LAN ケーブルが正しく接続されているか、または DHCP サーバの電源が投入されているか確認してください。
6	DHCP により取得した IP アドレスが他のホストで使用されています。 いったん、電源を切断し、再び投入してください。
9	ゲートウェイの設定に誤りがあります。設定内容が正しいか確認してください。

TCP/IP 動作状態コードが 2（構成情報取得中）、または 3（構成情報の取得要求がタイムアウト）の場合でも、Printianavi IP アドレス設定ユーティリティ 2 による IP アドレスの設定を行うことができます。

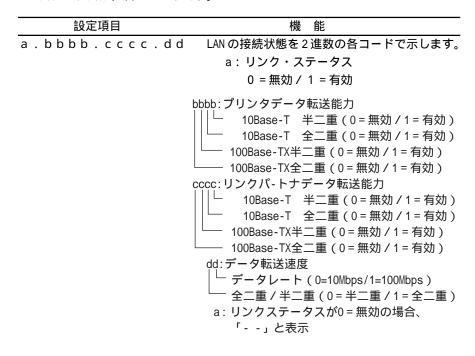
DHCP クライアントの予約について

DHCPによりTCP/IP構成情報を自動的に取得する場合は、本プリンタの電源を再投入しても同じIPアドレスを取得できるようにDHCPサーバにクライアントの予約を行ってください。予約のときに必要となるプリンタのMACアドレスについては、電源投入後、オペレータパネルに表示されるファームロード中(下段)のメッセージを参照(25ページ)、または設定の一覧を印刷してください（30ページ)。

ガイド　「プロトコル」の「TCP/IP」を「無効」にした場合、「TCP/IP設定」は表示されません。

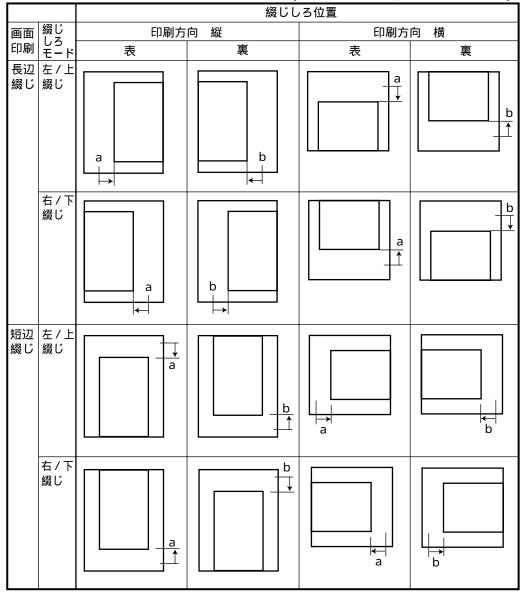
LANステータスは、次のとおりです。

設定項目	機　能
a．bbbb．cccc．dd	LANの接続状態を2進数の各コードで示します。 a：リンク・ステータス 0＝無効／1＝有効 bbbb:プリンタデータ転送能力 10Base-T　半二重（0=無効／1=有効） 10Base-T　全二重（0=無効／1=有効） 100Base-TX半二重（0=無効／1=有効） 100Base-TX全二重（0=無効／1=有効） cccc:リンクパ-トナデータ転送能力 10Base-T　半二重（0=無効／1=有効） 10Base-T　全二重（0=無効／1=有効） 100Base-TX半二重（0=無効／1=有効） 100Base-TX全二重（0=無効／1=有効） dd:データ転送速度 データレート（0=10Mbps/1=100Mbps） 全二重／半二重（0=半二重／1=全二重） a：リンクステータスが0=無効の場合、 「-　-」と表示

付

綴じしろモード（綴じしろ位置）

両面印刷のときの、綴じしろ方向と綴じしろモードの関係は、次のとおりです。

（表綴じしろ量：a、裏綴じしろ量：b）

画面印刷	綴じしろモード	綴じしろ位置 印刷方向　縦 表	綴じしろ位置 印刷方向　縦 裏	綴じしろ位置 印刷方向　横 表	綴じしろ位置 印刷方向　横 裏
長辺綴じ	左／上綴じ	a	b	a	b
	右／下綴じ	a	b	a	b
短辺綴じ	左／上綴じ	a	b	a	b
	右／下綴じ	a	b	a	b

ネットワーク用語の解説

BPP（Business Printer Protocol）

富士通独自の双方向ネットワークプリンタ通信プロトコル（TCP/IP を使用）です。プリンタとの双方向通信により Printianavi のエラー通知やページリカバリ機能をサポートしているので、LPR 印刷に比べて信頼性の高いシステムを構築できます。

DHCP（Dynamic Host Configuration Protocol）

IP アドレスの自動割り付けシステムです。クライアントが TCP/IP 通信を行うときに、必要に応じてサーバから IPアドレスをもらい、通信終了後はサーバに IPアドレスを戻します。

DNS（Domain Name System）

ホスト名からIPアドレスを取得できるようにするサービスを提供するシステムです。

HTTP（HyperText Transfer Protocol）

インターネット上の WWW サーバからデータを送受信するために使用される通信プロトコルです。HTML（HyperText Markup Language）文書や、文書に関連付けされた画像や音声ファイルなどをやり取りすることができます。
IETF（Internet Engineering Task Force）によって RFC として規格化されています。XL シリーズの IPP 対応機種では、HTTP/1.1 をサポートしています。

IPP（Internet Printing Protocol）

RFCとして規格化されたインターネット経由での印刷をサポートした印刷制御プロトコルです。ファイル転送のプロトコル HTTP（HyperText Transfer Protocol）を使用しており、LAN を超えた環境でもアクセスできることが特徴です。XL シリーズでサポートしている IPPは、標準の IPP を拡張することでPrintianavi を使用した双方向通信が可能となっています。

LPR（Line Printer Remote）

TCP/IP 標準の印刷制御プロトコルです。Windows NT4.0/2000/XP/Windows Server 2003 では、UNIX 用印刷サービスまたは TCP/IP 印刷サービスとして標準添付されています。
ただし、双方向通信はサポートしていないため、LPR印刷ではPrintianavi 機能は使用できません。

MIB

SNMPでは、ネットワーク上の各種接続機器の動作状況を監視・管理するための動作状況に関するデータをMIB（Management Information Base : 管理情報ベース）といいます。
本プリンタはMIB-ⅡおよびPrinterMIBをサポートしています。プリンタに添付されているCD-ROMにはPrinterMIBに対応したASN.1形式の「XLprtmib.my」が「MIB」ディレクトリに収録されています。これをSNMP管理マネージャソフトにインストールして使用してください。

RFC（Request For Comments）

インターネットの研究開発機関IETF（Internet Engineering Task Force）がとりまとめている文書群を指します。一般的にはTCP/IPの規格書として知られています。

SNMP

SNMP（Simple Network Management Protocol）とは、ネットワーク上の各種接続機器を管理するためのインターネット標準のプロトコルです。ネットワーク上の各種接続機器がSNMPをサポートしていれば、ワークステーションで動作している汎用のSNMP管理マネージャソフトから、SNMPメッセージを使用することでその接続機器の設定情報であるMIB（Management Information Base : 管理情報ベース）を読み込んだり、逆にそれを設定することで接続機器の集中管理や、接続機器の非同期に起こるエラー発生とその内容を監視することが可能となります。

・SNMPメッセージ

SNMPによるエージェントの管理は以下の5種類のメッセージを使って行われます。

メッセージ種別	説　明	メッセージの送信方向
GetRequest	オブジェクトの値の読み出し要求	マネージャ→エージェント
GetNextRequest	オブジェクトの連続した値の読み出し要求	マネージャ→エージェント
SetRequest	オブジェクトの値の書き込み要求	マネージャ→エージェント
GetResponse	読み出し・書き込み要求に対する応答	エージェント→マネージャ
Trap	例外事象の通知	エージェント→マネージャ

なお、本プリンタではSetRequestはサポートしていません。

プロキシサーバ（Proxy Server）

インターネットとの接続時にセキュリティを確保するために設置されるサーバであり、ネットワーク内のコンピュータの代理で外部へのアクセスを行う機能を持ちます。
ファイアウォールによって外部から守られたネットワーク環境においては、ネットワーク内部から外部へのアクセスを行えないという問題があります。この問題を解決するために、プロキシサーバは、外部へのアクセス要求を受け付け、その作業を代理に行います。この処理によって、内部から外部へのアクセスが行えるようになると共に、ネットワーク内部のセキュリティを確保することが可能となっています。
また、セキュリティ機能以外にもプロキシサーバの中には、WWW アクセス時の HTML データをキャッシュする機能をサポートするものもあり、同じ WWW サーバへアクセスがあった場合はキャッシュしているデータを返すことで、WWWアクセスを高速に行うことができるようにすることもできます。

Printianavi の機能概要

Printianaviは、Windows 95/98/Me/NT4.0/2000/XP/Windows Server 2003のPrintia XL ドライバに対応した双方向プリンティングシステムです。

また、ネットワークソフトウェアをあわせてインストールすることにより、LANやインターネット環境への対応や複数のプリンタを管理することができます。

ここでは、Printia XL ドライバおよびネットワークソフトウェアのPrintianavi 機能の概要を説明します。

Printia XL ドライバ

機　能	概　要
ステータス表示	印刷前のプリンタの状態や、印刷中の状態をパソコンから確認することができます。
印刷中止操作	印刷を途中で中止することができます。
印刷自動再開	紙づまりなどのエラー解除後に、エラーが発生したページから自動的に印刷を再開します。（再開不可能なエラーの場合は、印刷を打ち切ります。）
印刷ログの採取	印刷結果をログに記録します。（参照や詳細設定は、同時にインストールされる印刷ログビューアから行えます。）
オプション情報の自動設定	プリンタメモリや両面ユニットなど、プリンタに装着されているオプションの情報を取得し、プリンタドライバに自動で設定します。
消耗品ログの採取・E メールの送信	消耗品の交換時期を記録（ログ）します。また、必要に応じて指定した送信先に消耗品の交換時期をE メールで通知します。（ログの参照や詳細設定は、同時にインストールされる消耗品ログビューアから行えます。）

参照　Printia XLドライバがもつPrintianavi 機能についての詳細は、プリンタドライバのヘルプ、または『オンラインマニュアル』「第1章　プリンタドライバの機能と利用方法」を参照してください。

ネットワークソフトウェア

Printianavi ネットワークポートモニタ

機　能	概　要
LAN直結印刷	Printia XLドライバの持つPrintianavi機能をサポートしたままLANケーブルで接続したプリンタに直接印刷することができるようになります。LAN（TCP/IP）環境およびインターネット接続（IPP）での印刷をサポートしています。
ポートの管理	Printianavi ネットワークポートモニタのポートの設定や追加／削除を専用ツールから行うことができます。

Printianavi ネットワークマネージャ

ネットワークに接続された複数のプリンタ管理を、パソコン上から一括して行えるようにします。

機　能	概　要
ステータス表示	プリンタの状態を参照することができます。
プリンタのネットワーク設定	プリンタのネットワーク設定を行うことができます。

参照　Printianaviネットワークマネージャについての詳細は、『オンラインマニュアル』「第3章　Printianavi ネットワークマネージャ」参照

Printianavi　IPアドレス設定ユーティリティ2

プリンタにIPアドレスを設定します。
設定方法については、「② IPアドレスの設定」（80ページ）を参照してください。

付

HyperPrintの概要

「HyperPrint」を使用すると、印刷機能を持つアプリケーションであれば、種類を問わず、印刷データを利用したさまざまな機能を利用できるようになります。
「HyperPrint」による印刷機能を利用することにより、印刷コストの削減と、効率的な印刷を実現できます。

特　長

● 印刷コストの削減

- プレビュー上で詳細確認と不要なページのカット
- 両面印刷、縮小印刷による印刷用紙の削減
- 印刷データのファイル保存

● アプリケーション導入コストの削減

- データを確認するためのアプリケーションが不要
- アプリケーションのバージョン / レベルなどの整合性への意識不要

● 業務の効率化

- 送付先のパソコン環境を意識することが不要
- 帳票作成時と同様の鮮明度

動作環境

とくに制限はありません。

「HyperPrintお試し版」の機能制限

- プレビュー左下に「お試し版を利用して作成した」旨のメッセージを表示します。
- プレビュー表示30回で製品購入を促すメッセージを表示します。

RepoAgent の概要

「RepoAgent」は、ビジネス帳票を作成、印刷するためのソフトウェアです。
さまざまなビジネス帳票をワープロを使用する感覚でビジュアルに作成できます。
また、帳票の印刷はアプリケーションから制御できます。

特　長

● 帳票印刷プログラムの生産性を大幅に向上

ワープロを使用する感覚で手軽に帳票設計ができ、帳票印刷プログラムの生産性を大幅に向上します。また、運用中に会社のロゴを変更するといった作業も、帳票印刷プログラムを変更することなく対応できます。

● 多彩な帳票設計

以下の多彩な表現手段の提供により、複雑な帳票もかんたんに設計できます。
　罫線、網かけ、文字装飾、バーコード(11種)、画像、
　データ内容に応じた小計 / 見出し / 改ページの自動挿入　など

● 容易なアプリケーション連携

アプリケーション側では、帳票に埋め込むデータをCSVテキスト形式で出力し、RepeAgentを呼び出すだけで帳票印刷を実現できます。CSVテキストはUnicodeにも対応しています。
また、アプリケーションからの呼び出しインタフェースには、コマンド、API、ActiveXコントロール、Javaクラスの4種類を用意しています。お使いの開発環境や運用形態に応じて選択できます。

動作環境

対応OS	Windows 98/Me/NT4.0/2000/XP
対応パソコン	FMVシリーズおよびAT互換機
メモリ	64MB以上
ディスプレイ	解像度800×600以上(1024×768以上を推奨)
ハードディスク	空き容量23MB以上 (インストール時は、さらに作業域として10MB必要)
プリンタ	Windowsから印刷できるプリンタ (バーコード印刷時は印刷解像度300dpi以上を推奨)

「RepoAgent お試し版」の機能制限

お試し版で作成したレポート定義ファイルは、RepoAgentでは使用できません。

かんたんバーコード Lite の概要

「かんたんバーコードLite」は、パソコンでバーコードを簡単に作成するためのソフトウェアです。

特　長

以下のバーコードを作成することができます。

- JAN 標準
  国際的規格の POS シンボルです。多くの商品に使用されています。
- JAN 短縮
  JAN の短縮版です。標準版を印刷できないような小さな商品向けです。
- NW-7
  各種会員カードの管理用として使用されています。
- カスタマ
  平成 10 年から導入されている郵便番号用です。

動作環境

対応 OS	Windows 95/98/Me/NT4.0/2000/XP/Windows Server 2003
対応パソコン	FMV シリーズおよび AT 互換機
メモリ	32MB 以上(推奨)

オンラインマニュアルの見かた

オンラインマニュアルは、本プリンタに添付されているCD-ROMに、PDFファイルとして収録されています。
PDFファイルの内容を参照するには、「Acrobat Reader」というソフトウェアが必要です。お使いのパソコンに「Acrobat Reader」がインストールされていない場合は、本プリンタ添付のCD-ROMからインストールしてください。

Acrobat Readerのインストール

オンラインマニュアルの表示や印刷をするためには、お使いのパソコンにAcrobat Reader(4.05J またはそれ以降)があらかじめインストールされていることが必要です。
添付のCD-ROMから次の手順でAcrobat Reader 4.05Jをインストールすることができます。

1 添付のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブにセットする

Printianavi インストーラが自動的に起動します。

2 〔Adobe® Acrobat® Reader〕をクリックし、インストールする

Acrobat Reader 4.05Jインストーラが起動します。
画面の指示に従ってインストールを行ってください。

- Printianavi インストーラが自動的に起動しない場合は、CD-ROMの「Acrobat」フォルダにある「Ar405cjpn.exe」をエクスプローラから実行し、インストールを行ってください。
- Acrobat ReaderはPDF（Portable Document Format）形式のファイルを閲覧・印刷するソフトウェアです。Acrobat Reader 4.05Jは、アドビシステムズ社よりライセンスされ、無償配布するものです。
- 最新版のAcrobat Readerの入手方法およびその他情報につきましては、アドビシステムズ社にお問い合わせください。
アドビシステムズ社　URL：http://www.adobe.co.jp

オンラインマニュアルの使いかた

オンラインマニュアルは、Acrobat Readerがインストールされたパソコンから次の手順で表示します。

1 添付のCD-ROMをパソコンのCD-ROMドライブにセットする

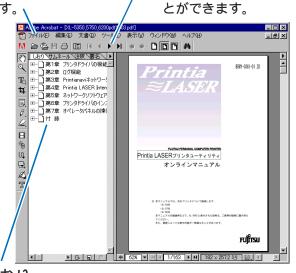
Printianavi インストーラが自動的に起動します。

ガイド　Printianaviインストーラが自動的に起動しない場合は、エクスプローラでCD-ROMの直下のSetup.exe（CD-ROMドライブがD:のときは「D:\Setup.exe」）を実行するか、CD-ROMの「Manual」フォルダにある「Index.pdf」をエクスプローラから実行してください。

2 〔オンラインマニュアル〕をクリックする

Acrobat Reader が起動し、オンラインマニュアルが表示されます。

メニューバー
プルダウンメニューから印刷やAcrobat Readerのヘルプの表示などを行うことができます。

ツールバー
▶ をクリックすると次のページを表示します。
また、拡大や検索などの操作を行うことができます。

しおり
見出しをクリックすると、そのページを表示します。
⊞ が表示されている場合、そこをクリックすると次のレベルの見出しが表示されます。

オンラインマニュアル（PDF）の目次

プリンタドライバの入手方法

最新版のプリンタドライバは、インターネットの「FMWORLD.NET」からダウンロードすることができます。「FMWORLD.NET」ではサポートサービスなどに関するさまざまな情報も提供しています。

下記に示したURLよりプリンタドライバをダウンロードしてください。

FMWORLD.NET URL: http://www.fmworld.net/

ガイド

- 「FMWORLD.NET」をご利用になる際は、Webブラウザおよびインターネットに接続できる環境が必要です。
- 添付のCD-ROMには、製品出荷時での最新版ドライバが収められており、「FMWORLD.NET」からダウンロードできるものと同一の可能性があります。お使いのプリンタドライバのバージョンを確認してからダウンロードを行ってください。

アフターサービスについて

- お買い求めの際に販売店でお渡しする保証書は、大切に保管してください。
- 保証書は日本国内のみで有効です。
- 無償保証期間は、お買い上げ日より６ケ月です。詳細は保証書をご覧ください。
- 保守部品の供給期間は、このプリンタの製造中止後６年です。ご了承ください。
- 分解、改造などを行わないでください。無償保証の期間内でも無償修理が受けられないことがあります。
- プリンタのご使用にあたっては、純正のサプライ用品をお使いください。純正のサプライ用品以外の用品をお使いになったことによる製品の誤動作および故障に関しましては、当社は一切責任を負いかねますのでご了承ください。
- 故障の際は下記にご連絡ください。

  『ハードウェア修理相談センター』
  フリーダイヤル　：　0120-422-297
  受付時間　　　　：　平日 9:00 ～ 17:00
  （土曜・日曜・祝日および当社指定の休日を除く）

- プリンタのご使用に関する技術的なご相談は、下記にご連絡ください。

  『富士通パーソナル製品に関するお問い合わせ窓口』
  フリーダイヤル　：　0120-950-222
  受付時間　　　　：　平日 9:00 ～ 17:00
  （土曜・日曜・祝日およびメンテナンス日を除く）

使用済みプロセスカートリッジの回収サービス

富士通株式会社では、地球環境への配慮から使用済みプロセスカートリッジを無償で回収しております。
下記の『エコ受付センター』にご連絡をいただければ、回収便にて引き取りにうかがいます。お客様のご理解とご協力をお願いいたします。

『エコ受付センター』
フリーダイヤル：0120-30-0693
平日 8:40 ～ 12:00 および 13:00 ～ 17:30
（土曜・日曜・祝日・年末年始を除く）

修理装置の返却準備　～お客様へ～

「ハードウェア修理相談センター」に連絡した結果、修理装置の返却が必要と判断された場合は、輸送時のトラブル防止のため、以下の手順で準備いただきますようお願い申し上げます。

1 設定の一覧を印刷する

オペレータパネルで次の操作を行い、ネットワークプリンタとして設定するために必要な情報を印刷します。

①　オンライン状態

↓「メニュー」スイッチ押下

```
メニュー
▶ メニュー　インサツ　　▼
```

②　↓「▼」スイッチ押下

```
メニュー インサツ
セッテイ ノ インサツ　　▲
```

③　↓「設定」スイッチ押下

```
セッテイ　ノ　インサツ
インサツチュウ
```

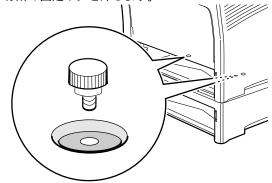
④　↓印刷終了

```
メニュー　インサツ
セッテイ　ノ　インサツ　　▲
```

2 拡張給紙ユニットを取り外す

⚠注意	け が	・必ず２人で行ってください。 ・装置の電源スイッチを切り、ケーブル類（電源コード、パラレルケーブル、USB ケーブル、LAN ケーブル）を外してから行ってください。

①　すべての給紙カセットを取り外し、給紙トレイと排紙トレイを閉じます。

②　２ヵ所の固定ネジを外します。

③　プリンタを２人でまっすぐに持ち上げます。

お願い

取り外したネジ、クリップ等の接続部品は、1で印刷した「設定の一覧」とともに袋に入れ、返却する装置に添付してください。

索引

シ

ス

セ

ソ

チ

ツ

テ

ト

ネ

ハ

フ

ページプリンタ XL-6200
取扱説明書
B5WY-0341-04-00
発行日　　2003年7月
発行責任　富士通株式会社
Printed in China